



産業ガスレポート

Vol. **41**

2019年 秋号



一般社団法人
日本産業・医療ガス協会

産業ガスレポート vol.41 2019年 秋号

CONTENTS

2019年度 定時総会 会長挨拶	1
産業ガス部門 新役員	3
産業ガス部門 評議員・顧問	4
産業ガス部門 組織表	5
常置部会・委員会・ワーキング(WG)名簿	6
産業ガス部門 事務局	16
2019年度 定時総会	
2019年度 JIMGA 総会セミナー	17
定時総会	18
2019年 表彰式	20
懇親会	23
2018年度 事業報告	29
2018年度 会議開催記録	34
2019年度 事業計画	46
会員の現状、今後の主要日程	50
エッセイ	51
技術・国際ニュース	53
地域本部の活動報告	60
北海道地域本部	61
東北地域本部	65
関東地域本部	70
東海地域本部	77
北陸地域本部	85
近畿地域本部	89
中国地域本部	94
四国地域本部	102
九州地域本部	108
統計データ一覧	114
編集後記	127

会長挨拶

今井 康夫



本日は、ご多忙の中、定時総会にご参集いただきましてありがとうございます。また、日頃よりJIMGAの活動に多大なるご支援を賜り、感謝申し上げます。

昨年6月にJIMGAの会長に就任し、はや1年となりました。この1年の間に、度重なる大きな災害がございました。中国・四国での甚大な豪雨被害、大阪を中心とする地震、台風21号による甚大な被害、そして北海道胆振東部地震と、日本全国で災害が発生しました。

こうした中、JIMGA会員の皆様は、ガス供給に尽力され、自らも被災されながら、地域の復旧に全力を挙げてこられました。JIMGAの会長として皆様に深く敬意を表します。

さて、JIMGAの販売量統計によりますと、昨年度の酸素販売量は16.3億 m^3 で、2年続けて微減でした。一方、昨年度の窒素とアルゴンの販売量は増加傾向にあり、窒素は44.8億 m^3 で前年度比1.8%増、アルゴンは2.1億 m^3 で前年度比4.6%増です。窒素、アルゴンの販売増は、我々のお客様である電子部品や半導体関連メーカー、産業機械メーカーの中国向け輸出等に牽引されてきたことの結果であります。しかし、AI時代の体制をかけた米中の戦いの激化に伴い、現時点では世界経済も日本経済も急速に不透明感を増しております。

炭酸ガスの昨年度の販売量は76.8万トンで前年比マイナス0.4%となっております。炭酸ガスは原料ソースが限られていることから、供給タイト感は前年程ではないとしてもまだしばらく続きそうです。

アセチレンは9,300トンで前年比マイナス1.7%でした。アセチレンは毎年5%前後の減少を続けておりましたが、建設需要の増加等により、減少に歯止めがかかったかと期待しております。

昨年度の販売量とリーマンショック前2007年度の販売量を比べますと、炭酸ガスが94%、窒素が92%、アルゴンは84%、酸素は69%、アセチレンが62%で、窒素と炭酸ガス以外の回復は遅れています。

このような中でのJIMGAの本年度の方針ですが、今年度からは、産業ガス部門と医療ガス部門の部門間の垣根をなくし、JIMGAの一体運営を推進してまいります。また、地域の声をよく聞き政策に反映するなど、本部と地域本部との一体運営にも注力してまいります。

具体的には、後程事務局からご説明いたしますが、次の6つを重点施策として取り組んでまいります。

第一に「災害対策の充実」です。

第二に「保安の一層の強化による安全・安心

の追求」です。

第三に「環境・エネルギー問題への継続的取組」です。

第四に「法規制への対応推進」です。

第五に「消費税の完全転嫁」です。

最後に「広報活動による業界の社会的認知度向上」です。

以上の6つの重点施策を推進し、会員の皆様にとって、存在感があり、頼りになるJIMGAを目指してまいります。

最後になりましたが、ご出席の皆様のご健勝と、皆様の会社のご発展を祈念申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。



会長挨拶



定時総会の模様

産業ガス部門 新役員

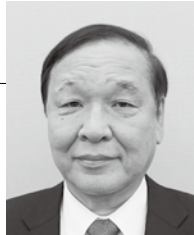
(敬称略・順不同)

2019年7月1日現在

理事

代表理事(会長)

今井 康夫(いまい やすお)

エア・ウォーター株式会社
取締役副会長

理事(副会長)

石井 敏康(いしい としやす)

東京ガスケミカル株式会社
代表取締役社長

理事(副会長)

永田 研二(ながた けんじ)

太陽日酸株式会社
取締役専務執行役員
産業ガス事業本部長

理事(副会長)

川本 健一(かわもと けんいち)

大阪ガスリキッド株式会社
代表取締役社長

理事(副会長)

矢原 史朗(やはら しろう)

日本エア・リキード株式会社
代表取締役社長 兼 CEO

理事(副会長)

賢持 善英(けんもち よしひで)

日本液炭株式会社
代表取締役社長

理事(副会長)

上羽 尚登(うえは ひさと)

岩谷産業株式会社
取締役副社長

専務理事

加藤 尚嗣(かとう なおつぐ)

一般社団法人日本産業・医療ガス協会
専務理事

理事(副会長)

小池 英夫(こいけ ひでお)

小池酸素工業株式会社
代表取締役社長

監事

代表監事

西村 浩一(にしむら こういち)

昭和電工株式会社
執行役員 産業ガス事業部長
基礎化学品事業部 川崎事業所管掌

理事(副会長)

澁谷 信雄(しぶや のぶお)

高压ガス工業株式会社
代表取締役社長

監事

山本 泰夫(やまもと やすお)

東邦アセチレン株式会社
代表取締役社長

産業ガス部門 評議員・顧問

(敬称略・順不同)

2019年7月1日現在

評議員

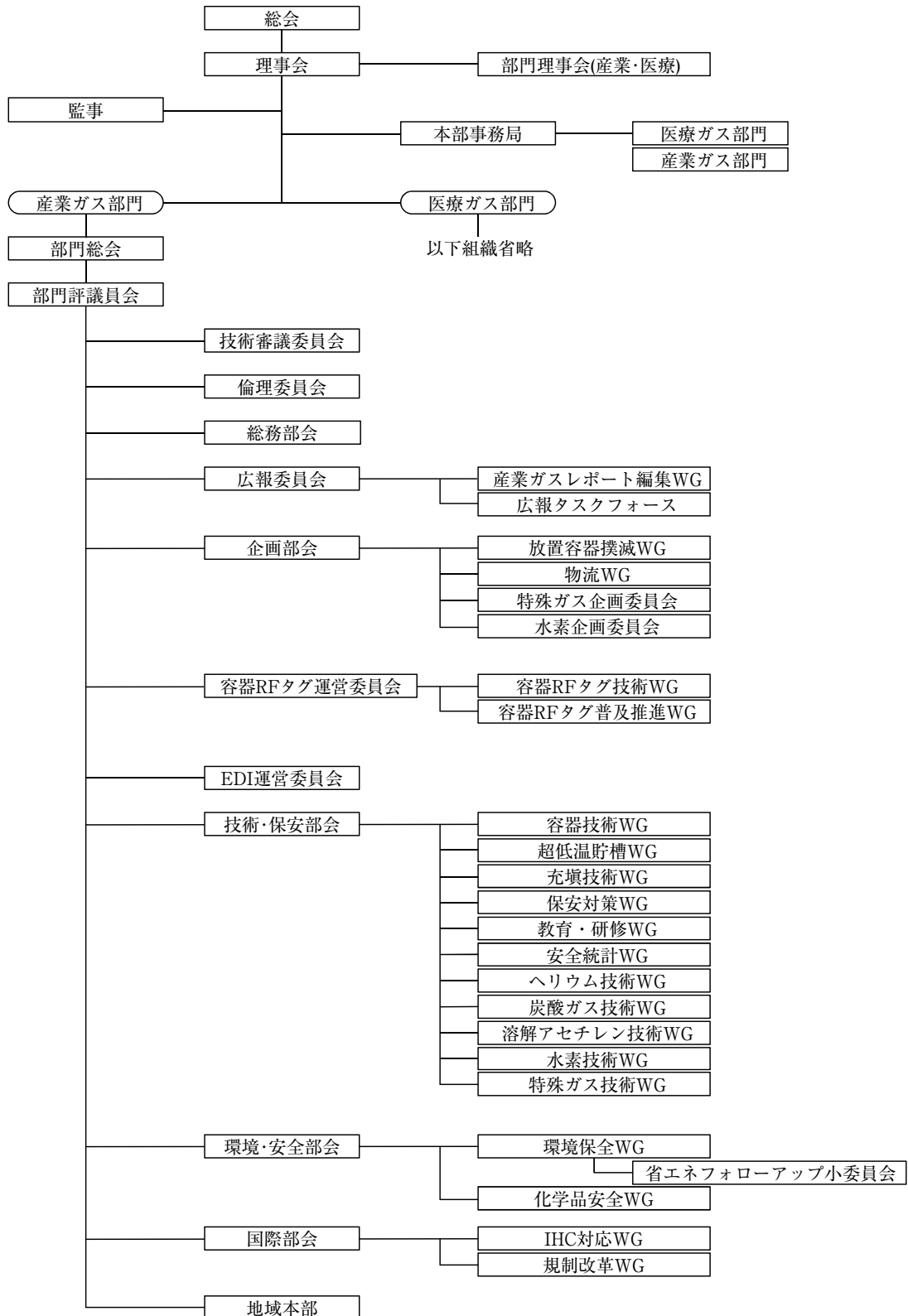
波多野和彦	エア・ウォーター炭酸株式会社 代表取締役社長
財満 正憲	大陽日酸ガス&ウェルディング株式会社 代表取締役社長
田畑 実	イビデンケミカル株式会社 取締役 ガス事業部長
高木 正治	大陽日酸株式会社 執行役員 産業ガス事業本部 副本部長
臼井 賢司	昭和電工株式会社 基礎化学品事業部 管理グループ 企画・業務チームリーダー
和田 光浩	三井化学株式会社 工業薬品事業部 特殊ガスグループリーダー
津吉 学	岩谷産業株式会社 常務執行役員 水素本部長
塩見 由男	エア・ウォーター株式会社 専務取締役 産業カンパニー長
平倉 一夫	昭和電工株式会社 理事 産業ガス事業部 副事業部長
村上 幸夫	北海道エア・ウォーター株式会社 代表取締役社長
日向野正行	大陽日酸株式会社 執行役員 東北支社長
飯塚 義浩	東邦アセチレン株式会社 上席執行役員 営業本部長
柳田 裕久	大陽日酸株式会社 常務執行役員 関東支社長
今井 智仁	東海溶材株式会社 ガス管理部長
橋本 信一	岩谷産業株式会社 中部支社長
飯田 哲郎	名古屋酸素株式会社 代表取締役社長
谷屋 五郎	宇野酸素株式会社 代表取締役会長
木津 博司	近畿エア・ウォーター株式会社 代表取締役社長
大岡 久晃	株式会社大岡酸素商会 取締役会長
斎尾 明	日本エア・リキード株式会社 産業ガス事業本部 中四国統括本部長
武 浩一	大陽日酸株式会社 執行役員 中四国支社長
野村 茂	土佐酸素株式会社 代表取締役社長
大橋 正明	四国アセチレン工業株式会社 代表取締役社長
相田 智之	大陽日酸株式会社 九州支社長
道志 年章	九州エア・ウォーター株式会社 代表取締役社長

顧問

田口 博	元・大陽日酸株式会社
豊田 昌洋	エア・ウォーター株式会社 代表取締役名誉会長 取締役会議長
間 邦司	大陽日酸株式会社 特別顧問

産業ガス部門 組織表

2019年7月1日現在



常置部会・委員会・ワーキング (WG) 名簿 (敬称略・順不同)

2019年7月1日現在

- ◎ リーダー (部会長 委員長 WG長等)
- サブリーダー (副部会長 副委員長 副WG長等)
- △ 事務局

総務部会

- ◎永田 研二 大陽日酸(株) 取締役専務執行役員 産業ガス事業本部長
- 田中 豪 エア・ウォーター(株) 上席執行役員 産業カンパニー 産業ガス関連事業部長
- 平田 恭清 高圧ガス工業(株) 執行役員 ガス事業本部 近畿地区長 兼 業務部長
- 武田 俊樹 岩谷産業(株) 産業ガス本部統括室・水素本部統括室・機械本部統括室 (東京本社) 部長
- 中尾幹一郎 大阪ガスリキッド(株) 取締役 企画部長
- 福澤 秀志 東邦アセチレン(株) 代表取締役 常務執行役員 経営企画・連結経営部長
- 白井 賢司 昭和電工(株) 基礎化学品事業部 管理グループ 企画・業務チームリーダー
- 富田 康夫 小池酸素工業(株) 執行役員 管理部人事・総務担当部長
- 阿久根謙司 東京ガスケミカル(株) 取締役 常務執行役員
- 武藤 華子 日本エア・リキード(株) 広報本部 本部長
- 小林 雅人 昭和電工ガスプロダクツ(株) 総務部長 兼 CSR 部
- △岩戸 康人 日本産業・医療ガス協会 常務執行役員

広報委員会

- ◎川本 健一 大阪ガスリキッド(株) 代表取締役社長
- 井上喜久栄 エア・ウォーター(株) 上席執行役員 社長室 広報・IR 部長
- 武藤 華子 日本エア・リキード(株) 広報本部 本部長
- 梅原 崇禎 大陽日酸(株) 管理本部 広報・IR 部長
- 長谷川宏明 岩谷産業(株) 常務執行役員 広報部長
- 鈴木 欣秀 (株)トリケミカル研究所 取締役
- 阿久根謙司 東京ガスケミカル(株) 取締役 常務執行役員
- 尾崎 史朗 高圧ガス工業(株) 東京事務所 管理本部 総務人事部 次長
- 西口 大 小池酸素工業(株) ガス部 部長代理
- 道脇 悟 日本液炭(株) 管理本部 総務・人事部長 兼 人事課長
- 石岡 信也 昭和電工ガスプロダクツ(株) 経営企画部 主事
- 府川 澄雄 (株)鈴木商館 取締役 管理本部 副本部長
- 吉川 勝英 帝人ファーマ(株) 在宅医療営業部門 特命プロジェクト 担当部長
- △岩戸 康人 日本産業・医療ガス協会 常務執行役員

産業ガスレポート編集WG

- ◎梅原 崇禎 大陽日酸(株) 管理本部 広報・IR 部長
- 鎌田 暁子 大陽日酸(株) 管理本部 広報・IR 部 広報・IR 課長
- 井上喜久栄 エア・ウォーター(株) 上席執行役員 社長室 広報・IR 部長
- 野田 優子 エア・ウォーター(株) 社長室 広報・IR 部 課長
- 武藤 華子 日本エア・リキード(株) 広報本部 本部長
- 永田 敦子 日本エア・リキード(株) 広報本部 マネージャー
- 鈴木 欣秀 (株)トリケミカル研究所 取締役
- 道脇 悟 日本液炭(株) 管理本部 総務・人事部長 兼 人事課長
- 石岡 信也 昭和電工ガスプロダクツ(株) 経営企画部 主事
- 井上 恭豪 岩谷産業(株) 広報部 担当部長(東京担当)

△岩戸 康人 日本産業・医療ガス協会 常務執行役員

広報タスクフォース

鎌田 暁子 大陽日酸(株) 管理本部 広報・IR部 広報・IR課長
野田 優子 エア・ウォーター(株) 社長室 広報・IR部 課長
永田 敦子 日本エア・リキード(株) 広報本部 マネージャー
井上 恭豪 岩谷産業(株) 広報部 担当部長(東京担当)
△岩戸 康人 日本産業・医療ガス協会 常務執行役員

企画部会

◎小池 英夫 小池酸素工業(株) 代表取締役社長
◎前田 久雄 日本エア・リキード(株) リスクマネジメント本部長
◎上田 恭久 岩谷産業(株) 常務執行役員 産業ガス本部長
永田 研二 大陽日酸(株) 取締役専務執行役員 産業ガス事業本部長
高木 正治 大陽日酸(株) 執行役員 産業ガス事業本部 副本部長
塩見 由男 エア・ウォーター(株) 専務取締役 産業カンパニー長
林 智志 小池酸素工業(株) 執行役員 ガス部長
黒木 幹也 高圧ガス工業(株) 専務取締役 東京事務所長 兼 経営企画本部長 兼 ガス事業本部長
白井 賢司 昭和電工(株) 基礎化学品事業部 管理グループ 企画・業務チームリーダー
高野 義文 東京ガスケミカル(株) 取締役 常務執行役員
多田 進一 大阪ガスリキッド(株) 常務取締役
石岡 信也 昭和電工ガスプロダクツ(株) 経営企画部 主事
秋山 利一 東邦アセチレン(株) 執行役員 産業機材営業部長
川崎 透 大陽日酸(株) 産業ガス事業本部 マーケティング事業部長
三浦 浩 昭和電工ガスプロダクツ(株) 業務部長
△岩戸 康人 日本産業・医療ガス協会 常務執行役員

放置容器撲滅WG

◎川崎 透 大陽日酸(株) 産業ガス事業本部 マーケティング事業部長
◎林 智志 小池酸素工業(株) 執行役員 ガス部長
佐藤 清 日本液炭(株) 事業統括本部 炭酸ガス営業部長
鈴木 康春 (株)新東 取締役会長 [全国高圧ガス溶材組合連合会 保安委員長]
◎和田 彰 エア・ウォーター(株) 産業カンパニー 産業ガス関連事業部 産業営業部長
平野 正博 エア・リキード工業ガス(株) 安全・品質保証部 部長
澤井 淳巳 高圧ガス工業(株) ガス事業本部 関東地区長
鈴木 宏之 (株)鈴木商館 取締役 営業副本部長
◎松澤 義明 高千穂商事(株) 本社営業部 次長
飯島 孝文 (株)旭製作所 容器技術部 部長代理 [高圧容器工業会]
関口 武尚 全国高圧ガス溶材組合連合会 事務局長
伊藤知佳子 (株)伊藤高圧瓦斯容器製造所 代表取締役社長
[全国高圧ガス容器検査協会 理事]
△山本 卓也 日本産業・医療ガス協会 業務部長

物流WG

◎三浦 浩 昭和電工ガスプロダクツ(株) 業務部長
北原 義弘 日本エア・リキード(株) 産業ガス事業本部 バルクサプライチェーン統括部
安全・品質管理グループマネージャー
宮原 誠一 大陽日酸(株) 生産・物流本部 ロジスティクスセンター所長
木村 伸哉 岩谷産業(株) 業務部 部長 物流担当

本郷 暁洋	エア・ウォーター(株) 産業カンパニー 産業ガス関連事業部 産業ガス部 物流グループ グループリーダー
高橋 将智	エア・ウォーター炭酸(株) 営業企画グループ 業務担当 次長
須賀 勝彦	日本液炭(株) 事業統括本部 業務統括部長
井上 二郎	東京ガスケミカル(株) 業務部長
△岩戸 康人	日本産業・医療ガス協会 常務執行役員

水素企画委員会

◎永田 研二	大陽日酸(株) 取締役専務執行役員 産業ガス事業本部長
○津吉 学	岩谷産業(株) 常務執行役員 水素本部長
○塩見 由男	エア・ウォーター(株) 専務取締役 産業カンパニー長
○平倉 一夫	昭和電工(株) 理事 産業ガス事業部 副事業部長
林 健	尼崎水素販売(株) 代表取締役社長
西村 長之	新潟水素(株) 代表取締役社長
近藤 茂	伊藤忠工業ガス(株) 代表取締役社長
中牟田正彦	岩谷瓦斯(株) 専務取締役 ガス事業部長
岩本 満	エア・ウォーター・ハイドロ(株) 代表取締役社長
大村 晋	日鉄ケミカル&マテリアル(株) コールケミカル事業部 ガス部長
鈴木 慶彦	(株)鈴木商館 代表取締役社長
寺尾 直光	東亜テクノガス(株) 代表取締役社長
吉田 和広	東曹ダイスイ(株) 取締役
明島 正実	東邦アセチレン(株) 取締役 常務執行役員
福田 寛一	福岡酸素(株) 代表取締役社長
森本 直和	北酸高圧瓦斯(株) 代表取締役社長
尾川 知	丸由工材(株) 専務取締役
佐藤 昭彦	(株)渡商会 常務取締役 兼 COO 営業本部 本部長
△山本 卓也	日本産業・医療ガス協会 業務部長

特殊ガス企画委員会

◎高木 正治	大陽日酸(株) 執行役員 産業ガス事業本部 副本部長
○白井 賢司	昭和電工(株) 基礎化学品事業部 管理グループ 企画・業務チームリーダー
○和田 光浩	三井化学(株) 工業薬品事業部 特殊ガスグループリーダー
藤澤 茂樹	(株)ADEKA 取締役 兼 執行役員 化学品営業本部長
村主 光	関東電化工業(株) 営業本部 精密化学品第2部 部長
松澤 義明	高千穂商事(株) 本社営業部 次長
藤村 尚志	ジャパンファインプロダクツ(株) 常務取締役
七井 秀寿	セントラル硝子(株) 電子材料営業部長
田村 篤史	東亜合成(株) 高純度無機化学品部 部長
大杉 宏信	(株)トリケミカル研究所 取締役
△山本 卓也	日本産業・医療ガス協会 業務部長

容器RFタグ運営委員会

◎白井 清司	エア・ウォーター(株) 代表取締役社長・COO
澤井 淳巳	高圧ガス工業(株) ガス事業本部 関東地区長
住友 繁之	高圧ガス工業(株) 経営企画本部 システム管理部 次長
木村 秀成	高圧ガス工業(株) ITソリューション事業本部 営業部長
川井 幸輔	岩谷産業(株) 産業ガス本部 エアガス部 シニアマネージャー
平井 信一	エア・ウォーター(株) 産業カンパニー 産業ガス関連事業部 産業機材・シリンダーガス部長

鴻巣 実	エア・ウォーター(株) 産業カンパニー 産業ガス関連事業部 産業機材・シリンダーガス部 課長
加藤 大典	エア・リキード工業ガス(株) オペレーション本部 本部長
出利葉 繁	日本エア・リキード(株) 産業ガス事業本部マーケティング本部 シリンダープロダクトマネジマント部 部長
森本 勝弘	大陽日酸(株) 産業ガス事業本部 ガス事業部 担当課長
浅井 博司	大陽日酸(株) 技術本部 品質保証部長
平尾浩二郎	大陽日酸(株) メディカル事業本部 品質・安全管理部 品質保証課長
長谷川正泰	小池酸素工業(株) ガス部 技術開発グループ 部長代理
田中 誠	日本液炭(株) 経理部長 兼 情報システム部長
三戸 勇一	(株)巴商会 環境安全部 容器管理課 課長
伊藤知佳子	(株)伊藤高圧瓦斯容器製造所 代表取締役社長 [全国高圧ガス容器検査協会 理事]
柳楽 猛	岩谷情報システム(株) 事業本部 第二事業部 開発部
△山本 卓也	日本産業・医療ガス協会 業務部長

容器RFタグ技術WG

◎木村 秀成	高圧ガス工業(株) ITソリューション事業本部 営業部長
川井 幸輔	岩谷産業(株) 産業ガス本部 エアガス部 シニアマネージャー
松本 英史	大陽日酸(株) 経営企画室 情報システム部 業務マネジメント課 担当課長
森 友紀	エア・ウォーター・ソフテック(株) 大阪事業部 事業システムグループ
柳楽 猛	岩谷情報システム(株) 事業本部 第二事業部 開発部
△山本 卓也	日本産業・医療ガス協会 業務部長

容器RFタグ普及推進WG

◎橋本 和宏	小池酸素工業(株) ガス部 課長
住友 繁之	高圧ガス工業(株) 経営企画本部 システム管理部 次長
川井 幸輔	岩谷産業(株) 産業ガス本部 エアガス部 シニアマネージャー
鴻巣 実	エア・ウォーター(株) 産業カンパニー 産業ガス関連事業部 産業機材・シリンダーガス部 課長
出利葉 繁	日本エア・リキード(株) 産業ガス事業本部マーケティング本部 シリンダープロダクトマネジマント部 部長
森本 勝弘	大陽日酸(株) 産業ガス事業本部 ガス事業部 担当課長
△山本 卓也	日本産業・医療ガス協会 業務部長

EDI運営委員会

◎永田 研二	大陽日酸(株) 取締役専務執行役員 産業ガス事業本部長
梶田 浩司	大陽日酸(株) 経営企画室 情報システム部長
川井 幸輔	岩谷産業(株) 産業ガス本部 エアガス部 シニアマネージャー
遠藤 裕一	高圧ガス工業(株) 経営企画本部 システム管理部 システム管理課 課長
佐藤 輝彦	小池酸素工業(株) 管理部 情報システムグループ 課長
三戸 勇一	(株)巴商会 環境安全部 容器管理課 課長
上田 智仁	(株)鈴木商館 営業本部 ガス営業部 副部長
△山本 卓也	日本産業・医療ガス協会 業務部長

技術審議委員会

◎矢原 史朗	日本エア・リキード(株) 代表取締役社長 兼 CEO
上羽 尚登	岩谷産業(株) 取締役副社長
石井 敏康	東京ガスケミカル(株) 代表取締役社長
前田 久雄	日本エア・リキード(株) リスクマネジメント本部長

- 上田 恭久 岩谷産業(株) 常務執行役員 産業ガス本部長
 三木 健 大陽日酸(株) 執行役員 技術本部長 兼 CSO
 松山 岳之 エア・ウォーター(株) 執行役員 産業カンパニー エレクトロニクス事業部長
 古本 理郎 日本エア・リキード(株) 常務執行役員 北東アジアパシフィック
 ラージインダストリー インダストリアルディレクター
 △岡田 恵二 日本産業・医療ガス協会 常務執行役員

技術・保安部会

- ◎矢原 史朗 日本エア・リキード(株) 代表取締役社長 兼 CEO
 ○前田 久雄 日本エア・リキード(株) リスクマネジメント本部長
 ○上田 恭久 岩谷産業(株) 常務執行役員 産業ガス本部長
 ○三木 健 大陽日酸(株) 執行役員 技術本部長 兼 CSO
 三宅 博之 大陽日酸(株) 技術本部 本部長附
 細谷 公憲 AIR WATER ASIA PTE. LTD.
 角山 義樹 岩谷瓦斯(株) ガス事業部 生産部 生産・製品技術担当部長
 倉田 克哉 岩谷産業(株) 環境保安部 部長 (東京)
 前田 和也 エア・ウォーター(株) コンプライアンスセンター 保安推進部 課長
 館 良知 エア・ウォーター(株) コンプライアンスセンター 保安推進部 係長
 平野 正博 エア・リキード工業ガス(株) 安全・品質保証部 部長
 山下 勉 日本液炭(株) 理事 技術開発本部長
 杉岡 孝雄 高圧ガス工業(株) 常務取締役 技術本部長 兼 品質保証部長
 御手洗浩二 岩谷瓦斯(株) 上級理事 ガス事業部 水素・ヘリウムガス部長 兼 水素エネルギー部長
 佐藤 祐自 昭和電工(株) 川崎事業所 製造部 ファインガス課
 △岡田 恵二 日本産業・医療ガス協会 常務執行役員

容器技術WG

- ◎三宅 博之 大陽日酸(株) 技術本部 本部長附
 澤田 裕一 岩谷産業(株) 技術・エンジニアリング本部 品質保証部 課長代理
 菊池 敏明 日本高圧ガス容器バルブ工業会(株式会社ハマイ 府中工場 技術開発マネージャー)
 三戸 勇一 (株)巴商会 環境安全部 容器管理課 課長
 原 利彦 エア・リキード工業ガス(株) オペレーション本部
 シリンダーサプライチェーンマネジメント部長
 成宮 俊則 高圧ガス保安協会 機器検査事業部 検査企画課
 △羽坂 智 日本産業・医療ガス協会 常務執行役員
 △岡田 恵二 日本産業・医療ガス協会 常務執行役員

超低温貯槽WG

- ◎細谷 公憲 AIR WATER ASIA PTE. LTD.
 平山 晃生 大陽日酸(株) エンジニアリング事業本部 PEC 設計部 プラント設計課
 第一チームリーダー
 石川 敦司 超低温機器協会 日本化学機械製造株式会社 低温機器班部長
 別府 亮彦 岩谷産業(株) 技術・エンジニアリング本部 エンジニアリング部
 (ガス供給技術担当) マネージャー
 西岡 達郎 日本エア・リキード(株) 産業ガス事業本部 技術統括部 プロジェクト部 部長
 △羽坂 智 日本産業・医療ガス協会 常務執行役員
 △岡田 恵二 日本産業・医療ガス協会 常務執行役員

充填技術WG

- ◎角山 義樹 岩谷瓦斯(株) ガス事業部 生産部 生産・製品技術担当部長

廣地 憲明	エア・リキード工業ガス(株) オペレーション本部 シリンダーサプライチェーンマネジメント部 主事
池田 正治	大陽日酸(株) エンジニアリング本部 ガスエンジニアリングセンター (GEC) エンジニアリング部 供給技術課長
前田 和也	エア・ウォーター(株) コンプライアンスセンター 保安推進部 課長
伊藤 一郎	東邦アセチレン(株) 生産・技術本部 技術部長
吉田 智徳	相模アセチレン(株) 工場長
藤井 和重	大陽日酸(株) 関西支社 技術部長
能町 康彦	北酸高圧瓦斯(株) 執行役員 生産部長 兼 高岡工場長
浜本 聖隆	宇野酸素(株) 取締役 技術本部 本部長
笠井 勇人	中部エア・ウォーター(株) 技術グループ グループ長
河野 直史	呉ガスセンター(株) 取締役 工場長
濱口 健二	土佐酸素(株) 取締役 製造・技術部門統括 高知工場長 兼 技術部長
長家 茂	福岡酸素(株) 取締役 技術統括部長
出村 憲二	豊田ガスセンター(株) 常務取締役工場長
△岡田 恵二	日本産業・医療ガス協会 常務執行役員

保安対策WG

◎倉田 克哉	岩谷産業(株) 環境保安部 部長 (東京)
三好 伸二	日本エア・リキード(株) リスクマネジメント本部 安全・環境管理部 部長
西浦 崇司	大陽日酸(株) 技術本部 保安・環境統括部 保安管理部 保安管理課長
吉岡 治夫	エア・ウォーター(株) コンプライアンスセンター 保安推進部長
末松 寿	昭和電工ガスプロダクツ(株) 生産本部長付
△岡田 恵二	日本産業・医療ガス協会 常務執行役員

教育・研修WG

◎館 良知	エア・ウォーター(株) コンプライアンスセンター 保安推進部 係長
西川 徹	昭和電工(株) 川崎事業所 製造部 次長
中尾幹一郎	大阪ガスリキッド(株) 取締役 企画部長
古賀 孝之	高圧ガス工業(株) 技術本部 技術部 兼 生産管理部 次長
柴田 善弘	大陽日酸(株) 技術本部 テクニカルアカデミー 担当課長
佐久間昌弘	東邦アセチレン(株) 生産・技術本部 技術部 課長
住浦 康弘	エア・ウォーター炭酸(株) 取締役 品質保証室長 兼 技術部長 兼 技術部生産・技術グループリーダー
△岩戸 康人	日本産業・医療ガス協会 常務執行役員

安全統計WG

◎前田 和也	エア・ウォーター(株) コンプライアンスセンター 保安推進部 課長
三好 伸二	日本エア・リキード(株) リスクマネジメント本部 安全・環境管理部 部長
西浦 崇司	大陽日酸(株) 技術本部 保安・環境統括部 保安管理部 保安管理課長
細山田 学	東京炭酸(株) 製造部長 兼 品質保証室長 兼 管理部長
篠田 康則	高圧ガス保安協会 高圧ガス部 事故調査課
△大沼 倫晃	日本産業・医療ガス協会 常務執行役員

ヘリウム技術WG

◎平野 正博	エア・リキード工業ガス(株) 安全・品質保証部 部長
○荒谷 幸治	日本ヘリウム(株) 統括本部 統括副本部長
○飯塚 謙之	大陽日酸(株) エンジニアリング本部 ガスエンジニアリングセンター (GEC) エンジニアリング部 副部長 兼 システム技術課長
白井 賢司	昭和電工(株) 基礎化学品事業部 管理グループ 企画・業務チームリーダー

- 豆田 武士 岩谷産業(株) 技術・エンジニアリング本部 プロジェクト部 部長
 野村三千昭 (株)ジャパンヘリウムセンター 常務取締役
 井出 正明 (株)巴商会 環境安全部 ガスターミナル 課長
 大山 裕之 (株)鈴木商館 生産部 部長
 大川 邦生 日本ヘリウム(株) 総務部長
 島田 寿郎 東京ガスケミカル(株) エンジニアリング・サービス部
 エンジニアリングGマネージャー
 △大沼 倫晃 日本産業・医療ガス協会 常務執行役員

炭酸ガス技術WG

- ◎山下 勉 日本液炭(株) 理事 技術開発本部長
 ○住浦 康弘 エア・ウォーター炭酸(株) 取締役 品質保証室長 兼 技術部長
 兼 技術部生産・技術グループリーダー
 ○末松 寿 昭和電工ガスプロダクツ(株) 生産本部長付
 澤田 裕一 岩谷産業(株) 技術・エンジニアリング本部 品質保証部 課長代理
 矢田 潔 近畿炭酸(株) 技術部長
 長谷川光一 知多炭酸(株) 本社工場長
 細山田 学 東京炭酸(株) 製造部長 兼 品質保証室長 兼 管理部長
 竹林 浩二 宇部興産(株) 宇部ケミカル工場 ファイン・工業製造グループ グループリーダー
 内田 睦 大阪ガスリキッド(株) ガス企画業務部長
 翁長 健 (株)おきさん 常務取締役
 石本 範章 共同炭酸(株) 工場長
 西川 隆浩 高圧ガス工業(株) 神奈川工場長
 今村 信夫 国際炭酸(株) 常務取締役 管理部長
 坂本 三夫 上毛天然瓦斯工業(株) 群馬ガスセンター長
 松葉 昇 大洋化学工業(株) 工場長
 菰渕 義秋 東亜テクノガス(株) 業務部長 兼 技術部長
 加藤 要 東京ガスケミカル(株) メンテナンス・サービス部長
 田中 伸一 福岡酸素(株) 保安管理部 課長
 △大沼 倫晃 日本産業・医療ガス協会 常務執行役員

溶解アセチレン技術WG

- ◎杉岡 孝雄 高圧ガス工業(株) 常務取締役 技術本部長 兼 品質保証部長
 ○斎藤 祐輝 東邦アセチレン(株) 上席執行役員 環境保安・品質保証部長
 真藤 英明 関東アセチレン工業(株) 取締役 工場長
 茨木 隆之 岩谷瓦斯(株) 理事 ガス事業部 溶断ガス部長
 新谷 和也 大陽日酸ガス&ウェルディング(株) 技術本部 技術部長
 吉田 智徳 相模アセチレン(株) 工場長
 石田 恒美 川口総合ガスセンター(株) 代表取締役社長
 山邊 直樹 小池酸素工業(株) 千葉工場長
 鋤柄 喜彦 大日本アガ(株) 代表取締役
 中西 清三 東海アセチレン(株) 代表取締役社長
 △大沼 倫晃 日本産業・医療ガス協会 常務執行役員

水素技術WG

- ◎御手洗浩二 岩谷瓦斯(株) 上級理事 ガス事業部 水素・ヘリウムガス部長 兼 水素エネルギー部長
 ○福岡 淳一 岩谷瓦斯(株) ガス事業部 水素・ヘリウムガス部 係長
 ○栗田 英次 大陽日酸(株) エンジニアリング本部 ガスエンジニアリングセンター
 (GEC) エンジニアリング部 エンジ課長
 ○鈴木 秀行 昭和電工ガスプロダクツ(株) 生産本部 エンジニアリング部 主事

石井 政行 尼崎水素販売(株) 所長
 生原 一樹 伊藤忠工業ガス(株) 技術保安部 部長
 森 靖朗 岩谷産業(株) 技術・エンジニアリング本部 技術営業部長
 板谷 誠 エア・ウォーター・ハイドロ(株) 技術部長代理
 大内山智哉 日鉄ケミカル&マテリアル(株) 広畑製造所 技術・品質保証室 室長
 大山 裕之 (株)鈴木商館 生産部 部長
 菰渕 義秋 東亜テクノガス(株) 業務部長 兼 技術部長
 島崎 洋一 東京ガスケミカル(株) メンテナンス・サービス部
 水素・オンサイトグループ マネージャー
 折尾 美昭 東曹ダイスイ(株) 四日市工場 取締役工場長
 安齋 誠治 東邦アセチレン(株) 技術部 課長
 森川 久 新潟水素(株) (株)巴商会 (環境安全部 ガスターミナル 所長)
 那須 昭宣 日本エア・リキード(株) 水素エネルギー事業部 事業部長
 立川 裕康 福岡酸素(株) ガスエンジニアリング部 部長
 矢郷 篤志 北酸高圧瓦斯(株) 産業ガス事業部 エネルギー推進室長
 澤田 庸介 丸由工材(株) 代表取締役社長
 安久井 満 (株)渡商会 管理本部 保安管理部 部長
 △山本 卓也 日本産業・医療ガス協会 業務部長

特殊ガス技術WG

◎佐藤 祐自 昭和電工(株) 川崎事業所 製造部 ファインガス課
 ○松崎 邦雄 高千穂化学工業(株) 町田事業所 計測ガス工場 JCSS・MRA 校正室 分析責任者 課長
 井手 賢治 住友精化(株) 千葉工場 千葉技術室
 市毛 健一 エア・ウォーター(株) 産業カンパニー エレクトロニクス事業部
 特殊材料部 つくば特殊化学品センター センター長
 伊藤 淳 高千穂化学工業(株) 町田事業所 半導体ガス工場 製造課 係長
 池田 剛 高圧ガス工業(株) 技術本部 理事 技術開発部長
 奥山 高德 高圧ガス工業(株) 滋賀高圧ガス流通センター 次長
 倉本 学 エア・リキード工業ガス(株) 関西工場 スペックガスグループ グループ長
 上原 伸二 化学物質評価研究機構 東京事業所 化学標準部 技術第一課長
 森脇 保志 ジャパンファインプロダクツ(株) 小山工場 製造部長
 小澤 信夫 ジャパンファインプロダクツ(株) 技術サービス部 技術サービス課長
 三澤 一朗 住友精化(株) ガス事業部
 五十嵐淳也 セントラル硝子(株) 化成品事業企画部 技術グループ 課長
 ○村瀬 圭一 日本エア・リキード(株) エレクトロニクス事業本部
 アドバンスドマテリアルズ事業部 品質マネジメントグループ グループマネージャー
 薄木 瑞代 東亜合成(株) 横浜工場 管理部 品質保証課 主事
 鈴木 英 (株)トリケミカル研究所 第一製造部 製造一課 課長
 佐藤 寛之 関東電化工業(株) 技術本部 生産技術部 マネージャー
 永沢 陽子 三井化学(株) 基盤素材事業本部 工業薬品事業部 主席部員
 △山本 卓也 日本産業・医療ガス協会 業務部長

環境・安全部会

◎石井 敏康 東京ガスケミカル(株) 代表取締役社長
 ○前田 久雄 日本エア・リキード(株) リスクマネジメント本部長
 ○三木 健 太陽日酸(株) 執行役員 技術本部長 兼 CSO
 ○飯田 剛 エア・ウォーター(株) 執行役員 産業カンパニー オンサイト事業部長
 ○菅谷 英仁 岩谷産業(株) 理事 環境保安部長
 △大沼 倫晃 日本産業・医療ガス協会 常務執行役員

環境保全WG

- ◎甲斐 守 大陽日酸(株) 技術本部 保安・環境統括部 環境管理部長
- 石川 邦彦 大陽日酸東関東(株) 技術営業課
- 半田 梓 岩谷瓦斯(株) 環境保安部 係長
- 矢田 潔 近畿炭酸(株) 技術部長
- 武内 幸祐 エア・ウォーター(株) 執行役員 コンプライアンスセンター長
- 石垣 克浩 日本エア・リキード(株) ラージインダストリー事業本部 事業推進マネージャー
- 加藤 要 東京ガスケミカル(株) メンテナンス・サービス部長
- △大沼 倫晃 日本産業・医療ガス協会 常務執行役員

省エネフォローアップ小委員会

- ◎甲斐 守 大陽日酸(株) 技術本部 保安・環境統括部 環境管理部長
- 野口 直樹 大陽日酸(株) 生産・物流本部 プロダクト技術部 SC管理課 担当課長
- 石垣 克浩 日本エア・リキード(株) ラージインダストリー事業本部 事業推進マネージャー
- 宮崎 優 エア・ウォーター(株) 産業カンパニー オンサイト事業部 生産技術部 係長
- 戸谷 倫也 岩谷産業(株) 技術・エンジニアリング本部 品質保証部 マネージャー
- △大沼 倫晃 日本産業・医療ガス協会 常務執行役員

化学品安全WG

- ◎近藤 喜則 東京ガスケミカル(株) 品質保証部長
- 神戸 裕太 岩谷産業(株) 技術・エンジニアリング本部 品質保証部
- 武内 幸祐 エア・ウォーター(株) 執行役員 コンプライアンスセンター長
- 菊地 一弘 昭和電工(株) 基礎化学品事業部 管理グループ 企画・業務チーム
兼 RCチーム マネージャー
- 福田 靖 大陽日酸(株) 技術本部 品質保証部 品質管理課長
- 石田 達郎 日本エア・リキード(株) 産業ガス事業本部 安全・信頼性推進部 部長
- 長谷川 光一 知多炭酸(株) 本社工場長
- △大沼 倫晃 日本産業・医療ガス協会 常務執行役員

国際部会

- ◎上羽 尚登 岩谷産業(株) 取締役副社長
- 松山 岳之 エア・ウォーター(株) 執行役員 産業カンパニー エレクトロニクス事業部長
- 古本 理郎 日本エア・リキード(株) 常務執行役員 北東アジアパシフィック
ラージインダストリー インダストリアルディレクター
- 野澤 史和 日本エア・リキード(株) エレクトロニクス事業本部
インダストリアル・マネジメント部 部長
- 久和野敏明 大陽日酸(株) 技術本部 グローバル技術推進部長
- △羽坂 智 日本産業・医療ガス協会 常務執行役員

IHC対応WG

- ◎久和野敏明 大陽日酸(株) 技術本部 グローバル技術推進部長
- 馬場 博之 岩谷産業(株) 産業ガス本部 アドバンスガス部 部長
- 町野 彰 東京ガスケミカル(株) 産業ガス生産部長
- 堀尾 素博 大阪ガスリキッド(株) ガス製造部 担当部長
- 竹田 勝 (株)ネリキ 理事 技術部長
- △羽坂 智 日本産業・医療ガス協会 常務執行役員

規制改革WG

- ◎野澤 史和 日本エア・リキード(株) エレクトロニクス事業本部
インダストリアル・マネジメント部 部長

渡部 浩明 岩谷瓦斯(株) 理事 環境保安部長
森 宏太郎 岩谷産業(株) 環境保安部 課長代理
中野 真一 エア・ウォーター(株) コンプライアンスセンター 保安推進部 係長
三戸 勇一 (株)巴商会 環境安全部 容器管理課 課長
柄澤 直樹 大陽日酸(株) 技術本部 保安・環境統括部長
末松 寿 昭和電工ガスプロダクツ(株) 生産本部長付
日比 勝巳 高千穂商事(株) 海外営業部 貿易部 課長
井口 充弘 高圧ガス保安協会 高圧ガス部
△羽坂 智 日本産業・医療ガス協会 常務執行役員

注)2019年7月1日現在の名簿ですが、7月1日以降の交代が判明した場合や組織の新設が明らかな場合は、交代後、新設後の内容を記載しています。

産業ガス部門 事務局

2019年7月1日現在

専務理事
 常務執行役員
 常務執行役員
 常務執行役員
 常務執行役員
 常務執行役員 兼 総務部長
 業務部長
 経理部長

加藤 尚嗣
 羽坂 智
 大沼 倫晃
 岩戸 康人
 岡田 恵二
 原 浩一
 山本 卓也
 渡邊 一也

北海道地域本部 事務局長
 東北地域本部 事務局長
 関東地域本部 事務局長
 東海地域本部 事務局長
 北陸地域本部 事務局長
 近畿地域本部 事務局長
 中国地域本部 事務局長
 四国地域本部 事務局長
 九州地域本部 事務局長

庄子 徳一
 栗橋 健治
 蛭川 剛二
 倉本 明彦
 中村 孝
 徳富栄一郎
 高橋 良知
 陶山 和紀
 高石亮太郎

2019年度 JIMGA総会セミナー

開催日時：2019年6月12日(水)13:00～15:00

開催場所：経団連会館

技術・保安部会 部会長挨拶

平素から皆様には、当協会の活動に対し多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。



矢原副会長

日常的に高圧ガスと接する会員各社様におかれましては保安・安全の確保は何よりも優先すべきことであると考えます。自主保安を掲げ、JIMGAでは産業ガス部門・医療ガス部門で様々なワーキンググループが精力的に活動し、これまでに多くの基準指針類、安全ニュース、DVDやe-ラーニングなどの安全教育ツールを作成してまいりました。これらはJIMGA会員各社の皆様の多大なご支援とご協力を得て完成したものでございます。この場をお借りしまして、改めて御礼申し上げます。

さて、今年度は新元号、令和元年です。皆様におかれましては、新たなお気持ち、あるいは特別なお気持ちで新年度を迎えられていることとお察しいたします。

本日のJIMGA総会セミナーでは、私たちの日常生活や、JIMGA会員各社様の事業活動に、大きな影響が予想されるテーマを含め、講師の皆様

に3つのテーマについて講演をしていただきます。

本日のセミナーが、皆様の日頃の業務のお役にたてることを切に願うところでございます。今後とも皆様のご理解とご協力をお願いし挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。

プログラム

1. 「消費税軽減税率制度の説明」
東京国税局 大井 政光殿
2. 「再生可能エネルギー固定価格買取制度(FIT)の現状」
一般社団法人 日本鉄鋼連盟 内山 俊一殿
3. 「医療ガスの安全管理(96通知)について」
エア・ウォーター(株) 福盛 康宏殿

以下に、聴講者の皆にお答えいただいたアンケートの一部を紹介します。

「業界の最新動向を入手でき、参考になった」

「96通知が具体的でよく分かった」

「発表時間をもう少し長くとり、詳細な説明が欲しかった」

「今回のテーマはとても良かったので再度行って欲しい」

「次回は省エネ事例を紹介して欲しい」

アンケートへのご協力、ありがとうございました。今後の参考にさせていただきます。



セミナーの様

定時総会

日時：2019年6月12日(水)15:30～16:30

場所：経団連会館 2F 国際会議場

議決権総数 1,017個

出席議決件数 747個(委任状を含む)

議長：今井 康夫 会長

議事

定款第21条に基づき開催され、定款第23条に「総会は、定款に特別な定めのある場合のほかは、総会員の議決権の過半数以上を有する会員の出席により成立する。ただし、この場合、会員又は指定代表者の委任状を有する代理人の出席を認める。」とされているところ、過半数の議決権を有する会員が出席しており成立していることが宣言された。

今井会長が議長席に着き、直ちに議案の審議に入った。定時総会に先立ち、医療ガス部門総会および産業ガス部門総会が開催された。

<産業ガス部門総会>

第1号議案 産業ガス部門評議員選出の件

評議員の所属会社での異動等による退任に伴い、後任として産業ガス部門の評議員9名が推薦され、議場に諮ったところ全員の賛成により承認された。

<定時総会>

第1号議案 2018年度事業報告及び収支決算の承認を求める件

議長の指示により、事務局が2018年度(2018年4月1日～2019年3月31日)の事業報告および決算書類の説明を行い、続いて柳下代表監事が監査報告を行った。議長が本議案の採決を議場に諮ったところ、全員異議なく原案どおり承認され、本議案は可決された。

第2号議案 2019年度事業計画及び予算案の承認を求める件

議長の指示により事務局から、2019年度(2019年4月1日～2020年3月31日)の事業計画および予算案の説明を行った。議長が本議案の採決を議場に諮ったところ、全員異議なく原案どおり承認され、本議案は可決された。

第3号議案 定款変更の件

議長の指示により事務局から、定款変更の経緯、内容について説明を行った。議長が本議案の採決を議場に諮ったところ、全員異議なく原案どおり承認され、本議案は可決された。

第4号議案 評議員及び監事選任の件

議長は、退任される評議員の後任として、定款第34条に基づき、部門総会にて選任された次の各位の選任を議場に諮ったところ、全員異議なく議長の提案を承認した。

・医療ガス部門

村上 幸夫、谷口 宏治、中村 明、
福田 寛一、光村 公介、坂井 万城

・産業ガス部門

西村 浩一、塩見 由男、平倉 一夫、
村上 幸夫、橋本 信一、木津 博司、
斎尾 明、武 浩一、相田 智之

引き続き議長の指示により事務局から、本総会終了の時をもって辞任する柳下政道監事の後任として西村浩一氏を選任したい旨提案があり、審議の後、全員異議なく承認された。

尚、西村浩一氏は本日の定時総会を欠席しているが、監事に選任された際は就任を承諾する旨の書面をあらかじめ提出していることが議長より報告された。

報告事項

議長の指示により事務局から、次の各項目の説明を行った。

- (1) 会員の動静（正会員数：前々年度末1,023、前年度末1,013）
- (2) 今後の主要日程

閉会

以上をもって、すべての議案審議が終了したので、本総会は16時30分閉会した。



定時総会の模様

2019年 表彰式

6月12日開催の定時総会終了後、表彰式を行いました。表彰式では協会の事業に貢献し顕著な功績をあげた、産業ガス部門7・医療ガス部門8の個人および組織の代表者の方々へ、今井会長より

功労賞、安全賞として表彰状と記念品が贈呈されました。また会場の皆様より盛大な拍手が贈られました。

受賞者の一覧は下記をご参照ください。

<産業ガス部門>

賞区分	受賞者(敬称略)	表彰理由
災害 功労賞	四国大陽日酸株式会社 徳島営業所	2017年3月徳島県内の高校で発見された「長期放置されて極度に腐食した塩素容器2本」の処理に際し、計画時より参画。リスクアセスメントの実施等を通じて事故を未然に防ぐとともに、安全、迅速、適切に処理作業を行い、高圧ガスを取り扱う事業者として顕著な功績が認められる。
容器保安 功労賞	関東アセチレン工業株式会社	群馬県容器管理委員会設立当初からのメンバーとして活動。所有者不明容器の確認の場として自社敷地を提供したり、自社工場により44年に渡り高圧ガス容器の廃棄を実施したりするなどの貢献をしている。
地域活動 功労賞	手塚 悦男 (栃木共同アセチレン株式会社)	関東酸素工業会、JIGA、JIMGA時代を通じて保安活動、セミナー運営、技術資料作成等に携わり、関東地域の協会運営に貢献。千葉県、栃木県における高圧ガス保安活動にも尽力している。
安全賞	山形酸素株式会社	30年以上間無事故無災害を継続。JIMGA主催セミナーへの講師派遣など東北地域本部産業ガス・医療ガス両部門の活動に多大な貢献をする傍ら、関連保安団体の活動も積極的に行い地域の保安活動に大きく貢献している。
	協和ガス株式会社 阪南工場	33年間無事故無災害を継続。安全を第一に顧客への保安指導や周知文書の配布などを通じ顧客の信頼を得ている。また、社員のスキルアップや安全な作業現場の徹底にも継続して取り組んでいる。
	中・四国エア・ウォーター株式会社 香川工場	30年間無事故無災害を継続。安全衛生活動や朝礼での安全関連の注意喚起を通じ保安意識の高揚を図っている。また、10年以上におよぶ高校生のインターンシップ受け入れや顧客への保安教育活動を継続して実施している。
	九州工業ガス株式会社	35年間無事故無災害を継続。小集団活動による安全意識の高揚に始まり2002年には労働安全衛生マネジメントシステムを導入、リスク抽出による安全対策を継続実施している。

<医療ガス部門>

賞区分	受賞者(敬称略)	功績内容
標準化 功労賞	医療ガス製造・充填合同協会 容器表示指針改定WG 代表：鈴木 義博 橋本 孝二、若山 義信、 仲谷 祐美 古賀 孝之、藪本 学、 伊達 恒夫	平成21年に制定された「医療ガス容器表示基準」に関し法令改正、監督官庁発出通知、事務連絡に対応すべく平成30年7月第3版、12月第4版と改訂版の基準化を図り、容器表示例をイラストで示し表示指針として明確な基準となる標準化に貢献した。
保安教育 功労賞	笠井 健 (北良株式会社)	長年にわたり東北地域本部において医療ガス部門の岩手支部長を務め、医療ガス安全講習会において平成17年より協会講師を務めている。さらに岩手県健康国保課講師に代わり薬機法関連の講師も務め、複数の社員も協会講師として派遣するなど保安教育活動に大きく貢献した。
災害 功労賞	四国地域本部医療ガス部門 香川県支部二酸化炭素製造及び 供給会社 代表：太田 賀久(香川県支部長) 四国アセチレン工業(株)丸亀事業所 四国岩谷産業(株)坂出工場 中・四国エア・ウォーター(株)香川工場 四国大陽日酸(株)香川営業所 高松帝酸(株)高松事業所 高松帝酸(株)多度津営業所	香川県との「高病原性鳥インフルエンザ等の発生時における二酸化炭素の供給に関する申し合わせ」により平成30年1月10日に香川県東かがわ市で発生した四国で初となる鳥インフルエンザにおいて殺処分用二酸化炭素ボンベを夜間からの作業にもかかわらず速やかに納入し、ウイルスの拡散防止に貢献した。



受賞者の皆様

賞区分	受賞者(敬称略)	功績内容
安全賞	株式会社サイサン 医療ガス部 神奈川営業所	21年間無事故無違反を継続し、神奈川県の高圧ガス運送指導員および高圧ガス運送員講習会を所員全員が受講している。医療機関には、医療ガス保安講習会を実施し保安推進を行っている。
	株式会社上村産業	52年間無事故無災害を継続し、社員には保安教育計画書に基づき毎年実施し事故防止に努め、医療ガスについても勉強会を実施し医療従事者への教育を行っている。
	株式会社ババ	96年間無事故無災害を継続し、医療用酸素ガスの製造販売を行っており、遠隔監視システムを開発し医療ガスの安定供給、異常状況の把握により保安の確保に努めている。
	株式会社中岸商店	66年間無事故無災害を継続し、製造、販売を行い、社内安全教育を全社員で行っている。医療機関に対しては医療ガス安全講習会を実施し安全教育にも熱心に取り組んでいる。
	株式会社山国商会	39年間無事故無災害を継続し、医療ガス充填架台への非常用電源接続等、大規模災害に備えたユニークな活動を行い、代表者自ら率先して保安教育を推進するなど、地域の保安活動の範となっている。

懇親会

日時：2019年6月12日(水)17:30～19:00

場所：経団連会館

参加人数：約300名

会長挨拶

会長 今井 康夫



本日は大変お忙しい中、JIMGA定時総会、懇親会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。また、厚生労働省からは吉田医政局長をはじめとして幹部の方々、経済産業省からは井上製造産業局長をはじめ幹部の方々、それから高圧ガス保安協会から市川会長はじめ幹部の方々、さらに関係団体の幹部の方々、報道機関の方々にお越しいただいており、感謝を申し上げます。

まず、本日定時総会が無事終了し、審議事項が全て承認されたことをご報告申し上げます。さて、定時総会でも申し上げましたけれど、今年度からは産業ガス部門と医療ガス部門の部門間の垣根をなくしてJIMGAの一体運営を推進してまいりたいと思います。また、地域の声をよく聞き、政策に反映するなど本部と地域本部の一体運営にも注力してまいります。その上で重点事項を掲げて運営をしていきたいと思います。

第一は、災害対策の充実です。昨年以上の大きな自然災害が起り得るものと想定して、関係省庁や自治体とよく意見交換をしながら、対策を進めてまいりたいと思います。第二は、保安の一層の強化による安全安心の追求です。昨年10月の全国高圧ガス容器特別回収月間で、2,297本もの放置容器が発見されました。そのうち569本が所有者不明容器でした。巨大な危険物である放置容器は、断固として撲滅しなくてはなりません。KHK、全溶連の皆様とも相談をしながら進めてまいりたいと思います。第三は、環境エネルギー問題への継続的な取

り組みです。特に電力コスト問題には電力多消費11団体が連携して取り組んでまいります。第四は、法規制への対応です。国際整合化への取り組みを推進し、また、医療用の封キャップの普及などを図ります。第五は、消費税の完全転嫁です。転嫁表示カルテルに基づきまして、消費税が適切に転嫁されているか監視をしてまいります。最後第六は、我々の業界の社会的認知度の向上です。我々の事業そのものが重要な社会インフラであることを広く一般の方々にも知っていただけるよう広報活動を進めてまいります。報道機関の方々には、ご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

賀詞交歓会で、中国問題は米中の貿易摩擦だけの問題ではなくAI時代の世界の体制をかけた戦いであり、我々日本の経営者もそれぞれ覚悟を持って中国問題に処する必要があると生意気なことを申し上げましたが、中国の体制に起因する様々な問題が日々生じております。中国問題は、いずれは通らざるを得ない道ですが、日本の産業界への影響も甚大です。日本政府の絶妙なるかじ取りを期待するところです。

最後に、今年度も、存在感があり、頼りになるJIMGAを目指していきたいと思います。皆様のご支援をお願い申し上げ私の挨拶とさせていただきます。

ご来賓祝辞

厚生労働省 医政局長

吉田 学 殿



協会の皆様そして各社の方々におかれましては、今井会長を先頭に平素から地域の医療そして我が国の医療全体のインフラとして、色々な所でお世話になっております。医療行政という意味では全国レベルのまた、地域レ

バブルのそれぞれの取り組みに対してご理解とご協力をいただいております。御礼を申し上げます。

人口減少の中において、どこもかしこも人手不足という声を聞きますが、この業界におかれましても各社特に配送を含めて大変なご苦勞をされているという話を伺います。また、国際情勢の変化の中でガスの原料の確保において、一部非常に困難を抱えながらもその安定供給にお取り組みいただいているとのお話も伺っております。

今回は、二点に絞ってコメントさせていただきたいと思っております。一点目は、災害の関係です。協会そして会員各社の皆様におかれましては、地域の医療機関あるいは在宅でガスを必要とされ治療を受けられている患者さんのもとへ、災害時における命綱としてきめ細かなネットワークを利用した安定供給にお取り組みいただいております。関係する職員の方々の研修や自治体の方々との間の協定はもちろんでありますが、昨年の北海道胆振東部地震を思い起こしても、平成29年に協会で作られた手引書に書かれている、どこにどういった患者さんがおられるかのリストを活用して、本当に安心を届けていただくと重ねて感謝を申し上げます。この手引書は、非常に良くできているということですので、私ども行政の立場から、改めて勉強させていただいて、協会そして各社それぞれの取り組みと力を合わせて、より多くの方々に浸透するよう努力したいと思います。

二点目は、この4月から法律が適用されオールジャパンで進めている働き方改革です。医療の分野、ドクターについては2024年まで猶予されていますが、今お医者さんは長時間労働をして医療の現場を支えていただいておりますが、お医者さんとして人であるので健康確保のために長時間労働を是正しなければいけない。一方で地域医療というものが崩壊するようなことになってはいけないということで、段階的に2024年を目指してお医者さんの時間外労働の短縮を進めようとして

います。これについては一方で、医師の偏在、地方にお医者さんがいない医療機関の存続が危ぶまれるという話もあります。また、その前提として地域の医療の形、病院のつくりや在宅のネットワークも今後の人口減少や少子高齢化の中で見直さなければいけないということから、働き方改革、お医者さんの確保のためのいろいろな政策、そして地域の医療の形という三つを同時に並行して推進し、地域の関係者の方々、医療の現場の方々、そして皆様をはじめ広い意味での関係者の方々のご理解とご協力もいただきながら、安心できる医療ネットワークづくりに向けて取り組みたいと思っております。

医療のインフラを支えていただいている協会の皆様そして各社の皆様より引き続きご理解とご支援をいただきながら、そして何よりもコミュニケーションをとりながら一緒に歩ませていただきたいということを申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。今後ともよろしく願いいたします。

経済産業省 製造産業局長

井上 宏司 殿

本日は令和初めてとなる日本産業・医療ガス協会総会後の懇親会にお招きをいただき、ありがとうございます。貴協会におかれましては、今井会長のもと、災害への対応も含めて行政へのご協力をいただいております。改めて感謝を申し上げます。

平成の時代を振り返りますと、バブル崩壊以降の長いデフレに苦しんだ時代でした。また自然災害も非常に多い時代でした。しかしながら、安倍政権発足以降、名目GDPで見ますと61兆円の増加、経済成長で見ますと10%以上の成長という状況です。令和の時代においてもぜひこの勢いが続き、日本が世界の経済を牽引するような時代に



なればと思っています。

一方、世界経済に目を向けますと、先ほど今井会長からもお話がありましたように、中国経済が減速し、また米中貿易摩擦の先行きは不透明です。貿易摩擦というよりむしろ技術覇権争いと言ってもよいのかもしれませんが、ある意味で構造的な問題ではないかと思います。このような点につきましては、日本が交渉当事者になるものについては、自由で公正な貿易ルールの維持・構築に向けて取り組んでまいります。また企業の皆様は国際情勢が不透明な中で拠点戦略や輸出入の戦略など、非常に難しい舵取りを迫られると思います。タイムリーな情報提供等にも努めさせていただきたいと考えております。

産業ガス業界を見させていただきますと、様々な産業活動を支える必要不可欠な素材です。日頃から安全かつ安定的な産業ガスの製造供給を支えていただいております。最近ではカタールの情勢、あるいは米国内の需給の影響といったことからヘリウムガスが世界的にタイトな状況になるなどの懸念が生じておりますが、協会または会員会社の皆様におかれましては、引き続き安定的な調達と円滑な流通をお願い申し上げます。

現場の安全確保は経営の最優先課題です。スマート保安の構築に向けてプラント内でのIoT機器やドローンの活用に向けたニーズも高まっています。こうした状況を踏まえて、危険区域の見直しやドローンの活用のガイドラインを今年3月に策定させていただきました。是非、当業界におかれましても、このガイドラインをご活用いただきたいと思います。

昨日、政府におきましては地球温暖化についての長期戦略の決定をさせていただいたところです。この戦略は、2050年もしくはそれ以降を見据えた野心的な目標を設定するものです。その達成に向けて、ビジネス主導の非連続的なイノベー

ションを通じた、環境と成長の好循環の実現を目指すものです。貴協会におかれましても、AIやIoTも活用したプラント運用の効率化等を進めていただき、一層の省エネを進めていただくことをご期待申し上げますとともに、政府としてもしっかりとご支援をさせていただきたいと考えております。

結びになりますが、新たな令和の時代を迎え、改めて貴協会の皆様また会員各社の皆様また本日もご列席の皆様の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げます。挨拶とさせていただきます。

高圧ガス保安協会

市川 祐三 殿

日頃より当協会を様々な面でお支えいただいております。御礼申し上げます。我々が基準ひとつ作るのだから、皆様のご支援がなければ何もできないというような状況でございます。皆様のお支えがあって我々の仕事ができているということをまずもってお礼申し上げますと思います。

安全の観点から、平成の時代をどのように評価するかを考えると、皆様のご努力が実った時代ではなかったかと思っております。この挨拶をするにあたり、データをひとつお見させていただきました。事故の件数そのものについては、何をもって事故とするかということもあり、非常に大きく変動しますが、我々にとって一番痛切な統計のデータはやはり人身に関わるデータです。人身事故の件数、あるいは人身事故に関わる人の数については大変気になります。

昭和と平成の時代を比べますと、例えば事故の件数で言えば一桁違うというような状況まで来ています。平成の最後の年である30年は死者がゼロでした。おそらく昭和の時代にはこのような時代が本当に来るのだろうかと考えていたと思いま



す。これは協会を挙げての皆様方の努力の結果であり、また様々な機会に地域で話をお聞きすると、客先において絶対に事故を起こさないという、大変強い決意のもとに日々努力を積み重ねておられるそれぞれのお立場の方の努力の結果であることがわかります。心より敬意を表したいと思います。平成の時代を通じ、皆様と我々で一緒になって働いてきた成果と言えるのではないのでしょうか。

令和の時代は、安全の観点から見た場合、懸念すべき点はいくつかあります。一つは自然災害です。これは昭和の時代とはグレードが違ってきております。温暖化のせいかもしれませんが、我々はそういう時代を生き抜いていかなければならない。そのような中でJIMGAの皆様は災害への取り組みを率先して行い、事故の度、大きな災害の度に大変なご尽力をされている。本当に大変な時代のなかで、安全のため精一杯頑張っておられると常々感じています。

もう一つの懸念は人材の問題です。現場における人材不足あるいは長年の熟練した人たちが職場を去るという時代となり、政府は本格的に外国人材を受入れようとしています。日本語に不慣れた方々を積極的に受入れようという段階にまでは到っていないと思いますが、客先や消費する現場において日本語が通じないという問題は現実にあるということです。この問題についてはより鮮鋭に問題意識を持っておられるLPガス業界が様々な手を打ち始めています。私共はLPガスの安全委員会の事務局をやっています。安全委員会の活動として従来は、英語、フランス語、ポルトガル語またはスペイン語等で書かれた消費者向けの簡単なパンフレットを作っておりました。それに加えてベトナム語、ミャンマー語、さらにインドネシア語等を入れ、計11か国の言語によるパンフレットを作ろうとしております。

同じようなことが同じようなレベルで必要であるとは思いますが、いずれ皆様の実際の消費先

においては日本語が分からない方がアセチレンを使うといった時代になってくるのだろうと思います。そういう時代においても我々は皆様と一緒に、安全をあらゆる消費先においても確保しておこうということで共に頑張っていくつもりですので、よろしくご指導ご鞭撻をお願いいたします。

安全にはコストがかかるということで、なかなか取り組みが難しい面もありますが、一方で、日本の生活水準に対する世界的な認知がだんだん高まっています。日本のウェイ・オブ・ライフというのは世界的にも評価されるようになってきています。私はその中核に安全というものがあるのではないかと考えています。実際に、それを仕事の中核にして海外に出て行こうというような動きも、LP業界などにおいて現れております。安全は価値を生み出すものだ、という目でもう一度見直ししていただき、これをビジネスに是非ともつなげていただきたいと思っております。またそのような面でもKHKとしてできることがあれば一生懸命お支えいたしますので、よろしくご指導ご鞭撻をお願いいたします。

それでは、ここにご参集の皆様方のご健勝とJIMGAの益々の発展をお祈りいたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

乾杯挨拶

副会長 永田 研二

本日はご多用のなか会員各社の皆様におかれましては、JIMGA総会に参加いただきまして誠にありがとうございます。また日



頃からJIMGA本部および地域本部の活動にご支援を賜っておりますことに、改めて御礼申し上げます。本日は厚生労働省の吉田局長、経済産業省の井上局長、またKHKの市川会長には公務ご多忙のなかご臨席賜り、また非常に貴重なお話も頂戴いたしまして誠にありがとうございます。

先ほどは総会決議事項等すべて滞りなく承認をいただきました。その中でも昨年度の活動報告そして今年度の活動計画の説明がありましたが、これらが業界としての課題であるかと思しますので、しっかりと認識をしたうえで、安全・安心の追求のために活動してまいります。

産業ガスは経済・産業のインフラを担っており、今後とも持続的で継続的なサプライチェーンを強化し、安全・安心を確立いたします。また医療ガスについてはライフラインそのものですので、安心・信頼を追求いたします。それがひいては我々産業ガス、医療ガス業界の健全な発展に繋がるのではないかと考えております。

JIMGA会員各社の皆様、特に今日お集りの方々はその業界のリーダーであると思っております。先ほど申し上げた課題をしっかりと共有し、認識して、今後とも業界発展のため、引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。

それではJIMGAの益々の発展、そして会員各社様のご発展、そして今日お集りの皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げて、乾杯したいと思います。

中締め挨拶

副会長 鈴木 慶彦



令和に入り、どのような時代になるのかということについて、先ほどより皆様から色々なお話がございました。我が社でも働き方改革をしようということで、「社長が自らやれ。社長はもっと働け」と言われております。この問題の考え方としては、単に残業を減らせとか、勤務時間を減らせとか、有給休暇を取れとかそれだけの話では済まないわけです。我々は業績を上げて、国際競争の中で勝っていけるような仕事をしつつそのようなことを実現しなければならず、やはり知恵を絞らなければいけない。それから世界中の人たちがどんな仕事のやり方をしているか見ながら、参考になる部分は取り入れていくというようなことも考えなければいけない。

そういうところでJIMGAでも知恵を出し合って、工夫していくということが大切なのではないかと。単に高圧ガスについてだけではなく、色々な意味で我が国の産業を支えていくためにはどうすれば良いか、知恵を絞って力を合わせていきたいと思っております。このような観点で皆様と一緒にお仕事をしていきたいと思っております。

これからの未来、日本の産業がどのように変わっていくかわかりませんが、その中でしぶとく生き残っていけるよう力を合わせていくためにも、三本締めでいきたいと思っております。



懇親会の模様

2018年度 事業報告

1. 総務部会

主に下記事項について審議を行い、全議案を承認し、理事会・評議員会へ上程した。

- ・産業ガス部門決算報告および予算案
- ・入会希望事業者の審査および会員資格等の変更
- ・表彰選考委員会への推薦候補者
- ・JIMGA組織変更および規程類の整備について

2. 広報委員会

「常に発信するJIMGA」、「皆様に頼りにされるJIMGA」、「存在感のあるJIMGA」を意識した広報活動を推進した。

(1) 協会ウェブサイトによる発信

官公庁、関係団体からの周知依頼は迅速にNEWSサイトに掲載し、かつ新たに導入したメール配信システムで会員各社へ掲載通知を行った。

(2) 会報誌、ニュースレターによる発信

会報医療を毎月、産業ガスレポートを秋と春の2回、JIMGAnewsを偶数月末に発行した。産業ガスレポート春号では、特別企画として「中堅社員 未来を語る」と題した業界でのIoT・AIの活用と技術革新についてのディスカッションを掲載した。

(3) マスコミへの発信

定例の記者会見と記者懇談会にて、今井会長からJIMGA活動について直接発信した他、各報道機関からのインタビューや、特集記事向けの寄稿依頼等、合計21件に対応した。

3. 企画部会

主に下記事項について審議を行い、全議案を承認した。

- ・企画部会管轄の各WGの活動報告および活動

計画

- ・緊急時対策研究WGの廃止と機能移管
- ・長期停滞容器回収推進WGと容器処理WGの統合
- ・容器RFタグ運営委員会へのEDI運営委員会の吸収

3-1. 放置容器撲滅WG

長期停滞容器回収推進WGと容器処理WGを統合し、長期停滞容器および放置容器の撲滅を主たる目的としたWGとして発足した。全国で発見される放置容器の年間回収本数を50本以下とすることを目標とし、2019年度より各種施策を打ち出すこととした。

10月の高圧ガス特別回収月間での回収実績は、長期停滞容器が36,000本、放置容器が2,297本(内所有者不明容器が569本)であった。

3-2. 物流WG

産業ガスの物流において、「保安」と「配送効率化(CO₂排出量削減)」という2つのテーマに対し、幅広く意見交換を行った。

(1) CO₂排出量統計

2017年度の総輸送量は、前年比2.2%増の4,061千トンとなり、CO₂排出量は1.4%悪化、燃料原単位は0.8%の改善となった。なお、生産プラントの稼働状況等の影響を受けている炭酸ガスローリは、長距離輸送が増え、輸送距離の増加が続いているが、燃料原単位は2.8%改善され、CO₂排出量は0.4%の改善となった。

(2) ヒヤリハット事例に対する意見交換

直近の事例より、原因と対策についての協議を行った。

(3) 効率化に向けた取組み

各社乗務員不足の問題を抱えており、人材の確保、効率配送、教育訓練など実務的な懸念事項等について意見を出し合った。

4. 容器RFタグ運営委員会

第2回会議にて、「容器RFタグ運営WG」を廃止し、「容器RFタグ技術サブWG」と「容器RFタグ普及推進サブWG」をそれぞれ運営委員会直轄のWGとした。

技術WGでは、RFタグのJIMGA規格見直しによるコストダウンを検討したが、効果が小さく追究不要という結論に至った。一方で、新開発された小型タグの実証実験は結果が良好であった。

普及推進WGでは、容器検査所におけるRFタグの取付け拡大を支援するため、東京、名古屋、福岡での全国高圧ガス容器検査協会の講習会においてRFタグの説明会を実施した。(計86名受講)

2019年3月末時点でのRFタグ装着本数は、72社279拠点で835千本となった。(前年同月比+55千本)

5. EDI運営委員会

第2回企画部会にて、RFタグ等の容器管理方法と組み合わせたJIMGA-EDIの提案活動を進めることが望ましいとし、本委員会を容器RFタグ運営委員会へ吸収することを検討することとなった。なお、2018年4月～2019年3月の利用実績は下記の通りである。

- ・データ交換利用会社数：5社
- ・交換データ件数累計：10,860件

6. 技術審議委員会

各WGからの上程案12件について審議を行い、全件を承認した。

7. 技術・保安部会

技術・保安部会管轄各WGの活動報告および活動計画について審議を行い、承認した。

7-1. 容器技術WG

(1) 国内法関連およびJIMGA指针对応

AE/UT、UTによる容器再検査への対応として、容器則改正内容および非破壊検査協会報告内容の確認と、特認取得事業者の現況確認を行った。

(2) ISO/TC58国内委員会活動

KHK国内委員会へ報告した規格原案等への投票状況は下記の通りである。

賛成および確認投票7件:

- ・ISO/CIB 11623 (複合容器の再検査方法): WG10再開
- ・ISO/CD 11114-1 (バルブ・容器材料/金属とガスの適合性)
- ・ISO/CIB 11114-2 (バルブ・容器材料/非金属とガスの適合性)
- ・ISO/CIB 23802 (フレームに固定された複合チューブの再検査方法): WG19立上げ
- ・ISO/SR 13770 (アルミ合金製容器のネックと肩部のき裂発生を避けるための要求事項)
- ・ISO/SR 12209 (呼吸空気容器の継手形状)
- ・ISO/SR 15245-1 (容器弁平行ねじ・仕様)

棄権投票9件：省略

(3) TC58/SC4国際会議への参加

2月11日～15日にイタリア・ミラノで開催された全体会議およびSC4関連WGに参加した。

7-2. 超低温貯槽WG

(1) JIMGA自主基準の制定

温水槽式蒸発器と空温式蒸発器のトラブル事例を調査し、注意喚起すべき内容の原稿を作成している。

(2) 国内法関連

規制改革要望である「超低温容器の膨張試験の廃止」について、経済産業省に海外規格との比較、国内規則の車載用LNG燃料容器との不整合等を説明することで一定の理解を得た。

(3) ISO/TC220国内委員会活動

KHK国内委員会へ報告した規格原案等への投票状況は下記の通りである。

賛成および確認投票6件:

- ・ ISO/DIS 20421-1 (大型可搬式容器 - 設計・製作・検査)
- ・ ISO/SR 21009 (定置式真空断熱貯槽 - 設計・製作・検査)
- ・ ISO/SR 21013-1 (開閉式圧力逃がし弁)
- ・ ISO/ 21029-1 (1000L以上の可搬式容器 - 設計・製作・検査)
- ・ ISO/CD 21013-4 (パイロット式安全弁)
- ・ ISO/DIS 21014 (超低温断熱性能)

(4) ISO基準検討国際会議への参加

6月4日～6日にパリで開催されたTC220国際会議に参加した。

(5) JIMGA地域本部セミナーでの講演

関東、東海、北陸、近畿、中国各地域本部にて、「CE附属品の取り扱い方法」に関する講演を行った。

7-3. 充填技術 WG

(1) 高圧ガス充填フレキシブルホース(可とう管)に関する研究・検討

「圧縮ガス(酸素、窒素、アルゴン)充填用フレキシブルホースに関する取扱い自主指針」として取りまとめ、技術審議委員会にて一部修正の上承認となった。(2018年12月初版発行)

(2) 普及啓発セミナー

近畿および中国地域本部の保安セミナーへ講師を派遣し、それぞれ題目を「産業・医療ガスの臭気判定について」、「酸素ガス充てん所作業基準(追補)」とした講演を行った。

7-4. 保安対策 WG

(1) CE単独荷おろし実施要件

経済産業省高圧ガス保安室に対し荷おろし作業現場の見学会を開催し、質疑応答を進め、重大事件事例についてのリスクアセスメントを行った。

(2) 充填所におけるリスクアセスメント事例集の作成

WGメンバー各社より集めた32事例の内容を検討し、各事例のイラストを作成している。

(3) 地域本部との連携

北海道地域本部セミナーに講師を派遣した(販売事業所自己診断指針)。

7-5. 教育・研修WG

7月にeラーニング「水素の安全な取扱い(改訂版)」をリリースした。

2014年、2015年度に改訂または初版リリースした「高圧ガスの安全基礎知識」および「高圧ガスの安全基礎知識(ダイジェスト版)」について内容の更新、改訂作業を進めた。

7-6. 安全統計 WG

(1) 労働災害統計調査

6月にJIMGAウェブサイトにて2017年労働災害統計調査報告を掲載した。会員268社からの報告であるが、JIMGA度数率は0.70、強度率0.017となり、全国製造業平均、化学工業平均、EIGA平均(欧州産業ガスメジャー6社)のいずれをも下回っている。

(2) 高圧ガス関連事故の分類と解析

KHKの2017年高圧ガス事故情報を含めて、事故の原因と傾向の比較検証を行った。

(3) 安全ニュース No.13の発行

「高圧ガス移動に関する事故」として、積載形態、地域別、ガス種別等にて傾向分析を行った安全ニュース No.13を作成、技術審議委員会の承認を得て、発行した。

7-7. ヘリウム技術WG

(1) JIMGA標準化功労賞受賞

一昨年・昨年と取組んだ「ヘリウムガスおよび液化ヘリウムの安全な取扱いについて」、注意事項や事故予防対策等を指針としてまとめ上げたことで、「標準化功労賞」を受賞した。

(2) 「混合ガス潜水」について

全日本潜水連盟への確認や、ダイビング関係についても実態調査を行った。

(3) 海外情報収集

カタール、ロシア等のヘリウムソースや、技術開発動向、市場動向等の情報収集を行った。

改訂作業を実施し、技術審議委員会の承認の上、第2次改訂版を刊行した。

(2) KHK活動への参加と情報共有

KHKより各種検討委員会等への委員・オブザーバ派遣要請があり、水素技術WG長が参加した。会議内容は水素技術WGにて報告され、会員各社に対し、技術・安全情報の共有化を行った。

(3) 水素スタンドサブWG設置検討

JIMGA水素スタンドプロジェクト解散の後、経済産業省やKHKからの水素ステーションに関する要請等に対応できる部署がなくなったため、2019年度より水素技術WG内にサブWGを設置することとした。

7-8. 炭酸ガス技術WG

東北、関東、東海、近畿、中国、九州の6地域本部で開催された第18回炭酸ガス保安講習会について、炭酸ガス技術WG/G会議に出席し、本部制作講演資料の説明を行った。(2地域本部には講師を派遣した。)受講者549名のうち480名からアンケートを回収し、分析結果を報告書にまとめ、本部および地域本部のWG委員で共有した。

7-9. 溶解アセチレン技術WG

(1) 38年容器の周知の啓発

全国高圧ガス溶材組合連合会の協力を得て、「充填所は充填しない、販売店は販売しない、容器所有者は廃棄する」をキャッチフレーズとしたポスターを制作し、アスベスト含有容器ゼロを目標とする啓発運動を再開した。

(2) アセチレン事業所の保安活動の推進

JIGA時代に刊行した「溶解アセチレンの製造に関する基準」の改訂作業を完了した。

7-11. 特殊ガス企画委員会・特殊ガス技術WG

(1) 容器基本通達の改正

KHKと協議し、経産省へ改正要望案を提出していた容器則第9条関係の基本通達の改正については、「高圧ガス保安法及び関係政省令の運用及び解釈について(内規)の一部を改正する規定」の公布(2019年9月1日施行、ただし、容器則第9条関係は公布日である2018年11月14日から施行)で決着となった。

(2) SDSの改定

JCSS対象製品の内CH₄、C₃H₈、NO₂の各AirバランスのSDSを作成し、技術審議委員会にて承認された。また、NOのSDSについても、毒性区分変更に伴う改訂案が技術審議委員会にて承認された。

(3) イエローカードの見直し

特殊ガス技術WGにて維持管理する63物質のイエローカードの改訂案が技術審議委員会にて承認された。

7-10. 水素企画委員会・水素技術WG

(1) 「水素ガスハンドブック」の改訂

8. 環境・安全部会

環境・安全部会管轄各WGの活動報告および活動計画について審議を行い、承認した。

8-1. 環境保全 WG

(1) 省エネルギー関係

日本経済団体連合会が実施している低炭素社会実行計画フォローアップ調査のため、JIMGA会員企業65社の2017年度のエネルギー使用量等をまとめ、とりまとめ先である日本化学工業会へ提出した。

- ・エネルギー量256万kL(前年度245万kL):
原油換算
- ・電力使用量99.8億kWh(前年度96.0億kWh)
- ・CO₂排出量435万t-CO₂(前年度418万t-CO₂)

(2) 行政動向フォロー

地球温暖化、省エネルギーの諸施策に関し、電気料金の値上げ、燃料調整費の変動状況、省エネ補助金について情報収集を行った。

- ・2018年度賦課金単価2.90円/kWh(前年度2.64円/kWh)

8-2. 化学品安全 WG

(1) 窒素のJIS改訂について

改訂済みのアルゴン(JIS K1105:2017)を参考に作成を行った。実際の改訂作業は、日本規格協会から見直し依頼を受けた段階で実施していくことになる。

(2) SDS等の見直しについて

SDSに記載されている引用文献の出版状況等について調査・確認を行った。現在のJIMGAウェブサイトにはGHS改訂4版を反映したJIS(Z7252およびZ7253)に基づくSDSが掲載されているが、次年度には改訂JIS(GHS 6版反映)が発行される予定であるため、その改訂内容を確認し、SDSの改訂

を行う予定である。

9. 国際部会

国際部会管轄各WGの活動報告および活動計画、並びに国際会議への対応について審議を行い、承認した。

9-1. 国際統合化委員会(IHC)対応WG

- (1) 国際統合化プロジェクト JIMGA基準化活動
参考文書として、新規4件、改訂5件を発行した。
- (2) JIMGA主導プロジェクト文書
「アルシンの安全な取扱い指針」、「ホスフィンの安全な取扱い指針」の対応を完了した。
- (3) JIMGA基準類・指針類
「酸素パイプラインシステム指針」を発行した。また、「モノシランの安全な取扱い指針」については2019年7月発行予定である。
- (4) AIGA、CGA、EIGA、IOMA等との技術交流会の促進と協調関係の継続・強化
会議開催記録参照。

9-2. 規制改革 WG

- (1) 規制改革要望の発掘・募集・審議
「塩素と特定の可燃ガス混載禁止緩和」の検討と、「大気用標準ガスのⓀマーク刻印の範囲拡大」の提案を行った。
- (2) 規制改革案件のフォローアップ
医療用酸素容器の定期点検の緩和&在宅酸素用LOX装置の製造届出要件の緩和について、経済産業省高圧ガス保安室へ説明した。
- (3) 海外の規制、基準の調査、情報の発信
下記の海外でのセミナーに出席した。
 - ・CGA安全セミナー フロリダ(10月16～18日)
 - ・EIGA安全セミナー ブリュッセル(1月30～31日)

2018年度 会議開催記録

理事会・総会・賀詞交歓会等			
No.	会議・WG会議名称	開催年月日	議 題
1	第1回理事会	2018年5月28日	2018年度定時総会招集の件
2	第1回部門理事会・ 評議員会合同会議	2018年5月28日	1)2017年度事業報告及び収支決算報告の件 2)2018年度事業計画及び収支予算の件 3)評議員及び理事候補者選任の件 4)入会希望事業者審査の件 5)2018年表彰対象者決定の件 6)2018年度定時総会招集の件 報告事項 1)電力問題への対応 2)会員の動静及び今後の主要日程
3	第2回理事会	2018年6月12日	2018年度定時総会付議議案確認の件
4	部門総会・定時総会	2018年6月12日	産業ガス部門総会 決議事項 1)産業ガス部門評議員選任の件 定時総会 決議事項 1)2017年度事業報告及び収支決算の承認を求める件 2)2018年度事業計画及び予算(案)の承認を求める件 3)評議員及び理事選任の件 報告事項 1)電力問題への対応 2)会員の動静 3)今後の主要日程
5	第3回理事会	2018年6月12日	1)会長・副会長の選任並びに部門別理事会所属理事の選任の件 2)総会等における会長に事故があるときの議長就任順位の件 3)業務を執行する理事の選任の件 4)副会長の業務担当の件 5)顧問専任の件
6	第2回部門理事会・ 評議員会合同会議	2018年11月28日	1)入会希望事業者審査の件 2)組織変更の件 3)規程類整備の件 報告事項 1)2018年度上期活動報告 2)2018年度上期収支計算書報告 3)その他 ・電力問題への対応 ・消費税率変更への対応 ・内部監査報告 ・会員の動静 ・今後の主要行事日程
7	2019年賀詞交歓会	2019年1月15日	(経団連会館にて開催)

総務部会			
No.	会議・WG会議名称	開催年月日	議 題
1	第1回総務部会	2018年4月27日	1)2018年度産業ガス部門決算案および2018年度予算案について 2)2018年度第1回部門理事会・評議員会合同会議について 3)2018年度定時総会開催について 4)入会希望事業者、退会会員、会員資格等変更について 報告事項 1)電力問題への対応について 2)保安法関係省令等改正について 3)2018年表彰選考委員会推薦者について 4)事務局職員の異動について 5)今後の主要行事予定、会員の現状について
2	第2回総務部会	2018年10月16日	1)昭和電工殿/昭和電工ガスプロダクツ殿の会費および役員変更について 2)入会希望事業者について 3)JIMGA組織変更について ①北海道地域本部の専任化 ②緊急時対策研究WGの取扱い 4)JIMGA規程類の整備について 報告事項 1)2018年度上期産業ガス部門収支状況 2)2018年度第2回部門理事会・評議員会合同会議について 3)電力問題への対応について 4)農林水産大臣感謝状交付について 5)本部組織変更および事務局職員の異動について 6)今後の主要行事予定、会員の現状について

広報委員会			
No.	会議・WG会議名称	開催年月日	議 題
1	第1回広報委員会	2018年5月23日	1)JIMGAウェブサイトについて 2)産業ガスレポート発行について 3)JIMGAnewsについて 4)マスコミへの発信について 5)医療ガス部門広報活動について 6)2017年度活動報告・2018年度活動計画について 7)広報活動全般について(意見交換)
2	第2回広報委員会	2018年10月29日	1)メール配信システムについて 2)JIMGAウェブサイトについて 報告事項 1)JIMGAからの情報発信関連(ウェブサイト、産業ガスレポート、JIMGAnews、報道機関への発信等) 2)平成30年度第2回部門理事会・評議員会合同会議関連(記者懇談会・上期活動報告) 3)医療ガス部門広報活動について 4)香川県における鳥インフルエンザ防疫資材供給に対する農水省大臣感謝状授与 5)今後の主要行事日程 広報活動全般に関する意見交換 1)JIMGAウェブサイトと発行物について
3	広報タスクフォース	2018年8月20日	産業ガスレポート39号初校読み合わせ
4		2019年2月21日	産業ガスレポート40号初校読み合わせ

企画部会			
No.	会議・WG会議名称	開催年月日	議 題
1	第1回企画部会	2018年5月22日	1)WG・委員会 2017年度活動報告・2018年度活動計画 報告事項 1)電力問題への対応 2)消費税軽減税率制度について 3)高圧ガス保安法関連省令等改正について 4)オゾン層保護法一部改正案について 5)今後の主要行事日程
2	第2回企画部会	2018年11月24日	1)緊急時対策研究WGの廃止と機能移転について 2)長期停滞容器回収推進WGと容器処理WGの再編について 報告事項 1)2018年度上期WG・委員会活動報告 2)今後の主要行事日程
3	放置容器撲滅WG (旧長期停滞容器回収推進WG)	2019年2月28日	1)WG長選出 2)活動テーマの選定と担当決定 3)2018年度高圧ガス容器特別回収結果報告
4	物流WG	2018年4月20日	1)今年度活動計画 2)CO2排出量確認予定 3)定修情報 4)EIGAセミナー資料について 5)その他連絡事項・情報交換
5		2018年7月6日	1)タンクローリ輸送CO2排出量調査結果について 2)ヒヤリハット事例に対する意見交換 3)効率化への取組み(乗務員不足対応) 4)その他連絡事項・情報交換
6		2018年11月2日	1)タンクローリ輸送CO2排出量再調査結果について 2)バラ瓶輸送の注意事項(関東地域本部要望対応) 3)単独荷おろしの状況(経産省による現場視察) 4)その他連絡事項・情報交換
7		2019年1月25日	1)規制改革案件「塩素と水素・アセチレン・アンモニア混載禁止」見直しについて 2)単独荷おろしの状況について 3)ヒヤリハット事例の検証 4)その他連絡事項・情報交換
8	高圧ガス容器特別回収プロジェクト及び容器処理WG合同会議	2018年8月3日	1)2017年度特別回収運動結果資料審議(回収本数及び回収場所集計結果報告) 2)2018年度特別回収運動配布文書審議(配布文書確認、ポスター決定) 3)放置容器処理事業特別枠実施状況報告

容器RFタグ運営委員会			
No.	会議・WG会議名称	開催年月日	議 題
1	容器RFタグ運営委員会	2018年6月13日	1)全国展開の状況、各社の取組みと装着本数推移 2)技術サブWG活動報告 3)普及推進サブWG活動報告 4)普及・促進活動の継続
2		2018年10月31日	1)全国展開の状況、各社の取組みと装着本数推移 2)技術サブWG活動報告 3)普及推進サブWG活動報告 4)普及・促進活動の継続
3	容器RFタグ運営WG		10/31開催の容器RFタグ運営委員会において、より機能的な活動を推進するため、「容器RFタグ運営WG」を廃止し、「容器RFタグ普及推進サブWG」と「容器RFタグ技術サブWG」を運営委員会直轄のWGとすることを決定した。

容器RFタグ運営委員会			
No.	会議・WG会議名称	開催年月日	議 題
4	容器RFタグ技術 (サブ) WG	2018年7月27日	1) タグのコストダウンの取組み 2) 新小型タグ開発状況
5		2018年9月27日	1) タグのコストダウンの取組み 2) 新小型タグ試験運用報告
6		2018年12月5日	1) 新規参入を目指すタグベンダーの検討説明会
7		2019年1月18日	1) 流開センターを交えタグに関する意見交換
8		2019年3月12日	1) 2019年度活動方針・行動計画について
9	容器RFタグ普及推進 (サブ) WG	2018年9月7日	1) 全検協講習会について
10		2018年10月31日	1) 全検協講習会について
11		2019年3月11日	1) 2019年度活動方針・行動計画について

技術審議委員会			
No.	会議・WG会議名称	開催年月日	議 題
1	第1回技術審議委員会	2018年6月28日	1) 国際会議出席旅費一部負担実績 2) 上程案(3件)の審議 ①労働災害統計調査報告 ②半導体材料ガスのイエローカード改訂 ③JCSS対象製品のSDS作成(CH ₄ /Air, C ₃ H ₈ /Air, NO ₂ /Air) 3) 報告事項 ・「圧縮水素運送自動車用附属品の技術基準 JIGA-T-S/13/04」の廃止 ・水素スタンドプロジェクト活動報告
2	第2回技術審議委員会	2018年12月10日	1) 国際会議出席旅費一部負担実績 2) 上程案(9件)の審議 ①水素ガスハンドブック(2018年12月改訂版) ②安全ニュースNo.13 ③「圧縮ガス(酸素、窒素、アルゴン)充填用フレキシブルホースに関する取扱い自主指針」 ④e-ラーニング「高圧ガスの安全基礎知識」の改訂 ⑤「液化水素貯蔵型圧縮水素スタンドの自主技術基準」の改訂 ⑥「酸素パイプラインシステム指針」国際整合化指針 ⑦JCSS対象製品のSDS作成(NO ₂ /Air) ⑧SDSの改訂(NO) ⑨JIMGA ウェブサイト「溶解アセチレンの運ばれ方」改訂

技術・保安部会			
No.	会議・WG会議名称	開催年月日	議 題
1	第1回技術・保安部会	2018年5月8日	1)2017年度活動実績及び2018年度活動計画 2)報告事項 ・2017年度第2回技術審議委員会審議結果 ・2017年度JIMGA 地域本部主催セミナー実施状況 ・定時総会セミナー講演予定内容 ・JIMGA 技術・保安部会表彰候補 ・2018年秋号産業ガスレポート原稿依頼
2	第2回技術・保安部会	2018年11月19日	1)2018年度活動計画及び2018年度上期活動実績 2)報告事項 ・2018年度第1回技術審議委員会審議結果 ・2018年度第2回技術審議委員会予定 ・2018年度JIMGA 地域本部主催セミナー実施状況 ・2019年春号産業ガスレポート原稿依頼
3	容器技術WG	2018年4月10日	1)AE/UT 検査方法の制度化内容の確認 2)2018年度の活動方針の確認 3)SC4国際会議報告 4)ISO 規格原案投票状況報告
4		2018年7月26日	1)中小容器UT再検査、大型容器AE/UT 検査について ・カンサン訪問報告 ・エーテックの状況報告 2)ISO TC58国内委員会報告 (SC4国際会議報告含む) 3)ISO 規格原案投票状況報告
5		2018年11月9日	1)ISO 規格検討・投票状況報告 2)11/19技術保安部会での容器技術WG 上期報告
6		2019年1月24日	1)ISO 規格検討・投票状況報告 2)ISO 国内審議委員会出席報告 3)産業ガスレポート春号報告内容 4)次年度活動について
7		超低温貯槽WG	2018年5月18日
8		2018年7月13日	1)送ガス蒸発器使用に関する注意事項 2)TC-220進捗(6/4～6、バリ AFNOR 会議) 3)IHC 文書「低温貯槽(破裂板付き)への充填時における過剰圧力の解析と防止のための計算手法」について
9		2018年9月28日	1)送ガス蒸発器使用に関する注意事項 2)規制改革要望案(2018年10月3日 METI 提出) 3)TC-220 KHK 国内会議の報告 4)今年度、見学研修先について
10		2018年11月27日	1)送ガス蒸発器使用に関する注意事項 2)規制改革要望案(2018年10月22日 METI 提出) 3)TC-220 KHK 進捗報告 4)今年度、見学研修先について
11		2019年1月29日	1)送ガス蒸発器使用に関する注意事項 2)TC-220 KHK 進捗報告 3)産業ガスレポート春号報告内容 4)今年度、見学研修先について

技術・保安部会			
No.	会議・WG会議名称	開催年月日	議 題
12	充填技術 WG	2018年5月21日	全体会議 1)2018年度活動テーマ(フレキ基準) 2)技術・保安部会報告
13		2018年4月25日	メーカー会議/今期テーマ(フレキ基準)
14		2018年8月2日	メーカー会議/今期テーマ(フレキ基準)
15		2018年10月5日	メーカー会議/今期テーマ(フレキ基準)
16		2018年12月14日	今期残り期間および来期の活動計画について
17		2019年3月5日	全体会議 1)2018年度充填技術WGの活動報告 2)2019年度活動テーマ検討、決定 3)2019年度スキルアップ研修先の検討
18		保安対策 WG	2018年4月5日
19	2018年6月18日		1)CEへのローリ単独荷おろし 2)今期活動テーマについて(充填所に特化したリスクアセスメント実施例)
20	2018年10月4日		1)CEへのローリ単独荷おろしの進捗報告(10/9横浜ガスセンター、METI現状確認) 2)今期活動テーマについて(充填所に特化したリスクアセスメント実施例)
21	2018年12月11日		1)CEへのローリ単独荷おろしの進捗報告及び今後の対応(12/3 METI 打合せ結果) 2)今期活動テーマ(充填所に特化したリスクアセスメント実施例) 3)高圧ガスハンドブック、第3次改訂2刷の見直し
22	2019年2月28日		1)CEへのローリ単独荷おろしの進捗報告及び今後の対応(2/7 METI 打合せ報告) 2)今期活動テーマ(充填所に特化したリスクアセスメント実施例) 3)高圧ガスハンドブック、第3次改訂2刷の見直し
23	教育・研修 WG		2018年4月18日
24		2018年7月6日	1)e-ラーニング「水素の安全な取扱い」最終確認 2)e-ラーニング「高圧ガスの安全基礎知識」の見直し
25		2018年9月13日	1)e-ラーニング「高圧ガスの安全基礎知識」の見直し
26		2018年10月29日	1)e-ラーニング「高圧ガスの安全基礎知識(ダイジェスト版)」の見直し
27		2018年12月21日	1)e-ラーニング「高圧ガスの安全基礎知識」の見直し ・12/10技術審議委員会での指摘事項確認 ・現在のアップロード版の確認および改訂の最終確認 ・理解度テストの最終案検討 2)見学研修会の件
28		2019年3月13日	1) e-ラーニング「高圧ガスの安全基礎知識」の見直し ・理解度テストの見直し最終確認 ・その他(法改正スライド、ナレーションの確認) 2)来期活動計画について ・e-ラーニング「炭酸ガス(二酸化炭素)の安全な取扱い」の見直し

技術・保安部会			
No.	会議・WG会議名称	開催年月日	議 題
29	安全統計WG	2018年4月25日	1)2017年度活動報告/2018年度活動計画 2)高圧ガス業界および会員からの事故情報の分析について 3)2017年労働災害統計について 4)高圧ガス事故事例の分析について(安全ニュースNo.13) 5)2017年度地域本部保安セミナー対応について
30		2018年7月3日	1)高圧ガス業界および会員からの事故情報の分析について 2)2017年労働災害統計について 3)高圧ガス事故事例の分析について(安全ニュースNo.13) 4)2018年度の地域本部保安セミナー対応について
31		2018年9月11日	1)高圧ガス業界および会員からの事故情報の分析について 2)高圧ガス事故事例の分析について(安全ニュースNo.13) 3)2018年度の地域本部保安セミナー対応について
32		2018年11月6日	1)高圧ガス業界および会員からの事故情報の分析について 2)高圧ガス事故事例の分析について(安全ニュースNo.13) 3)2018年度の地域本部保安セミナー対応について
33		2019年2月18日	1)産業ガスレポート活動報告/次期活動内容について 2)高圧ガス業界および会員からの事故情報の分析について 3)高圧ガス事故事例の分析について 4)2018年度地域本部保安セミナー
34	ヘリウム技術WG	2018年4月13日	1)2017年ヘリウム実績について 2)ヘリウム既存添加物について 3)JIMGA表彰について 4)活動計画確認
35		2018年7月12日	1)JIMGA表彰報告 2)2018年ヘリウム実績について 3)高圧ガス・石油コンビナート事故対応要領 4)潜水関係の情報収集
36		2018年10月11日	1)2018年ヘリウム実績について 2)ヘリウムSDS修正について 3)潜水関係の情報収集
37		2019年2月27日	1)2018年ヘリウム実績について 2)産業ガスレポート春号記事・次期取組み内容について 3)ヘリウム東京陸揚げについて
38	炭酸ガス技術WG全体会議	2018年5月16日	1)2017年度活動報告 2)2018年度活動計画 3)WG長の交代について 4)統計、調査資料の報告 5)炭酸ガス保安講習会向け資料の紹介
39	炭酸ガス技術WG会議	2018年4月19日	1)2018年度全体会議開催内容について 2)炭酸ガス保安講習会資料の説明
40		2018年6月22日	1)炭酸ガス保安講習会準備状況 2)炭酸ガス容器破裂事故の周知について 3)地域本部炭酸ガス技術WG・G活動報告 4)現地研修会について
41		2018年9月4日	1)参画している各部会、WGの活動報告 2)地域本部炭酸ガス技術WG・G活動報告 3)炭酸ガス保安講習会準備状況と各委員担当地域確認
42		2018年10月2日	1)炭酸ガス保安講習会開催状況について 2)岐阜県で発生した豚コレラ事例について
43		2018年12月13日	1)炭酸ガス技術WG2018年度上期活動結果について 2)炭酸ガス保安講習会開催結果 3)2019年度活動計画の策定について

技術・保安部会			
No.	会議・WG会議名称	開催年月日	議 題
44	炭酸ガス技術WG会議	2019年1月25日	1)炭酸ガス保安講習会開催結果 2)2019年度活動計画の策定について
45		2019年3月27日	1)地域本部炭酸ガス技術WG・G活動報告 2)2018年度活動実績と2019年度活動計画 3)2019年度全体会議日程と議案について
46	炭酸ガス技術サブWG	2018年4月19日	1)炭酸ガス容器破裂事故の周知と注意喚起の検討
47		2018年5月16日	1)炭酸ガス容器破裂事故の周知と注意喚起の検討
48	溶解アセチレン技術WG	2018年4月13日	1)溶解アセチレンの運び方(JIMGA ウェブサイトの表現) 2)「溶解アセチレンの製造に関する基準」の改訂について 3)38年問題への取組み方
49		2018年6月26日	1)溶解アセチレンの運ばれ方について 2)KHK (ISO/TC58国内審議委員会)の質問について 3)38年問題ポスター
50		2018年9月18日	1)アセチレン容器の耐圧刻印に関するアンケート結果 2)溶解アセチレンの運ばれ方(JIMGA ウェブサイトの表現) 3)38年問題への取組み方
51		2018年11月29日	1)経済産業省への報告について 2)技術保安部会(11/19)について 3)38年問題への取組み方
52		2019年2月27日	1)溶解アセチレン技術サブWG活動報告 2)38年問題への取組み方 3)TC58(アセチレンカードル)について
53	水素企画委員会 定時代表者会議	2018年4月17日	1)2017年度活動報告 2)2018年度活動計画 3)役員改選・評議員候補者選定
54	水素技術WG	2018年5月15日	1)水素ガスハンドブック改訂の進め方 2)研修会について 3)水素スタンド関連の取組みについて
55		2018年9月28日	1)「液化水素貯蔵型圧縮水素スタンドの自主基準」改定 2)水素ガスハンドブック改訂の中間報告 (改訂サブWGが6～8月に改訂案作成)
56		2018年12月7日	1)水素スタンドサブWG発足に向けて 2)2019年度活動テーマを協議
57		2019年3月8日	1)2019年度活動テーマ決定 2)水素スタンドサブWG発足 3)外部委員会参加報告 4)研修会について
58	特殊ガス企画委員会 定時代表者会議	2018年4月26日	1)2017年度活動報告 2)2018年度活動計画 3)役員改選・評議員候補者選定
59	特殊ガス技術WG	2018年4月10日	1)半材ガス・標準ガス両チーム活動報告 2)2018年度活動計画 3)研修会について
60		2018年6月7日	1)半材ガス・標準ガス両チーム活動報告 2)「IHC-Doc/48/18 フッ素ガスの取扱い指針」レビュー
61		2018年9月6日	1)半材ガス・標準ガス両チーム活動報告 2)国際整合化参考文書発行について

技術・保安部会			
No.	会議・WG会議名称	開催年月日	議 題
62	特殊ガス技術 WG	2018年10月19日	1) 半材ガス・標準ガス両チーム活動報告 2) SDSについて (NOの毒性区分変更) 3) KHK 総合研究所訪問
63		2018年12月14日	1) 半材ガス・標準ガス両チーム活動報告 2) SDS改訂
64		2019年3月5日	1) 半材ガス・標準ガス両チーム活動報告 2) 会議開催方法の見直し
65	半材ガスチーム会議	2018年4月10日	1) 「シラン及びその混合ガスの貯蔵と取扱指針」改訂について
66		2018年6月7日	1) 改訂作業 1～4章
67		2018年8月6日	1) 改訂作業 5～7章
68		2018年9月6日	1) 改訂作業 8～9章
69		2018年12月14日	1) 改訂作業10～14章
70		2019年3月5日	1) 改訂作業15～18章 2) 2019年度活動テーマ
71	標準ガスチーム会議	2018年9月6日	1) 容器則9条基本通達改訂要望について 2) SDSについて
72		2018年12月14日	1) 容器則9条基本通達改訂要望について 2) SDS、WLTPについて

環境・安全部会			
No.	会議・WG会議名称	開催年月日	議 題
1	第1回環境・安全部会	2018年5月14日	1) 前期活動報告と2018年度活動計画 2) 環境保全 WG 関係 a) 環境エネルギー問題について b) FIT 賦課金減免措置関係について c) 低炭素社会実行計画 (2018年調査予定) 3) 化学品安全 WG 関係 a) 厚労省 既存添加物削除品目調査対応状況 b) SDS改訂関係 c) JIS 関連 d) 高圧ガスのリスクアセスメントについて
2	第2回環境・安全部会	2018年11月29日	1) 上期活動報告と下期活動計画 2) 環境保全 WG 関係 a) 電力エネルギー関係 b) 地球温暖化対策関連 c) 環境問題関係 3) 化学品安全 WG 関係 a) アルゴン食添について b) SDS関係について c) JIS関係について
3	化学品安全 WG	2018年5月10日	1) 今季活動計画について 2) 食品添加物関係 厚労省 既存添加物調査対応状況 3) SDS 4) JIS 窒素 5) 高圧ガスのリスクアセスメント動向について
4		2018年7月24日	1) SDS引用文献について 2) JIS 窒素 3) 高圧ガスのリスクアセスメント動向について

環境・安全部会			
No.	会議・WG会議名称	開催年月日	議 題
5	化学品安全 WG	2018年10月4日	1)SDS 修正更新について 2) 高圧ガスのリスクアセスメント動向について 3) アルゴンの食品添加物化について
6		2018年12月20日	1)SDS 修正更新について 2) 高圧ガスのリスクアセスメント動向について 3) 食品添加物と軽減税率について
7	環境保全 WG	2018年4月25日	1)2018年度活動計画について 2)環境エネルギー関連情報について a) 電力エネルギー問題関係 b) 地球温暖化対策関連 c) 環境問題関係
8		2018年7月27日	1)JIMGA 低炭素社会実行計画調査結果報告 2)環境エネルギー関連情報について a) 電力エネルギー問題関係 b) 地球温暖化対策関連 c) 環境問題関係
9		2018年10月29日	1)環境エネルギー関連情報について a) 電力エネルギー問題関係 b) 地球温暖化対策関連 c) 環境問題関係
10		2019年2月12日	1)産業ガスレポート掲載2018年度活動報告 2)環境エネルギー関連情報について a) 電力エネルギー問題関係 b) 地球温暖化対策関連 c) 環境問題関係
11	省エネフォローアップ 小委員会	2018年7月20日	1)2018年度低炭素社会実行計画フォローアップ調査結果 2)電力多消費産業関連 3)第5次エネルギー基本計画について 4)FIT 関係について
12		2018年11月9日	1)2018年度 低炭素社会実行計画フォローアップ調査結果 2)電力多消費産業関連 3)第5次エネルギー基本計画について
13		2019年3月15日	1)低炭素社会実行計画フォローアップ調査について 2)電力関連

国際部会			
No.	会議・WG会議名称	開催年月日	議 題
1	国際部会	2018年4月17日	2017年度活動実績/2018年度活動計画
2		2018年11月15日	2018年度上期活動実績
3	IHC 対応 WG	2018年4月17日	1)2017年度実績/2018年度計画 2)第42回 IHC 神戸会議概要&議事録 3)第9回台湾高圧ガス工業会との技術交流会計画案 4)JIMGA 表彰「空気液化分離装置の安全指針」標準化功労賞推薦
4		2018年7月30日	1)IOMA-GCweb 会議報告 2)第43回 IHC アントワープ会議概要 3)第75回 IOMA ウィーン会議概要
5		2018年11月15日	1)2018年度上期報告 2)IOMA GCWeb 会議議事録案 3)第43回 IHC アントワープ会議議事録案 4)第75回 IOMA-GC ウィーン会議議事次第案 5)JIMGAnews#48紹介

国際部会			
No.	会議・WG会議名称	開催年月日	議 題
6	IHC対応WG	2019年2月14日	1)2019年度JIMGA 基準化活動「酸素と不活性ガスの安全な放出」概要 2)44回IHCシンガポール議事次第案 3)IOMA-GC 戦略会議提案資料説明 4)国際統合化活動功労賞推薦
7	第43回IHCアントワープ会議	2018年8月28～29日	1)各協会リエゾン報告 2)IOMA-GC Web会議報告 3)IHCプロジェクト進捗・新規プロジェクト確認 4)GC戦略会議
8	第44回IHCシンガポール会議	2019年2月26日～27日	1)各協会リエゾン報告 2)IOMA-GC ウィーン会議報告 3)IHCプロジェクト進捗・新規プロジェクト確認 4)国際統合化活動功労賞確認
9	IOMA-GC Web会議	2018年5月16日	1)IHC活動のリソースについてと戦略会議 2)国際統合化プロジェクト進捗確認 3)国際統合化功労賞決定
10	IOMA-GC Web会議	2018年7月23日	1)GC戦略会議の開催とIOMA-GC会議の議事について 2)IOMAの組織
11	IOMA-GC ウィーン会議	2018年9月30日～10月3日	1)IOMA 総会参加 2)国際統合化プロジェクト進捗確認 3)GCの歴史と成果の説明
12	第9回台湾高压ガス工業会技術交流会&工場見学会	2018年5月23日～24日	1)技術交換会 2)㈱千代田メディカルガスセンター&岩谷瓦斯(株)館林ガスセンター見学
13	規制改革WG	2018年4月17日	1)規制改革案件進捗確認 2)容器検査AT/UTの適用 3)第12回高压ガス小委員会会議報告 4)2017年度活動報告/2018年度計画、
14		2018年7月30日	1)規制改革案件進捗確認 2)ISO/TC220参加報告 3)IOMA-GC web会議出席報告 4)第9回台湾高压ガス工業会技術交流
15		2018年11月15日	1)規制改革案件進捗確認 2)「混載禁止の見直し」提案 3)第13回高压ガス小委員会会議報告 4)第43回IHCアントワープ会議&第75回IOMA 総会GC会議報告 5)CGA セミナー参加報告 6)2018年度上期活動報告
16		2019年2月14日	1)規制改革案件進捗確認 2)「混載禁止の見直し」方針討議 3)「K-マーク緩和」提案 4)EIGA セミナー参加報告
17	「塩素と特定の可燃ガスの混載の禁止の緩和」打合せ	2019年3月7日	「塩素と特定の可燃ガスの混載の禁止緩和」についてJIMGA会員のニーズと活動方針を決定
18	JIMGA 基準化会議 「酸素パイプラインシステム指針」(web/面談)	2018年4月9日	第1回「酸素パイプラインシステム指針」確認
19		2018年7月4日	第2回「酸素パイプラインシステム指針」確認
20		2018年8月7日	第3回「酸素パイプラインシステム指針」確認
21		2018年9月18日	第4回「酸素パイプラインシステム指針」確認
22		2018年10月10日	第5回「酸素パイプラインシステム指針」確認
23		2018年10月29日	第6回「酸素パイプラインシステム指針」確認
24		2018年11月12日	第7回「酸素パイプラインシステム指針」確認
25		2018年11月30日	第8回「酸素パイプラインシステム指針」確認

国際部会			
No.	会議・WG会議名称	開催年月日	議 題
26	JIMGA 基準化会議 「モノシランの安全な取扱い指針」(web/面談)	2018年4月10日	第1回「モノシランの安全な取扱指針」確認
27		2018年6月7日	第2回「モノシランの安全な取扱指針」確認
28		2018年8月6日	第3回「モノシランの安全な取扱指針」確認
29		2018年9月6日	第4回「モノシランの安全な取扱指針」確認
30		2018年12月14日	第5回「モノシランの安全な取扱指針」確認
31		2019年3月5日	第6回「モノシランの安全な取扱指針」確認

その他			
No.	会議・WG会議名称	開催年月日	議 題
1	全国事務局長会議	2018年6月13日	1) 各地域本部の活動計画 a) 地域WGの活動活性化 b) 地域が直面する課題 c) 本部への要請事項 2) 本部連絡事項 a) 医療ガス部門 ・医療ガス容器保安対策指針の推進 ・医療ガス誤認防止の取組み ・封キャップの紹介 b) 総務部 ・表彰制度の運用 ・事故・災害時の報告方法

2019年度 事業計画

【重点施策】

- (1) 災害対策の充実
 - ・ 災害時供給協定書に関する運用マニュアルの策定と見直し
 - ・ 医療用容器バルブ統一化の推進
 - ・ サイバーセキュリティに関する調査とJIMGA提言の表明
- (2) 保安の一層の強化による安全・安心の追求
 - ・ MGR制度の拡充
 - ・ 放置容器撲滅活動の強化（他団体への協力要請含む）
- (3) 環境・エネルギー問題への継続的取組
 - ・ 電力多消費産業11団体との連携強化
 - ・ FIT賦課金減免制度の見直し要求提言実施
- (4) 法規制への対応推進
 - ・ 医療用封キャップの普及促進
 - ・ 国際整合化活動の推進
- (5) 消費税の完全転嫁
 - ・ JIMGA方針の周知徹底
 - ・ 診療報酬改定対応
- (6) 広報活動による業界の社会的認知度向上
 - ・ JIMGAウェブサイトのリニューアル
 - ・ JIMGAパンフレットの制作

1. 総務部会

主に理事会・評議員会および総会に諮る以下の事項について審議する。

- ・ 産業ガス部門決算報告および予算案
- ・ 2019年度JIMGA運営方針案
- ・ 入会希望事業者の審査および会員資格等の変更
- ・ 表彰選考委員会への推薦候補者

2. 広報委員会

当業界が社会的インフラであることを前面に押し出した広報活動を展開する。主として、協会

ウェブサイトの全面リニューアル、協会パンフレットと動画の制作、報道機関等への露出度向上を推進する。

3. 企画部会

主に下記事項について審議を行う。

- ・ 企画部会管轄の各WGの活動報告および活動計画
- ・ EDI運営委員会および2企画委員会の方向性

3-1. 放置容器撲滅WG

WGメンバーを、容器回収チーム、周知徹底チーム、管理強化チームの3チームに編成し、それぞれのチーム課題を設定して、放置容器撲滅活動を推進する。容器RFタグ運営委員会（およびEDI運営委員会）と連携し、容器の移動管理に関する議論を深める。また、医療ガス部門の医療ガス製造部会とも医療用高圧ガス容器の放置・不明容器撲滅について検討していく。他には、広報委員会と連携し、高圧ガス容器に関する知識のない一般の方々への広報活動を企画する。

3-2. 物流WG

ローリ事故の低減を目的に、ヒヤリハット事例を中心として、納入先に対する注意喚起や協力依頼を行う資料（動画など）の作成と企画を立案する。また、例年実施しているCO₂排出量調査、プラント定修予定表のとりまとめ、ローリ乗務員不足対策等の議論を行う。

4. 容器RFタグ運営委員会

RFタグ装着本来の容器管理を徹底するという目的に立ち返る。技術WGでは、小型タグの導入とハンディターミナルの不具合防止検討の他、バルブ搭載型RFタグの現状確認を行う。普及推進

WGでは、書き込みを行わないといったRFタグの運用方法見直しも含めて利便性を追求する。今後、医療ガス容器への展開に向けて容器本数を改めて把握するとともに、放置容器撲滅WGとの連携も進めていく。また、JIMGA-EDIの活用やクラウドでのデータ管理など、新しい発想の実現性も検討していく。

5. EDI運営委員会

今年度でEDI運営委員会は解散する方向で検討する。尚、JIMGA-EDI事業については、容器RFタグとの連携活用を含め、容器RFタグ運営委員会にて評価検討することとする。

6. 技術審議委員会

各WGからの上程案について審議を行う。

7. 技術・保安部会

技術・保安部会管轄各WGの活動報告および活動計画について審議を行う。

7-1. 容器技術WG

- (1) 国内保安規則、例示基準およびKHK基準等への対応を行い、必要に応じて、意見提出、改正要請を行う。
- (2) 法令の改正、ISOやJIS規格改訂等があった場合に、必要に応じてJIMGA指針の見直しや制定を行う。
- (3) ISO/TC58国内委員会への参画とISO規格原案等の検討、また、2020年3月に米国ダラスで開催されるTC58/SC4国際会議に参加する。

7-2. 超低温貯槽WG

- (1) JIMGA自主基準として、CEと一緒に使用される空温式蒸発器と温水槽式蒸発器について、取扱注意事項をまとめた資料を作成

する。

- (2) 高圧ガス保安法の各種規則・同例示基準及びKHK基準等を検討し、基準に不合理があった場合、外国基準の引用も含め対応を検討する。また、「低温容器の膨張試験の廃止」に関しては、海外規格との比較、国内規則の車載用燃料LNG容器との不整合等について詳細をまとめ、経済産業省と協議していく。
- (3) ISO/TC220国内委員会への参画とTC220関連基準検討、また、6月にパリで開催されるTC220国際会議に参加する。
- (4) 各地域本部の要望に応じて、以下の内容についての講演を行う。
 - ・ CEの構造と安全な取扱い、日常巡回点検記録表への記載要領等
 - ・ 超低温液化ガス充填用ステンレス製フレキシブルホースに関する取扱い自主指針
 - ・ CE設置事業所・ローリ運行事業所関係基準
 - ・ CE附属品の取り扱い要領(改訂版)

7-3. 充填技術WG

新たな活動テーマとして「充填工場の災害対策指針」の検討及び指針作成を行う。その他、地域本部主催の保安セミナーの講師派遣等要請に対応し、地域本部との連携を図る。

7-4. 保安対策WG

- (1) CE単独荷おろし実施要件の内容確定に向けて、経済産業省高圧ガス保安室との協議を進め、JIMGA基準としての制定手続きを進める。
- (2) 高圧ガスハンドブック第3次改訂版発行以降の高圧ガス保安法及び関係法令の改正等を含む、内容の一部見直しを実施し、第3次改訂版第3刷として発行する。

7-5. 教育・研修WG

- (1) 上期にeラーニング「高圧ガスの安全基礎知識」および「高圧ガスの安全基礎知識(ダイジェスト版)」の改訂版をリリースする。
- (2) 今期は、「炭酸ガス(二酸化炭素)の安全な取扱い」について見直し作業を行う他、業界認知度向上につなげる目的で、高圧ガスについて知識のない一般人向けのeラーニングあるいは動画の制作検討も進める。

7-6. 安全統計WG

- (1) 会員各社に対し、高圧ガス事故、高圧ガス作業に関連する労災事故の情報提供を呼びかけ、必要に応じJIMGAウェブサイトに掲載する。また、従来通り、労働災害情報について、度数率、強度率、事故の傾向分析等を行う。
- (2) KHKの高圧ガス事故統計資料およびJIMGAの事故情報を元に、「腐食劣化による破裂」をテーマとした、放置容器および容器管理について掘り下げる。また、この分析結果は、安全ニュースとして発行する。
- (3) 過去の事故情報、ヒヤリハット事例等を活用し、各地域本部の保安セミナー等での発表を通じて、情報の共有化と安全活動に係る教育活動を支援する。今期は、安全ニュース No.13の傾向分析を中心に行う。

7-7. ヘリウム技術WG

- (1) 業界向けだけでなく消費者・使用者へも情報提供できるよう、ヘリウムの供給・動向・用途・信頼性・安全性・事件事例等について、幅広く情報収集を行う。
- (2) 水深40mを超える潜水業務における潜水用ガス(酸素+ヘリウム等の混合ガス)の使用状況について実態調査を行う。
- (3) 海外情報(ヘリウムソースや技術開発動向

等)の収集を行う。

7-8. 炭酸ガス技術WG

- (1) 「液化炭酸ガス取扱テキスト」および「高圧ガス保安法の要点(液化炭酸ガス)」の改訂を行う。
- (2) 第19回炭酸ガス保安講習会に向けた講習ツールの企画制作を進める。
- (3) 教育・研修WGと協力し、eラーニング「炭酸ガスの安全な取扱い」の改訂作業を進める。

7-9. 溶解アセチレン技術WG

- (1) 38年容器の周知をさらに推進させるための方法を検討する。
- (2) 昨年度にサブWGにて作成した「溶解アセチレンの製造に関する基準」の内容を確認し、技術審議委員会へ上程する。

7-10. 水素企画委員会・水素技術WG

- (1) 「水素ガス集結容器集合配管管理基準」について、最新の法規、知見に基づいて改訂作業を行う。また、JIS Z 7252・7253の改正に伴い、水素ガスのSDSを改訂する。
- (2) JIMGA水素スタンドプロジェクト解散後の、経済産業省やKHKからの水素ステーションに関する要請等に対応できる受け皿として「水素スタンドサブWG」を発足する。

7-11. 特殊ガス企画委員会・特殊ガス技術WG

- (1) 国連GHS文書改訂6版に基づきJIS Z 7252・7253の改正が予定されていることから、SDS改訂計画について検討する。
- (2) 何らかの変更情報があった際にJIMGA版SDSの改訂の是非を判断するレベル指標について検討する。また、SDS改訂作業の効率化および各社間のSDS書式の統一化に取り組む。

- (3) 国際部会と協力し、JIMGA-T-S/34/10「シランの安全な取扱指針」改訂に向けた内容見直しを行う。
- (4) 校正用ガスの㊟刻印が使用できないとされている成分に関して、濃度範囲条件を設ける等でJIMGA基準緩和ができるかどうか検討する。

8. 環境・安全部会

環境・安全部会管轄各WGの活動報告および活動計画について審議を行う。

8-1. 環境保全WG

- (1) 日本経済団体連合会が実施している低炭素社会実行計画フォローアップ調査のため、省エネフォローアップ小委員会にてJIMGA会員企業の2018年度エネルギー使用量を調査する。
- (2) 地球温暖化、省エネルギーの諸施策に関して、会員への周知対応を行う。特に、昨年度から始まったエネルギー基本計画の見直しについて注視する。また、FIT賦課金減免制度関連の情報収集と会員への周知を行う。
- (3) 環境関連の情報収集より、環境ニュースを作成する。

8-2. 化学品安全WG

- (1) 日本規格協会からの見直し要請に応じて、昨年度作成した「窒素JISの改訂案」に基づくJIS改訂作業を進める。
- (2) 今年度に改訂JIS (GHS 6版反映) が発行される予定であることから、上期にJIMGA-T-S/65/19「GHSに対応した産業ガスの分類・表示・SDSガイドブック」の修正を行い、下期に「一般ガス単体」14種および「混合ガス」20種のSDS並びにラベルの修正を行う予定である。

- (3) 昨年度に引続きリスクアセスメント情報の収集を行うとともに、内容の充実を図り、その実施方法について検討を進める。

9. 国際部会

国際部会管轄各WGの活動報告および活動計画、並びに国際会議への対応について審議を行う。

9-1. 国際統合化委員会 (IHC) 対応WG

- (1) 国際統合化プロジェクト JIMGA基準化を推進する。(新規8件、改訂16件)
- (2) 「モノシランの安全な取扱指針」、「酸素と不活性ガスの安全な放出」についてJIMGA基準を作成する。
- (3) AIGA、CGA、EIGA、IOMAとの協調関係の強化として、第45回IHCモンテリオール会議(8月20～21日)に出席、第46回IHC横浜会議(2月25～26日)を主催、IOMA-GC web会議(5月9日)に参加、第76回IOMAバンコク会議(11月3～6日)に出席する。

9-2. 規制改革WG

- (1) 規制改革要望の発掘・募集し、提案を促進する。
- (2) 次の規制改革要望案件のフォローアップを行う。
 - ① 医療用酸素容器の定期点検期間の緩和 & 在宅酸素用LOX装置の製造届出要件の緩和
 - ② 超低温容器の膨張測定試験の廃止
 - ③ CEの単独荷おろし
 - ④ 塩素と特定の可燃ガスの混載禁止緩和
 - ⑤ 大気用標準ガスの㊟マーク刻印の範囲拡大
- (3) 次の規制改革実現と規制改革後の運用把握を行う。
 - ① ファスト・トラック制度運用把握
 - ② 新認定事業所制度運用把握

会員の現状、今後の主要日程

1. 会員の現状

2019年6月12日現在

	医療ガス部門	産業ガス部門	合計
正会員*	721社	296社	1,017社
賛助会員	－	24社	24社
海外会員	－	5社	5社
合計	721社	325社	1,046社

※正会員社数は議決権数を表す。

2. 今後の主要日程

	開催年月日	開催場所
2019年度 第2回 部門理事会・評議員会合同会議	2019年11月27日(水) 14:00～	メルパルク大阪
2020年 賀詞交歓会	2020年1月14日(火) 16:30～	経団連会館
2020年度 第1回 部門理事会・評議員会合同会議	2020年5月26日(火) 13:00～	経団連会館
2020年度 定時総会	2020年6月10日(水) 15:30～	経団連会館



かすがい 犬は銚

JIMGA副会長 澁谷 信雄

我が家に「海人」(カイト、ボーダーコリー犬、雄)が来て3年半が過ぎた。

入社以来転勤を繰り返し、5年前にようやく自宅を持たた為、長年の念願であった犬を飼おうと、物色しだしたのが4年前。家内は結婚前に実家で狎(ちん)を飼っていた為、初心者ではないが、私はまったくの初心者である。飼いやすさや犬の性格、しつけの方法等インターネットで調べだした。

はやりの小型犬には見向きもせず、かといって大型犬は手に余るとの事で、中型犬を探した。殺処分犬が1匹でも減らせたらの思いで、最初はレスキュー犬(保健所から救い出され、各地の保護施設にいる捨て犬等保護犬)を探したが、譲渡条件が厳しく60歳以上は対象外との事(犬の寿命が15年程で、犬より早く亡くなる恐れのある人はダメだそうです)。

仕方なくペットショップや、インターネットで探し始めた。犬種は柴犬が第一候補であったが、ペットショップの店員が教えてくれたのが、抜け毛が激しく、室内飼育には向かないとの事。

ある日、インターネットでボーダーコリー専門サイトを見つけ、熟読していくとボーダーコリーは犬の中でも最も賢く、牧羊犬としては右に出るものはいないといわれる程の高評価であるとの事。

すっかり惚れ込んでしまい、探し始めたが、ペットショップでは全く見かけない。インターネットのブリーダー専門サイトで検索し、ようやく三重県名張市のブリーダーで子犬を見つけた。名張ならなんとか行ける範囲かなと、早速見学の予約をいれた。

現地では、違う親から生まれた3頭の子犬がいた。小柄な2頭は活発なフリスビー競技に向きそうなのと、おとなしくて臆病な性格



との事。残る1頭が少し大きくなりそうな落ち着いた性格の海人だった。

その場で購入を決定し、引取り可能日(子犬は生後2ヶ月にならないと販売してはダメとの事でした)を予約して帰宅。ケージ(柵)やリード、ブラッシング用ブラシ、犬のおモチャ、しつけ用ビデオ等、必要なものを準備した。

自宅到着後は、予防接種やトイレトレーニング、散歩、しつけ教室で瞬く間に1年が過ぎた。

海人が来てから、彼が我が家の中心となっている。抜け毛が激しいとか、旅行に行けない等のデメリットはあるものの、可愛くて仕方がない。すごく癒されるし、夫婦の会話の八割がたは海人に関連することである。

平日は、5時半から家内と一緒に海人に散

歩をさせ、帰宅後にブラッシングし、自分がシャワーを浴びて出勤の準備をする。これのおかげで夫婦共々、少し健康になった気がする。

また、夫婦間でプチ喧嘩があって気まずい雰囲気になったとしても、海人の話題で自然に仲直りが出来てしまう。

とにかく可愛くて「癒される」の一言である。

子供たちの独立で、夫婦二人の「老後」？生活に不安を抱えておられる方達にお勧めしたい。

是非犬を飼って下さい！

(しぶや・のぶお=高圧ガス工業株式会社代表取締役社長)





技術・国際ニュース



1. 技術・保安部会

容器技術WG

容器技術WGは、容器に関する国内法関連対応、ISO規格の改訂・新規規格化案件対応および容器再検査の新技术の採用に向けた動向調査、検討を中心に活動しています。

今年度は、ISO規格を参考にして制定したJIMGA指針「ガス名変更指針」、「安全な容器弁の取外し指針」の見直し作業を実施します。それぞれ2006年、2010年の制定後、見直しが行われていませんでしたが、今年度、該当ISO規格のシステムティック・レビューが行われるため、これを機に、その経過をみながら、また高圧ガス保安法(省令、運用解釈)との整合を取るよう見直しを行う予定です。

その他ISO関連の取り組み等は従来どおり着実に実施しています。



容器技術 WG 長
三宅 博之

超低温貯槽WG

2019年度前半は以下の内容について活動を行いました。

(1) 自主基準の作成

空温式蒸発器と温水式蒸発器に関する、ユーザーが周知すべき取扱注意事項に関する基準について原稿を作成しています。来年度に完成させ、周知していくことを目標に進めています。

(2) 規制改革

不要と考えられる超低温容器の膨張試験の廃止要望に関し、製作者サイドの関係者と今後の経済産業省との交渉方法について協議しています。

(3) ISO/TC220(超低温貯槽)への参画

ISO規格1件の改定作業に対応しました。また6月4~5日にパリで開催された国際会議に出席し、

多数のISO規格案について協議しました。今後も積極的に参加し、規格への国内意見の反映と、情報の収集に努めていきます。

(4) 教育活動

8月29日に開催された四国地域本部セミナーにて「CE設置事業所・ローリー運行事業所関係基準」と「CE附属品の取扱要領」に関する講演を行いました。



超低温貯槽 WG 長
細谷 公憲

充填技術WG

2018年度は、「圧縮ガス(酸素、窒素、アルゴン)充填用フレキシブルホースに関する取扱い自主指針」を取りまとめ、12月に制定されました。

2019年度は以下の三つのテーマに取り組みます。

(1) 「充填工場の災害対策指針」の検討および作成

2018年9月台風21号の襲来を受け、高圧ガス充填工場の災害対策の在り方について、改めて検討し指針として制定する事を目指します。

本テーマでは、既刊指針の「充填工場の地震対策指針」の見直しを含めて進めていきます。

(2) WG委員のスキルアップ研修

今年度の見学研修も、新しく知見を広める目的で実施を予定しています。

場所に関しては複数の候補先の中から訪問先の確認を実施し、今後決定します。

(3) 講習資料の作成

2018年度に作成した「圧縮ガス(酸素、窒素、アルゴン)充填用フレキシブルホースに関する取扱い自主指針」について、講習用資料を作成し、過去に作成した基準等を含め地



充填技術 WG 長
角山 義樹

域本部主催の保安セミナーの講師の要請があれば積極的に対応し、地域本部との連携を図っていきます。

保安対策WG

保安対策WGでは、高圧ガス保安に関わる法令対応や技術基準の検討等を中心に活動しています。

昨年度より取り組んできました「CEへのローリの単独荷おろし」は、昨年度作成したJIMGA自主基準「CE設置事業所への単独荷おろし実施要件」やCE設置事業所のリスクアセスメント等を作成し、経済産業省産業保安グループとの協議を継続して行っており、基準認定へ向けて活動しています。

また、昨年度から検討している充填所におけるリスクアセスメント実施事例集も作成完了し、技術審議委員会で承認を得て、2019年7月にウェブサイトへ掲載しました。皆様ご存じの通り、リスクアセスメントは産業事故の有効な防止策のひとつです。是非、会員各位の活動に役立てていただきたいと思います。さらに高圧ガスハンドブックの改訂も行いました。前回(2017年5月)改訂後の法改正を踏まえて、2年ぶりに見直し、「高圧ガスハンドブック第3次改訂版」3刷として2019年8月に発刊しました。併せてご活用いただきますようお願いいたします。



保安対策WG長
倉田 克哉

教育・研修WG

教育・研修WGは、eラーニングの内容見直しと改訂作業を中心に活動しています。

昨年度より改訂討議を重ねてきたeラーニング「高圧ガスの安全基礎知識」および「高圧ガスの安全基礎知識(ダイジェスト版)」については、①技術資料の見直し、②法改正情報の反映、③

理解度テストの設問見直しおよび追加が完了し、近々リリースを予定しています。

今年度は「炭酸ガス(二酸化炭素)の安全な取扱い」の改訂作業を進めています。炭酸ガス技術WGとの協力を得ながら、現在と内容・データ等に乖離がないように修正し、法改正に該当する箇所を改訂していきます。これについては来年度上期の改訂版リリースを予定しています。

なお、昨年改訂版をリリースした「水素の安全な取扱い」は、水素に関わる最新の技術情報を盛り込んだものですので、水素関連業務に従事されている方々に幅広くご活用いただけるよう、JIMGA地域本部と協力し、説明会も実施しています。



教育・研修WG長
館 良知

安全統計WG

(1) 事故情報の収集と活用

会員各社より高圧ガス事故、高圧ガス作業に関連する労災事故の情報収集を行い、必要に応じJIMGAウェブサイト(会員専用ページ:災害・事故情報)に掲載します。

(2) 労働災害統計

会員各社からの事故報告内容を分析し、会員各社へ再発防止に活用いただけるよう、年に一度報告書としてまとめ、配信しています。労働災害指標である度数率、強度率、および事故内容を災害発生場所、災害発生時の作業、災害の種類等で分類し分析を行いました。

会員239社より報告をいただき、2018年「実績労働災害統計調査報告」を6月にJIMGAウェブサイトに掲載。JIMGA度数率は0.63、強度率0.028となり、全国製造業平均、化学工業平均、EIGA平均(欧州産業ガスメジャー6社)のいずれをも下回っています。

(3) 高圧ガス関連事故(災害)の分類、解析

KHKの事故事例データベースの高圧ガス事故情報より、事故の原因と傾向を比較検討しています。今年度の分析テーマは、「腐食劣化による破裂」を主題とし、放置容器、容器管理について掘り下げることとします。

(4) 安全ニュースの発行

前項(3)の傾向分析を踏まえ2019年12月に「安全ニュース No.14」を発行する予定です。

(5) 2019年度の保安セミナーについて

「安全統計資料 ヒヤリハット・事故事例から学ぶ保安」のテーマで、「2018年労働災害統計調査報告」、「高圧ガス関係事故の分析(安全ニュース No.13)」を中心に、過去の事故情報、傾向分析を活用し、各地域本部の保安セミナーでの発表を通じて情報の共有化と安全に係る教育活動を支援します。

(6) ヒヤリハットの見直し

既発行のヒヤリハット集の見直しを検討します。



安全統計 WG 長
前田 和也

ヘリウム技術WG

ヘリウム技術WGでは、継続してヘリウムソース、海外情勢の収集・分析使用に関する技術開発動向等について情報収集を行い、ヘリウム全般についても、業界だけでなく消費者・使用者の方々へも視野を広げ、情報共有できるよう、ヘリウムの供給・動向・用途・信頼性・安全性・事故事例等々について、幅広く情報収集を行い共有化しています。

また、労働安全衛生法の高気圧作業安全衛生規則改正に伴い、潜水業務に伴う呼吸用ガスの実態についても調査を継続して行っております。

今後の活動として、上記の活動を継続していくとともに、GHS関連JIS規格改正にあたり、SDS(ヘリウム)の改訂検討や、WG委員の知見を広め

スキルアップを目指すために、ヘリウム関連施設への研修会、JIMGA地域本部セミナー(中国地域本部)の開催(11月)を予定しております。



ヘリウム技術 WG 長
平野 正博

炭酸ガス技術WG

炭酸ガス技術WGは5月23日の技術保安部会で昨年度の活動実績、今年度の活動計画を報告して了承されました。当WGは3年後の第19回炭酸ガス保安講習会に向けた対応を計画しています。

(1) テキスト改訂

高圧ガス保安法の要点、炭酸ガス取扱テキスト、CE設置事業所・ローリ運行事業所関係基準および原料炭酸ガス製造フロー概説

(2) 講習ツールの企画制作

(3) e-ラーニング「炭酸ガスの安全な取扱い」の改訂

また、他の技術WGの会議に委員が分担して出席し、情報共有し資料作成に役立っています。加えて、e-ラーニングは教育・研修WGとの連携作業をしていきます。

炭酸ガス技術WGはこれらの活動により自主保安をサポートし事故・災害防止に寄与するため活動していきます。



炭酸ガス技術 WG 長
山下 勉

溶解アセチレン技術WG

日本産業ガス協会から2003年3月20日に刊行された「溶解アセチレンの製造に関する基準」を全面的に見直すため、サブWGを昨年6月に設置しました。これまで5回の実務レベルの作業を実施し、第1回溶解アセチレン技術WGにて最終確認を行った後、2019年6月27日の技術審議委員会の承認を得て、7月2日にウェブサイトに掲載さ

れました。

また、溶解アセチレン容器の非アスベスト化を目指して、2006年より啓発活動を継続して実施しています。4年前より非アスベスト化の現状を把握するため、2年ごとにアセチレン容器所有者にアンケートを実施し、非アスベスト容器とアスベスト容器のそれぞれの所有本数を集計しています。今年度は調査対象年度にあたり、アンケート内容の見直しを行い、アセチレン容器所有者に配布する準備を行っています。容器所有者の認識を深め、アスベストを含有する容器がゼロになるよう推進しているところです。

なお、KHKより依頼を受けて、ISO/TC58国内審議委員会へ委員を継続して派遣しています。



溶解アセチレン技術 WG 長
杉岡 孝雄

水素技術WG

2019年度の活動テーマである「水素ガス集結容器集合配管管理基準」の改訂について、最新の法規・法令および知見に基づいて改訂作業を進めています。12月開催予定の第3回水素技術WGにて改訂案の最終確認を実施し、2020年6月の技術審議委員会に上程予定です。

もう一つのテーマである「水素SDS」の改訂については、JIS7252・7253の改訂に伴い見直しを計画しており、こちらは化学品安全WGにて策定予定のガイドラインに基づき改訂を行います。

また、今年度より経済産業省およびKHKからの水素ステーションに関する要請等に対応する部署として、水素技術WG内に「水素スタンドSWG」を設置しました。

その他の活動として、JIMGA東海地域本部にて12月に計画されている「東海・北陸セミナー」にて保安講習会を予定しています。

また、研修会は9月に「JAXA宇宙科学研究所 能代ロケット実験場」にて研修を計画しており、WG員の知識向上、情報共有を図っていきます。



水素技術 WG 長
御手洗 浩二

特殊ガス技術WG

2019年度は以下の取組みを進めています。

(1) 「シランの貯蔵と取扱い」改訂への協力

JIMGA-T-S/34/10「シランの安全な取扱指針」に関し、第2版に改定するための内容見直しに協力し、全18章の見直しおよび改訂が完了しました。

(2) JIS Z 7252、7253改正に伴うSDS改訂検討

国連GHS文書改訂6版に基づくJIS Z 7252、7253の改正に対応するため、SDSの改定をガイドラインに従って進める予定です。

(3) SDS管理・運用の改善

何らかの変更情報があった際にJIMGA版SDSを改訂するかどうかを判断できるレベル指標について検討しています。また、SDS改定作業の効率化および各社間の書式の統一化も検討中です。

(4) 校正用ガスの略式刻印(㊟刻印)のJIMGA基準緩和

校正用ガスの㊟刻印を使用しないとされている成分に関して、濃度範囲等の条件を設けることによる基準緩和の可否について検討しています。

(5) 研修会の開催

(株)堀場製作所びわ湖工場において研修会の開催を予定しています。

(6) その他活動

今年度も東京工業大学の特殊材料ガス安全管理のための講習会に委員を派遣し、講習を実施しました。



特殊ガス技術 WG 長
佐藤 祐自

2. 環境・安全部会

環境保全WG

経団連では、産業界の主体的な地球温暖化対策の取り組みとして、2020年度のCO₂削減目標を設定する「低炭素社会実行計画」を2013年から推進しています。産業ガス業界は、この活動に一般社団法人日本化学工業協会(日化協)を通して参加しています。その2018年度の活動実績を取りまとめ、日化協へ提出しました。引き続き、JIMGAにおいても地球温暖化対策への対応を進めていきます。

また、再生可能エネルギー賦課金減免制度および電力コスト負担に関し、情報収集を実施しました。

その他、環境関連の情報収集を進め、必要に応じ環境ニュース等により、会員の皆様へお知らせします。



環境保全WG長
甲斐 守

化学品安全WG

(1) SDS(安全データシート)の見直し

2015年に公表された改正GHS 6版を反映したJIS Z 7252「GHSに基づく化学品の分類方法」とJIS Z 7253「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」が本年5月に発行されました。

それを受けて、JIMGAウェブサイトに掲載されている「GHSに対応した産業ガスの分類・表示・SDSガイドブック JIMGA-T-S/65/19」の改正を、本年上期完成を目的に実施しています。

また下期には、「一般高圧ガス 単体14種および混合20種」の参考SDS並びにラベルの改正に取り組む予定です。

(2) リスクアセスメントの情報収集

昨年度に引き続きリスクアセスメントの情報

収集を行い、JIMGA会員様により有効な情報を開示できるよう検討を進めていきます。

(3) 産業ガス(窒素)のJIS改訂

昨年度「窒素JIS改定(案)」を作成しました。今後の実改訂作業については、日本規格協会からの見直し依頼を受けた時点で、同協会に確認しながら進めていこうと考えています。



化学品安全WG長
近藤 喜則

3. 国際部会

IHC対応WG

本年2月26日～27日に、第44回IHC(国際整合化委員会)がシンガポールのグランドコブソーンウォーターフロントホテルにて開催されました。会議には、CGA(アメリカ)4名、EIGA(ヨーロッパ)2名、AIGA(アジア)6名(うち4名オブザーバー参加)、JIMGA(日本)3名、酸素製造者協会(International Oxygen Manufacturer Association: IOMA)のオブザーバー(Air Products, Air Liquide & Linde)3名、総勢18名が参加しました。JIMGAからは2019年賀詞交歓会における会長挨拶、業界動向、RFタグの導入進捗、封キャップの紹介、また、水素ステーションの活動状況、輸送事故に関する傾向と分析、長期停滞容器の回収結果を紹介しました。国際整合化文書についてはJIMGA主導の改訂文書「ヒヤリハット(ニアミス)特殊材料ガス編」が活動を再開することが確認されました。次回第45回IHC会議は、8月20日～21日に、カナダモントリオールで開催されます。

また、5月9日には、IOMA-GC(国際委員会)がWeb会議で行われました。IHC活動進捗報告の他、IHCのミッションとその活動プロセスの変更について議論されました。次回のIOMAバンコク総会(11月2日～11月5日)GC会議でその進捗が報告されます。

JIMGA基準（国際整合化文書）JIMGA-T-S/34/19「モノシランの安全な取扱指針」が、発行されました。また、2019年度上期に、国際整合化文書（参考文書）として、3件の文書が発行されています。



IHC 対応 WG 長
久和野 敏明

規制改革WG

産業ガス部門では、JIMGA会員企業より、「塩素ガスと特定の可燃性ガスの混載規制」について緩和するよう提案されたのを受け、同じニーズがある会員メンバーによって、議論を開始しています。また、「CEへの単独荷おろし」については、経済産業省との議論を重ね、わかりやすいシナリ

オの作成を行っています。さらに、「超低温貯槽容器の膨張試験の廃止」については、超低温機器協会との共同歩調をとるよう調整しています。

医療ガス部門では、「在宅液化酸素の製造届出」、および「酸素充填容器の定期点検期間」の緩和について、経済産業省から適切なアドバイスをいただき、会員の状況を再度調査することによって、活動の方針を再考している状況です。

法改正関連では、ファスト・トラック制度、高度自主保安認定事業所制度を含め、これらの運用状況の確認を継続しています。



規制改革 WG 長
野澤 史和

地域本部の活動報告

北海道地域本部	61
東北地域本部	65
関東地域本部	70
東海地域本部	77
北陸地域本部	85
近畿地域本部	89
中国地域本部	94
四国地域本部	102
九州地域本部	108

※名簿について

敬称略・順不同で掲載

◎リーダー（部会長、グループ長等）

○サブリーダー（副部会長、副グループ長等）

2019年7月1日現在の名簿ですが、7月1日以降の交代が判明した場合や組織の新設が明らかな場合は、交代後、新設後の内容を記載しています。

北海道地域本部

1. 定時総会

日時：2019年5月9日(木) 17:00～17:50

会場：ニューオータニイン札幌「鶴西の間」

議 題

第1号議案 2018年度事業報告承認の件

第2号議案 2018年度収支決算報告承認の件

第3号議案 2019年度事業計画(案)承認の件

第4号議案 2019年度収支予算(案)承認の件

本部出席者

会長 今井 康夫

専務理事 加藤 尚嗣

常務理事 瀬戸 昭則

村上本部長挨拶

北海道地域本部会員の皆様におかれましては、日頃より当協会の活動にご協力とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年9月6日に発生しました北海道胆振東部地震に際し被災された方々および被災地の皆様のご心中、ご苦労をお察し申し上げ、心よりお見舞い申し上げます。また、災害時の会員各社の皆様の災害応急対策に対し、今年3月27日に北海道知事高橋はるみ様より当地域本部宛に感謝状が贈呈されましたことをご報告申し上げます。

今年4月1日より当地域本部事務局統合および事務所を開設いたしました。今年度から部門間の垣根なく地域における会員の声を受け止め、会員各社が安心して事業運営できる環境を創り出すべく事業活動を推進してまいります。

今年度、北海道地域本部の活動として産業ガス部門は、引き続き北海道溶材商業会との共催にて「保安セミナー」を開催し、一層の保安の強化・推進の啓発活動に努めます。医療ガス部門におい

ては、今年も医療ガス安全講習会を札幌市内で開催し、更なる保安の啓発活動に努めます。また、北海道総務部危機対策課主催の「北海道防災総合訓練」にも参加し、地域会員の皆様に協力をいただき、災害時に的確で迅速な対応ができるように訓練してまいります。

今後も引き続き、更なる活動を通してJIMGAを社会的に広く周知し、業界の社会的評価を高める必要があると考えております。

皆様の意見をお聞きしながら、業界また地域の発展のために取り組んでまいります。ご協力賜りますようお願い申し上げます。



村上本部長 総会議事進行



定時総会の模様

今井会長挨拶

日頃は当協会の活動に多大なご支援、ご協力を賜りまして改めて御礼を申し上げます。

始めに、胆振東部地震に際しての会員の皆さんの多大な貢献に対し、北海道知事から感謝状をいただきました。JIMGAの名を高らしめた皆さんのご努力に感謝いたします。

まずは、昨年産業ガス部門が取り組んだ4つの課題について申し上げます。第一の「保安の一層の強化、推進」では、教育活動に注力するとともに、ガス移動に係る事故の分析や、e-ラーニングコンテンツに「水素」を追加いたしました。第二の「RFタグの普及促進と容器保安の確保」については、RFタグの装着が頭打ちになる中で、昨年は頑張っていたが、5万5千本に装着、合計83万5千本となりました。所有者不明容器については、昨年10月の全国高圧ガス容器回収月間で569本を発見しましたが、今後は回収のための手法の開発が必要であると思います。第三の「環境・エネルギー問題への取り組み」については、FIT賦課金は今年よりKWhあたり0.05円上昇し2.95円に改定。燃料調整条項による電力料金の上昇も著しく、業界の電力コストの負担増は2011年3月に比べて240億円で、電力多消費産業11団体で国会議員などに窮状を訴えています。第四の「国際統合化、標準化」については、継続的に取り組んでおり今後とも積極的な対応が必要と考えています。

医療ガス部門の4つの課題では、第一の「安全推進・事故防止」については、教育活動に注力しました。96通知への関心も高く、草の根講習会には前年より580名増え2,082名が受講されました。第二の「法・規制への対応」では、昨年12月より封キャップの販売を開始し、3月末現在60万枚を受注しています。第三の「災害時協定の充実推進」については、自治体との災害対策訓練に積極的に参加しています。第四の「MGRの公的地位の向上」については、医療現場や行政で認められるよう、学会での周知活動、都道府県への説明などを実施。会員限定の制度を非会員にも拡充

することも検討しました。

次に、新年度の活動としては、部門間の垣根をなくしJIMGAの一体運営に努力をいたします。地域の声を政策に反映するなど、本部と地域本部との一体運営にも努力をしております。また、消費税の完全転嫁、電力料金対策もしっかり対応します。災害対策については、災害時にJIMGAが個社と行政との間で、何を期待されるか、何ができるかについて、これまで蓄積してきたJIMGAなりの災害対策を掘り下げ、災害対策の検討を行います。鳥インフルエンザについては、処置事例の検討、行政との意見交換を進めます。サイバー攻撃対策についても検討と周知を行います。放置容器撲滅活動の強化については、本部に「放置容器撲滅WG」を設置したところです。容器回収、周知徹底、管理強化の3チーム制で、KHKや全溶連などとも協力し、断固として放置容器を撲滅していきます。MGR制度については、非会員への適用を含め、会員の理解を得ながらより良いものにしていきたいと考えています。

いつも申し上げておりますが、産業ガス、医療ガスを供給する我々の業界は、重要な社会インフラです。産業ガスは、日本のサプライチェーンを構成する重要な製品であり、医療ガスは、ライフラインそのものです。これらについて社会的な認識が高まるよう、広報活動等を継続します。

最後に、本日ご出席の皆様のご健勝と、皆様の



今井会長挨拶

会社のご発展を祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

(3) 会員に対し情報伝達の迅速化および充実
・ 高圧ガス保安法と関連法規等の周知

2. 2019年度活動方針

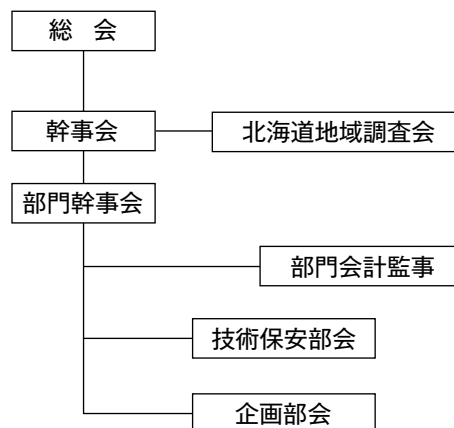
(1) JIMGA本部、行政関係、関係保安部署との連携

- ・ 保安対策の推進
- ・ 災害時対策の強化

(2) 各部会活動の推進

- ・ 保安セミナーを北海道溶材商業会と共催
- ・ 視察会開催による会員との交流
- ・ 長期停滞容器の回収と放置容器の撲滅
- ・ RFタグ普及の推進

3. 組織図



4. 役員・部会・WG名簿

役員



本部長

村上 幸夫
北海道エア・ウォーター(株)
代表取締役社長

幹事	高橋 健	大陽日酸北海道(株)	代表取締役社長
幹事	坂本 雅博	函館酸素(株)	代表取締役社長
幹事	竹田 純也	日本エア・リキード(株)	北海道支店支店長
幹事	吉澤 尚芳	東邦アセチレン(株)	札幌営業所所長
幹事	笹原 敦	エア・ウォーター(株)	総務部 事業所管理グループリーダー
会計監事	大道 和広	大陽日酸北海道(株)	顧問

北海道地域調査会

- ◎村上 幸夫 北海道エア・ウォーター(株) 代表取締役社長
- 高橋 健 大陽日酸北海道(株) 代表取締役社長
- 坂本 雅博 函館酸素(株) 代表取締役社長
- 竹田 純也 日本エア・リキード(株) 北海道支店支店長
- 吉澤 尚芳 東邦アセチレン(株) 札幌営業所所長
- 笹原 敦 エア・ウォーター(株) 総務部 事業所管理グループリーダー
- 吉岡 信男 北海道エア・ウォーター(株) 医療事業部取締役医療事業部長

技術保安部会

- ◎横山 則美 エア・ウォーター(株) 総務部 事業所管理グループ(札幌) 技術グループリーダー
- 清水 和美 大陽日酸北海道(株) 製造・技術部 部長
- 中山 稔 函館酸素(株) 製造部 部長
- 重塚 毅 日本エア・リキード(株) 北海道恵庭工場長
- 有田 健二 東邦北海道(株) 製造課 課長
- 三浦 克仁 高圧ガス工業(株) 札幌営業所 所長

山本 和彦 北海道アセチレン(株) 取締役工場長
 深井 義昭 日本液炭(株) 北海道支店長
 土田 恭裕 北海道エア・ウォーター(株) 保安技術部技術グループリーダー
 石本 範章 共同炭酸(株) 工場長
 三浦 岳 苫小牧共同酸素(株) 工場長

企画部会

野村 和伯 エア・ウォーター(株) 産業カンパニー産業関連事業部産業ガス部
 エアガスグループ(札幌) 課長
 清水 和美 大陽日酸北海道(株) 製造・技術部 部長
 中山 稔 函館酸素(株) 製造部 部長
 武田 公樹 エア・リキード工業ガス(株) 東日本オペレーションセンターマネージャー
 有田 健二 東邦北海道(株) 製造課 課長
 志田 勝広 北海道エア・ウォーター(株) エンジニアリング事業推進 グループリーダー
 橋本 和夫 高圧ガス工業(株) 札幌営業所 ガス営業課 課長
 山本 和彦 北海道アセチレン(株) 取締役工場長
 深井 義昭 日本液炭(株) 北海道支店 支店長
 澤谷 敬司 エア・ウォーター炭酸(株) 札幌支店 支店長
 石本 範章 共同炭酸(株) 工場長
 三浦 岳 苫小牧共同酸素(株) 工場長

5. 活動報告 (2019年2月～2019年7月)

日付	行事名称	場所	行事概要
6/13	第1回高圧ガス輸送保安確保のための共同防災訓練に係る全体会議	釧路商工会議所	訓練内容・参加者の人数及び使用機材等・訓練会場レイアウト・訓練に係る準備とスケジュール等
6/19	北海道地域本部 技術保安部会	北海道地域本部 事務所	①今秋開催する保安セミナーのテーマ②保安セミナー日程③その他連絡事項
7/25	第2回高圧ガス輸送保安確保のための共同防災訓練に係る全体会議	釧路商工会議所	第1回会議の確認と訓練に必要な準備とスケジュール最終確認

執筆者：北海道地域本部 事務局長 庄子 徳一



東北地域本部

1. 定時総会

日時：2019年5月23日16:00～17:00

会場：郡山ビューホテル（福島県）

議 題

第1号議案 2018年度事業報告および収支決算
の承認を求める件

第2号議案 2019年度事業計画および収支予算
(案)の承認を求める件

第3号議案 役員の一部選退任の承認を求める
件

来 賓

福島県危機管理部消防保安課

課長 飯沼 秀敏 殿

本部出席者

副会長 川本 健一

専務理事 加藤 尚嗣

常務理事 瀬戸 昭則

日向野本部長挨拶（要旨）

医療ガス部門の活動では、相変わらず在宅酸素療法において死亡事故が発生しており、継続して注意喚起の活動を行っていきます。また、一昨年に発出された96通知へ対応していただくために「医療ガス設備点検整備記録帳作成指針」も作成しましたので、ご活用願います。昨年12月より封キャップの販売を開始したので併せて是非ご活用の検討をお願いします。

産業ガス部門の活動では、保安知識の向上と啓発のために、引き続き高圧ガス保安セミナーの継続開催を行います。昨年の高圧ガスの事故災害は再び増加傾向となり、一般高圧ガス製造事業所で

の事故も同じく増加しております。しかし、東北管内では容器の紛失・盗難を除く事故災害は減少となりました。ここ数年続きました容器破裂等の事故以外に水素スタンドでの漏洩事故も発生しており、情報提供を継続していきます。



日向野地域本部長挨拶

川本副会長挨拶（要旨）

新年度のJIMGAの課題としては、産業ガス部門と医療ガス部門ならびに本部と地域本部の一体運営が2本柱です。個別の課題としては各都道府県と締結している災害時供給協定に関して、効果的な訓練を実施するための運用マニュアルの策定などの見直しを進めます。また、鳥インフルエンザおよび豚コレラについては処置事例を比較・検討し、より効果のある対策を行政へ働きかけを進めます。放置容器撲滅活動の強化に関しては、本部にて「放置容器撲滅WG」を発足させ全国の年間放置容器回収目標を50本以下としKHK・中央容器管理委員会等の外部団体と連携を深め、これまでと違った実効性のある対策を行っていきたいと思います。

消費税の完全転嫁、電力料金上昇、法規制への対応、広報活動による業界の社会的認知度向上にも取り組みます。

産業ガスの世界は日本のサプライチェーンを構成する重要な役割を担っており、医療ガスはライフラインそのものです。このような社会的使命は今後とも高まっていくので、マスコミ等にも充分認識していただき、取り上げていただく中でさらに当業界の地位向上と仕事自身が評価されていくことを目指します。



川本副会長挨拶

飯沼福島県危機管理部消防保安課課長挨拶(要旨)

福島県は東日本大震災および原子力災害により失われた浜通り地域等の産業回復のため福島イノベーション構想により新しい産業基盤の構築を目指しており、その一環として昨年度は県内初の水素ステーションが開設される等、新しい形での高圧ガスの使用も進んでおり高圧ガスは復興に欠かせないものになっています。

一方、高圧ガスの事故は平成30年度も、依然高止まりとなっています。その内約7割は製造事業所で発生していますが、次に多いのは消費中の事故で、原因としては、点検不良・連結管理不良・誤操作等が多いことからガス消費者にもなお一層、容器の適切な管理や操作が求められます。

消費者に対する容器の適正管理の啓発や会員

の積極的な自主保安活動の推進に感謝するとともに、関係保安団体の皆様と県民生活や産業に必要な不可欠である高圧ガスの保安の確保に積極的に取り組んでいきますのでご協力をお願いします。



飯沼課長挨拶



加藤専務理事懇親会挨拶

2. 2019年度活動方針

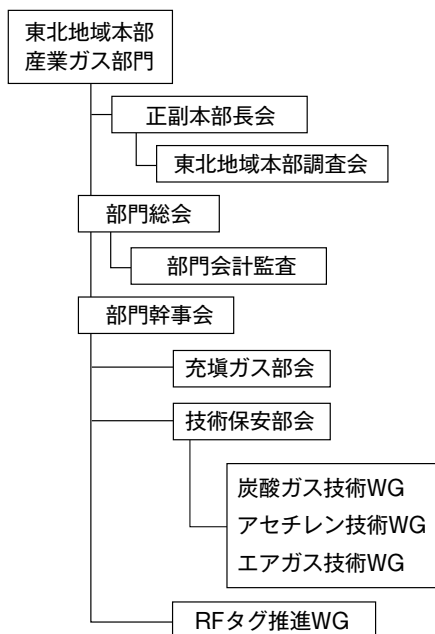
1) 保安対策の推進

- ・高圧ガス保安法及び関連法規の周知とその遵守
- ・協会自主基準、指針等の普及促進
- ・長期停滞容器の回収と放置容器の撲滅

2) 各部会活動の推進

3) 関係官庁及び関係保安団体との連携強化

3. 組織図



4. 役員・部会・WG名簿

役員



本部長

日向野正行
大陽日酸(株)
執行役員 東北支社長



副本部長

飯塚 義浩
東邦アセチレン(株)
上席執行役員 営業本部長



副本部長

河合 昌人
東北エア・ウォーター(株)
代表取締役社長



副本部長

本間 隆生
山形酸素(株)
代表取締役社長

幹事	大塚 清高	日本エア・リキード(株)	東北支店 支店長
幹事	加藤 尊康	高圧ガス工業(株)	仙台工場 理事 東北地区長 兼 工場長
幹事	松川 憲司	岩谷産業(株)	関東支社 仙台支店長
幹事	柿崎 卓也	第一開明(株)	代表取締役社長
幹事	相場 栄利	(株)相場商店	代表取締役社長
会計監事	熊谷 孝嘉	岩手工業(株)	代表取締役社長
会計監事	水口 宏之	日本液炭(株)	東北支社長

東北地域本部調査会

- ◎日向野正行 大陽日酸(株) 執行役員 東北支社長
- 本間 隆生 山形酸素(株) 代表取締役社長

飯塚 義浩 東邦アセチレン(株) 上席執行役員 営業本部長
 河合 昌人 東北エア・ウォーター(株) 代表取締役社長
 葛西 信二 (株)東酸 代表取締役社長
 相場 栄利 (株)相場商店 代表取締役社長
 笠井 健 北良(株) 代表取締役社長
 柿崎 卓也 第一開明(株) 代表取締役社長
 窪田 英一 (有)クボタ商会 代表取締役社長
 大塚 清高 日本エア・リキード(株) 東北支店 支店長
 渡辺 明宏 (株)郡山酸素商会 専務取締役

RFタグ推進WG

◎日向野正行 大陽日酸(株) 執行役員 東北支社長
 ◎本間 隆生 山形酸素(株) 代表取締役社長
 ◎飯塚 義浩 東邦アセチレン(株) 上席執行役員 営業本部長
 ◎河合 昌人 東北エア・ウォーター(株) 代表取締役社長

充填ガス部会

◎葛西 信二 (株)東酸 代表取締役社長
 工藤 良一 (株)工藤酸素店 代表取締役社長
 相場 栄利 (株)相場商店 代表取締役社長
 遠山 進 太平熔材(株) 代表取締役社長
 柿崎 卓也 第一開明(株) 代表取締役社長
 笠井 健 北良(株) 代表取締役社長
 本間 隆生 山形酸素(株) 代表取締役社長
 池田 真 (株)福島共同ガスセンター 常務取締役工場長
 河合 昌人 東北エア・ウォーター(株) 代表取締役社長
 伊藤 武彦 カガク興商(株) 代表取締役社長
 渡部 隆文 荘内ガス(株) 代表取締役社長
 小山 博幸 仙台日酸(株) 常務取締役

技術保安部会

◎荒木 正器 大陽日酸(株) 東北支社 技術部長
 玉井 義明 太平熔材(株) 保安管理部長
 佐々木武敏 北日本アセチレン(株) 工場長
 村上 晃也 岩手工業(株) 専務取締役
 藤田 敦 (株)東酸 製造課長
 齋藤 善秀 山形酸素(株) 本部長 兼 施工管理部部長
 進藤 昌一 荘内ガス(株) 北港充填工場長
 大保 俊明 日本液炭(株) 東北支社 技術サービス課長
 小山 博幸 仙台日酸(株) 常務取締役
 安齋 誠治 東邦アセチレン(株) 生産・技術本部技術部 課長
 村木 利雅 仙台アセチレン(株) 取締役工場長
 佐藤 哲 カガク興商(株) 配送センター 高圧ガス保安統括
 池田 真 (株)福島共同ガスセンター 常務取締役工場長
 吉村 雄介 東北エア・ウォーター(株) 保安技術指導担当

炭酸ガス技術WG

- ◎永沢 良 昭和電工ガスプロダクツ(株) 東北支店 副主事
 柿本 明広 岩谷産業(株) 環境保安部 保安担当(東北駐在) 部長
 大保 俊明 日本液炭(株) 東北支社 技術サービス課長
 名取 大輔 高圧ガス工業(株) 仙台工場 課長
 馬場 剛 エア・ウォーター炭酸(株) 技術部 生産・技術グループ課長

5. 活動報告 (2019年2月～2019年7月)

日付	行事名称	場所	行事概要
2/22	高圧ガス保安セミナー	仙台ガーデンパレス	・超低温液化ガス容器 (LGC) 講習会 構造と取扱い上の注意点について ・安全統計資料 ヒヤリハット・事件事例から学ぶ保安 受講者数 34名
3/20	炭酸ガス技術WG会議	事務局会議室	・第18回炭酸ガス保安講習会の報告 ・炭酸ガス保安講習会アンケート全国集計結果の報告 ・技術研修会について
5/9	合同幹事会	メトロポリタン仙台	2019年度合同定時総会議案(案) 審議
5/23	合同定時総会	郡山ビューホテル	2019年度合同定時総会議案審議
6/13	炭酸ガス技術WG会議	事務局会議室	・令和元年度活動計画について ・技術研修会合同開催について
6/26	技術保安部会会議	事務局会議室	・高圧ガス保安セミナー結果報告 ・令和元年度活動計画について ・技術研修会について
7/12	KHK技術交流会	仙台ガーデンパレス	KHK協賛会長表彰 2個人/1法人受賞(保安功労者/優良販売業者)

執筆者：東北地域本部 事務局長 栗橋 健治



関東地域本部

1. 定時総会

日時：2019年5月14日（火）15:30～16:00

会場：東海大学校友会館

議 題

- 第1号議案 2018年度事業報告の承認を求め
る件
- 第2号議案 2018年度収支報告の承認を求め
る件
- 第3号議案 2019年度事業計画の承認を求め
る件
- 第4号議案 2019年度収支予算の承認を求め
る件

本部出席者（合同懇親会）

会長 今井 康夫

柳田本部長挨拶（要旨）

米中の貿易摩擦や10月の消費税引き上げなど経済情勢の先行きが不透明な中で、新時代を迎えました。

JIMGAでは保安講習会や保安セミナーを開催していますが、出席者の数は減少傾向です。講習内容がマンネリ化しているという反省もあり、皆様と共に知恵を絞って少しでも沢山の方に参加いただけるようにしていきたいと思っています。

幸いにも、最近は大きな高圧ガスの事故は起こっていませんが、漏洩事故や容器の紛失が後を絶ちません。来年は、この地区で東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。やはり容器の保安ということに関しては、皆様と一緒に徹底的に取り組まなければいけないと思います。放置容器、不明容器がゼロになるように皆様

と力を合わせて進めていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



柳田本部長挨拶（総会）



関東地域本部総会風景



今井会長挨拶（懇親会）



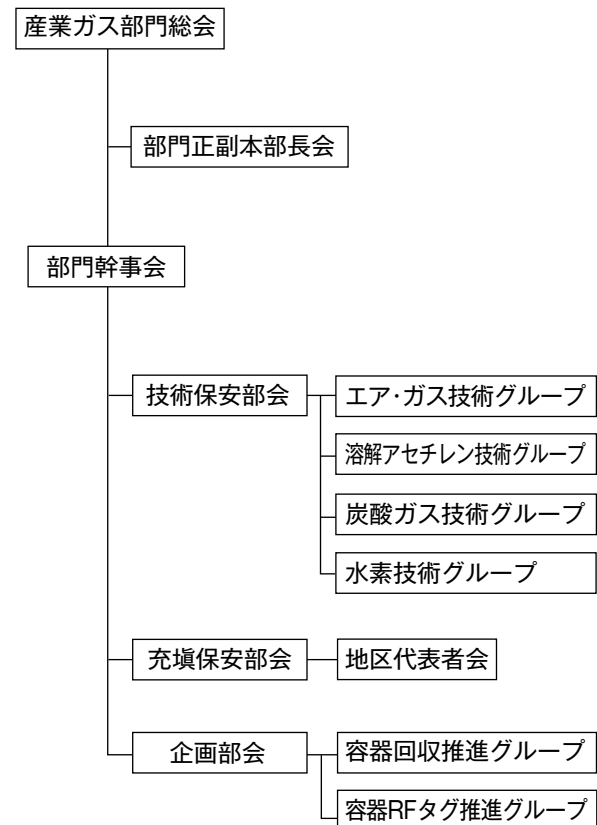
今井副本部長（中締め）

2. 2019年度活動方針

- ①地域における環境・安全・保安・技術等に関して、JIMGA本部と連携し、関東地域本部産業ガス部門構成員及び消費者に対する周知徹底と教育・広報・情報の収集等地域に則した活動を行う。
- ②自主保安の一層の充実を図る必要があることからセミナー、講習会を開催し、本部一体となって事故発生防止に努める。
- ③所属会員相互の向上発展に資するため、会員間の意思疎通に努めるとともに、各グループ間の連携を強化し、活動の充実を図る。
- ④容器RFタグの導入推進をJIMGA本部WGと協力し行う。

- ⑤企画部会容器回収推進グループ、地区毎の関連諸団体とも協同して、放置容器・不明容器・長期停滞容器の回収を促進する。また、「容器管理指針」の活用と周知活動を支援する。

3. 組織図



4. 役員・部会・WG名簿

役員



本部長
柳田 裕久
大陽日酸(株)
常務執行役員 関東支社長



副本部長
坪井 亮
小池酸素工業(株)
執行役員 東京支店長
兼 東日本グループ長



副本部長
今井 智仁
東海溶材(株)
ガス管理部 部長



副本部長
是永 敏弘
日本液炭(株)
上席執行役員 関東支社長

- | | | |
|------|-------|-----------------------------------|
| 幹事 | 一色 渉 | 岩谷産業(株) 首都圏総合支社長 執行役員 |
| 幹事 | 澤井 淳巳 | 高圧ガス工業(株) ガス事業本部 関東地区長 |
| 幹事 | 石岡 信也 | 昭和電工ガスプロダクツ(株) 経営企画部 主事 |
| 幹事 | 松村伸一郎 | 岩谷瓦斯(株) 理事 ガス事業部 関東事業所長 |
| 幹事 | 遠藤 芳朗 | (株)鈴木商館 取締役 営業本部本部長 |
| 代表監事 | 荒居 貴英 | エア・ウォーター・ハイドロ(株) 営業部長 兼 東京営業所長 |
| 監事 | 中川 学 | 日本エア・リキード(株) 産業ガス事業本部 東日本統括本部 本部長 |

技術保安部会

- 部会長** 坪井 亮 小池酸素工業(株) 執行役員 東京支店長 兼 東日本グループ長
副部会長 渡部 秀春 小池酸素工業(株) 城北支店支店長

エア・ガス技術G

- ◎國分 聡 岩谷産業(株) 環境保安部 保安担当(首都圏駐在)
- 膳瀬 雄司 日本エア・リキード(株) 東日本エンジニアリング部 部長
- 山崎 宗紀 大陽日酸関東(株) ガスビジネス統括本部 水戸製造所 所長
- 大西 孝好 関東エア・ウォーター(株) 管理部長
- 長谷川正泰 小池酸素工業(株) ガス部 技術開発グループ 部長代理
- 石坂 英一 カンサン(株) 高崎事業所 エアガス・リニューアル工場長
- 今村 清孝 昭和電工ガスプロダクツ(株) 事業本部 南関東支店 リーダー
- 生田目修志 東京ガスケミカル(株) エンジニアリングサービス部 部長
- 坂本 一仁 大陽日酸(株) 関東支社 技術部長

エア・ガス技術G(生産会社)

- 中込 正樹 エア・ケミカルズ(株) 常務取締役プラント長
- 石田 吉宏 川崎オキシトン(株) 代表取締役社長
- 梶山 直彰 (株)JFEサンソセンター 取締役工場長
- 中島 太司 新相模酸素(株) 代表取締役社長
- 逸見 正 新洋酸素(株) 代表取締役社長
- 新井 一成 (株)千葉サンソセンター 代表取締役社長
- 谷澤 博幸 (株)ティーエムエアー 代表取締役社長

平田 有 東京液化酸素(株) 代表取締役社長
岡崎 志朗 東京酸素窒素(株) 代表取締役社長
野口 行敏 長野液酸工業(株) 代表取締役社長
蓮本 壽治 (株)浜松エア・サプライ 取締役社長

溶解アセチレン技術G

◎西川 隆浩 高圧ガス工業(株) 神奈川工場長
○山邊 直樹 小池酸素工業(株) 千葉工場長
村石 秀人 エア・リキード工業ガス(株) 東日本オペレーションセンター長
橋本 孝二 (株)鈴木商館 技術管理部 安全環境課
松下 勝美 関東アセチレン工業(株) 常務取締役
石田 恒美 川口総合ガスセンター(株) 代表取締役社長
吉田 智徳 相模アセチレン(株) 工場長
土方 和憲 岩谷産業(株) 環境保安部 保安担当 課長(関東駐在)
大岡 寛典 大陽日酸(株) 北関東支社 技術部長
橋本 貴由 田邊工業(株) 産業ガス部長
今井 克彦 東海産業(株) 環境保安室 室長
田中 祐次 東京高圧山崎(株) 上席執行役員 技術・製造・保安本部長
川人 政男 東日本高圧(株) 千葉工場 工場長
手塚 悦男 栃木共同アセチレン(株) 代表取締役社長

水素技術グループ

◎板谷 誠 エア・ウォーター・ハイドロ(株) 技術部長代理
○今村 清孝 昭和電工ガスプロダクツ(株) 事業本部 南関東支店 リーダー
國分 聡 岩谷産業(株) 環境保安部 保安担当(首都圏駐在)
竹下 賢 関東エア・ウォーター(株) 産業事業部 物流グループリーダー
廣澤 徳幸 岩谷瓦斯(株) 千葉工場 工場長
大山 裕之 (株)鈴木商館 営業統括室 生産部 部長
坂本 一仁 大陽日酸(株) 関東支社 技術部長
石川 貴士 新潟水素(株) 工場長
澤田 庸介 丸由工材(株) 代表取締役社長
清水 正樹 (株)渡商会 営業部営業グループ グループリーダー

炭酸ガス技術グループ

◎大川 晃史 エア・ウォーター炭酸(株) 営業部 課長
○佐藤久仁夫 昭和電工ガスプロダクツ(株) 南関東支店 リーダー
庄司 昭史 高圧ガス工業(株) 東京事業所 ガス事業本部 次長
柳澤 十 上毛天然瓦斯工業(株) 技術部 技術サービス担当課長代理
河原 大宙 岩谷産業(株) 環境保安部 保安担当 担当部長(関東駐在)
佐藤 高幸 日本液炭(株) 関東支社 技術サービス課長
原 啓一郎 東京ガスケミカル(株) エンジニアリング・サービス部

充填保安部会

◎今井 智仁 東海溶材(株) ガス管理部 部長
○遠藤 芳朗 (株)鈴木商館 取締役 営業本部 本部長

- 柳川 隆則 (株) 宝山産業 代表取締役社長
- 市村 博 市村酸素(株) 代表取締役社長
- 佐波 充 相模アセチレン(株) 代表取締役
- 松谷 厚雄 関東酸素工業(株) 代表取締役
- 鴨川 俊次 東邦酸素工業(株) 取締役社長
- 田谷 豊生 小野里酸素(株) 代表取締役社長
- 望月 悠平 富士酸素工業(株) 代表取締役
- 徳永 哲一 城南共同酸素(株) 常務取締役
- 宮原 英嘉 宮原酸素(株) 業務部長
- 丹波 毅一 東京高圧山崎(株) 上席執行役員
- 梅津 明仁 北関東東洋(株) 取締役 製造部長
- 澤井 淳巳 東洋高圧ガス(株) 部長
- 田村 行正 (株)市川総合ガスセンター 取締役工場長
- 馬場 徹 北関東日酸(株) 常務取締役
- 阪田 亮 千葉エヌディーガスセンター(株) 常務取締役工場長
- 大塚 弘次 武蔵野ガスセンター(株) 代表取締役社長
- 菊池 公彦 東横化学(株) 関東支社 相模原事業所 所長
- 堀 将之 静岡酸素(株) 製造副部長
- 石田 恒美 川口総合ガスセンター(株) 代表取締役社長
- 森田 英興 大陽日酸東関東(株) 日立営業所 所長
- 本島 章夫 東海産業(株) 代表取締役社長
- 相川 浩二 日東物産(株) 部長
- 引地 淳悟 (株)TOKAI 高圧栃木支店 支店長
- 鈴木 実 カンサン(株) 代表取締役社長
- 田中 宏明 城東日酸(株) 取締役工場長
- 酒井 隆光 東京酸素(株) 専務取締役
- 吉田 昌平 ヨシダ高圧(株) 代表取締役社長
- 田邊 英 田邊工業(株) 代表取締役社長
- 島田 隆昭 (株)シマキュウ 代表取締役社長
- 伊藤 謙吉 埼京日酸(株) 取締役工場長
- 西田 猛志 関東エア・ウォーター(株) 取締役産業事業部長
- 橘 隆之 (株)カネコ商会 代表取締役社長
- 羽多野雄一 岡谷酸素(株) 常務取締役 営業本部長
- 黒木 幹也 小松川酸素(株) 代表取締役社長
- 杉本 優 伊藤忠工業ガス(株) 神奈川支店長
- 瓦井 浩之 光酸素(株) 代表取締役社長
- 茂垣 行雄 (株)星医療酸器 専務取締役営業本部長
- 大和 伸光 大陽日酸(株) 八王子ガスセンター所長
- 前島 聡 フジオックス(株) 医療ガス スタッフ
- 河野 昌幸 (株)サイサン 産業ガス部 部長

地区代表者会

- ◎今井 智仁 東海溶材(株) ガス管理部 部長
- 徳永 哲一 城南共同酸素(株) 常務取締役
- 馬場 徹 北関東日酸(株) 常務取締役

- 柳川 隆則 (株)宝山産業 代表取締役社長
- 佐波 充 相模アセチレン(株) 代表取締役
- 田中 宏明 城東日酸(株) 取締役工場長
- 市村 博 市村酸素(株) 代表取締役
- 遠藤 芳朗 (株)鈴木商館 取締役 営業本部 副本部長
- 澤井 淳巳 東洋高压ガス(株) 部長
- 前島 聡 フジオックス(株) 医療ガス スタッフ
- 葛上 真一 カンサン(株) 高崎事業所 取締役インダストリー営業部長
- 相川 浩二 日東物産(株) 部長
- 羽多野雄一 岡谷酸素(株) 常務取締役 営業本部長
- 橋 隆之 (株)カネコ商会 代表取締役社長
- 黒木 幹也 小松川酸素(株) 代表取締役社長
- 鴨川 俊次 東邦酸素工業(株) 取締役社長
- 望月 悠平 富士酸素工業(株) 代表取締役
- 宮原 英嘉 宮原酸素(株) 業務部長

企画部会

- ◎是永 敏弘 日本液炭(株) 上席執行役員 関東支社長
- 宮崎 秀幸 日本液炭(株) 関東支社 営業部長

容器回収推進G

- 葛上 真一 カンサン(株) 高崎事業所 取締役インダストリー営業部長
- 清水 正樹 (株)渡商会 営業部 営業グループ グループリーダー
- 澤井 淳巳 東洋高压ガス(株) 部長
- 渡部 秀春 小池酸素工業(株) 城北支店長
- 大山 裕之 (株)鈴木商館 生産部 部長
- 川村 一史 日本液炭(株) 関東支社 業務部 業務・物流課長
- 中井 康夫 高压ガス工業(株) ガス事業本部 関東地区長代理
- 上原 武 上毛天然瓦斯工業(株) 群馬ガスセンター 製造課長
- 柳川 隆則 (株)宝山産業 代表取締役社長
- 大西 孝好 関東エア・ウォーター(株) 管理部長
- 中川 学 日本エア・リキード(株) 産業ガス事業本部 東日本統括本部 本部長
- 泉 靖則 大陽日酸(株) 関東支社 ガス営業部長

容器RFタグ推進G

- ◎中井 康夫 高压ガス工業(株) ガス事業本部 関東地区長代理
- 大西 孝好 関東エア・ウォーター(株) 管理部長
- 國分 聡 岩谷産業(株) 環境保安部 保安担当(首都圏駐在)
- 田中 宏明 城東日酸(株) 取締役工場長
- 渡部 智之 東京ガスケミカル(株) 産業ガス企画部需給グループマネージャー
- 長谷川正泰 小池酸素工業(株) ガス部 技術開発グループ 部長代理
- 佐藤 高幸 日本液炭(株) 関東支社 技術サービス課長
- 徳永 哲一 城南共同酸素(株) 常務取締役
- 石田 恒美 川口総合ガスセンター(株) 代表取締役社長
- 泉 靖則 大陽日酸(株) 関東支社 ガス営業部長

5. 活動報告（2019年2月～2019年7月）

日付	行事名称	場所	行事概要
2/19	初級保安講習会	エッサム 神田ホール2号館	「高圧ガスの性質と保安について」 「容器RFタグについて」
4/16	産業ガス部門 幹事会	芝パークホテル	報告事項、定時総会議案書の確認
7/22	充填保安部会地区代表者会 企画部会容器回収推進 グループ 合同例会	焼津 グランドホテル	放置容器・不明容器の撲滅について
7/22	充填保安部会 総会	焼津 グランドホテル	報告事項、議案書の承認

執筆者：関東地域本部 事務局長 蛭川 剛二



東海地域本部

1. 定時総会

日時：2019年5月14日(火) 16:00～17:20

会場：ホテルキャッスルプラザ

議題：

- 第1号議案 平成30年度事業報告の承認を求め
る件
- 第2号議案 平成30年度収支決算の承認を求め
る件
- 第3号議案 令和元年度事業計画の承認を求め
る件
- 第4号議案 令和元年度予算の承認を求め
る件
- 報告事項 令和元年度東海地域本部役員選任
の件

本部出席者：

- 副会長 上羽 尚登
- 専務理事 加藤 尚嗣
- 常務理事 瀬戸 昭則

橋本本部長挨拶（要旨）

今春の中部地区の景況感は、中国などの新興国経済の減速等により昨年秋に比べて悪化しています。また米中貿易摩擦や、政情不安に揺れる欧州など、海外経済の混迷も景況感の下押しリスクとして存在します。物価・人件費の上昇、特に人手不足は深刻化しており、早急な対策が望まれます。

我々高圧ガス業界の経済状況におきましては、製造業の活動が総じて上向いていると感じられるようになりましたが、電力料金問題等に代表される課題が、依然として山積しています。

高圧ガス事故関連に目を向けますと、放置容器の破裂事故が続発し、事故件数は高止まりの傾向です。事故原因を分析すると人的問題による事故

がほとんどです。企業による自主保安の啓発とともに、業界団体による保安強化等が重要で、私どもに課せられた責務の重さを強く認識しております。

こうした中、JIMGA本部では産業ガス・医療ガス両部門共通の優先課題として、①コンプライアンスの遵守、②保安・安全の推進、事故撲滅に取り組んでいます。

東海地域本部では、本部の課題をブレイクダウンし、本年度も各部会、支部会ならびに委員会活動を通じて継続的に課題に取り組み、事故撲滅に努めていく所存です。



橋本本部長挨拶



定時総会の模様

来賓ご挨拶（要旨）

**愛知県 保険医療局 生活衛生部長兼医薬安全課長
榊原 徹 殿**

平成の30年余りを振り返りますと、いくつかの大きな災害が脳裏に浮かびます。特に、阪神淡路大震災や東日本大震災では、未曾有の被害が発生し、熊本地震や北海道胆振東部地震で尊い命が失われたことは記憶に新しいところです。この東海地域でも、今後、南海トラフ地震が発生することが危惧されており、愛知県でも災害時の医療体制確保を始めとする大規模地震対策の強化は喫緊の課題となっています。

例年、貴協会に御参加いただき実施しています県の総合防災訓練ですが、今年度は「防災の日」の9月1日（日）に豊橋市での開催を予定していま

す。今年度も引き続き、御参加、御協力をお願い申し上げます。

**愛知県 防災安全局 防災部 消防保安課
産業保安室長 岸田 卓己 殿**

平成30年度の本県における高圧ガスによる事故は、平成29年度に比べ減少しておりますが、依然高止まりした状態で推移しております。高圧ガスによる事故を防止するためには、法令による規制のみならず、事業所の皆様による自主保安活動の推進が大変重要です。

県では、貴協会との連携を密にし、引き続き高圧ガスによる事故防止のため、保安対策の充実に努めてまいります。

この4月1日から、防災局は防災安全局に組織再編されました。今までの防災、消防、産業保安に加えて、交通安全や防犯などの県民安全行政も進めてまいります。

**経済産業省 中部近畿産業保安監督部 保安課長
鬼頭 彦治 殿**

平成30年の高圧ガス事故統計を見ますと、全国で837件の事故が発生し、そのうち盗難を除く災害は679件で、対前年比で111件の増加となりました。また、製造所の事故件数は、依然として



榊原生活衛生部長兼医薬安全課長ご挨拶



岸田産業保安室長ご挨拶



鬼頭保安課長ご挨拶

多く、昨年と同じく災害全体の約8割を占めています。

中部監督部管内（東海北陸5県）では盗難を除く災害が103件発生し、災害の現象別では噴出・漏えいが90件と約9割を占めています。これらの原因は、ハード面では腐食管理不良や締結管理不良、シール管理不良といった設備の維持管理不良によるもの、ソフト面では誤操作・誤判断といったヒューマンファクターによるものが目立っています。

昨年は、当部管内にも大きな台風が相次いで通過し、大規模な停電が発生しました。政府は国土強靱化に向け努力を続けていますが、皆様におかれても激甚化している自然災害の状況を踏まえ、以前にも増して自然災害への備えをお願いいたします。

高圧ガス保安協会 中部支部 事務局長

嶋田 明彦 殿

東海地域で危惧されている南海トラフ地震などの災害時に、医療用ガスをはじめ生命やインフラを支える重要なガスを的確に搬送する社会的使命を果たす取り組みが求められています。

こうした中、貴協会東海地域本部では、保安講習会や研修会の開催、また防災訓練への参加など様々な保安活動に取り組まれており、深く敬意を

表します。

高圧ガス保安協会においても、技術基準の作成や各種講習会の実施などを通じて、高圧ガスの保安確保に努めています。

上羽副会長 懇親会挨拶（要旨）

昨年の11月以降、米中貿易摩擦や中国の景気減速を背景に、国内の電子部品や半導体関連等の製造業は先行き不透明な状況です。

このような中、当業界も昨年度の下半期は、ガス供給や機器等の販売が影響を受けました。また、炭酸ガスとヘリウムの供給は厳しい状況が続いています。

新年度のJIMGA本部の課題ですが、産業ガス部門と医療ガス部門の「部門間の垣根をなくした一体運営」、また、「本部と地域との一体運営」を進めたいと、重要な個別課題に取り組むことを考えています。

個別課題の1つ目は、「災害対策の充実」です。都道府県との災害時供給協定に関しては、運用マニュアルの策定、見直しを進めてまいります。

鳥インフルエンザについては、これまでの処置事例を比較研究し、対策について行政への働きかけを進めてまいります。また、業界のサイバーセキュリティに関する議論も必要と考えています。



嶋田事務局長ご挨拶



上羽副会長挨拶

次に、「放置容器撲滅活動の強化」です。本部に「放置容器撲滅WG」を発足しました。全国における年間放置容器回収本数を50本以下にすることを目標とし、KHK・中央容器管理委員会他、外部団体との連携を強化した活動を展開します。

その他は、「消費税の完全転嫁」、「電力料金上昇の抑制」、「法規制への対応推進」、「広報活動による業界の社会的認知度向上」等に取り組みます。

南部医療ガス部門本部長 懇親会挨拶（要旨）

JIMGAの優先課題である「保安・安全の推進、事故撲滅」の達成のため、地道な教育の繰り返しが必要で、高圧ガスを取扱う方々に技術向上および注意喚起を促していく必要があると考えます。産業ガス部門では、7月に「産業ガス保安セミナー」、12月に「東海・北陸セミナー」を開催します。医療ガス部門では、11月に「静岡県医療ガス安全講習会」と2月に「MGR更新時講習会」を開催します。

また、東海地域本部は災害時の対応準備を十分に行うため、「東海地域本部災害時マニュアル」の見直し、備蓄品の対応、災害時連絡体制の構築を実施してきました。今後も、災害時対策委員会を中心に対応を検討してまいります。

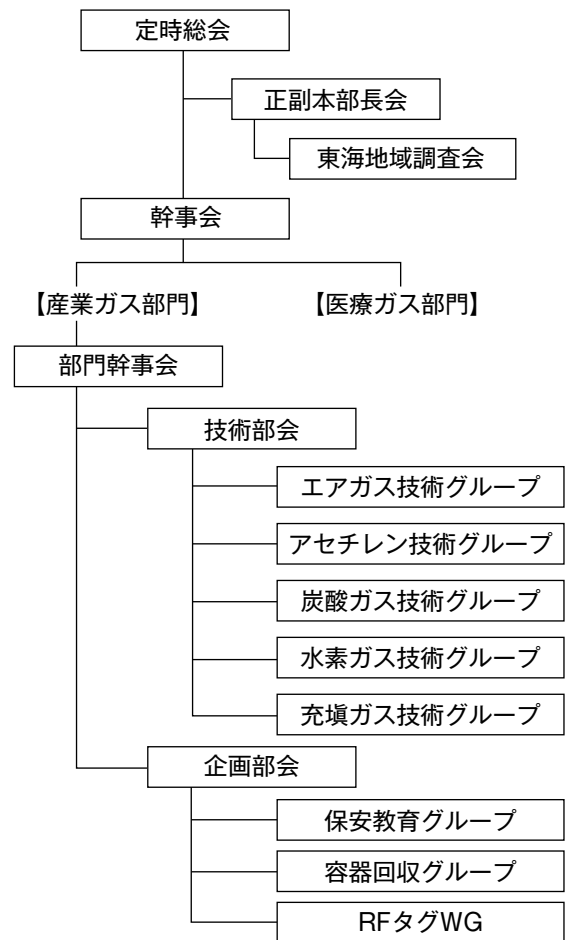


南部医療ガス部門本部長の懇親会挨拶

2. 2019年度活動方針

- (1) 事故防止と法令遵守の周知徹底
- (2) 供給および消費上の安全対策の推進
- (3) 保安講習会等の開催
- (4) 災害時対策の強化
- (5) 容器管理体制の強化
- (6) JIMGA本部との連携

3. 組織図



4. 役員・部会・WG名簿

役員



本部長
橋本 信一
岩谷産業(株)
中部支社長



副本部長
桐山 良成
イビデンケミカル(株)
中部ガス事業部 事業部長



副本部長
菊池 幹夫
エア・ウォーター炭酸(株)
大阪支店 名古屋営業所長



副本部長
飯田 哲郎
名古屋酸素(株)
取締役社長

幹事 西村 浩和 中部エア・ウォーター(株) 代表取締役社長
幹事 清水 伸介 竹中高圧工業(株) 代表取締役社長
幹事 加來 裕幸 日本液炭(株) 執行役員 中部支社長
幹事 藤本 孝弘 東亜テクノガス(株) 取締役管理部長
代表会計監事 寺尾 直光 東亜テクノガス(株) 代表取締役社長
会計監事 出村 憲二 豊田ガスセンター(株) 常務取締役 工場長

エアガス技術G

◎佐々木文志 大陽日酸(株) 中部支社 技術部長
三津田 真 中部エア・ウォーター(株) 管理部 部長
藤川 雅也 岩谷産業(株) 名古屋支店長
藤本 孝弘 東亜テクノガス(株) 取締役管理部長
丸山 広倫 日本エア・リキード(株) 中部エンジニアリング部 中部グループ長

アセチレン技術G

◎桐山 良成 イビデンケミカル(株) 中部ガス事業部 事業部長
吉田 馨 高圧ガス工業(株) 名古屋工場 工場長
矢田 孝次 大陽日酸ガス&ウェルディング(株) 名古屋支店長
鋤柄 喜彦 大日本アガ(株) 代表取締役
諏訪 高敏 大陽日酸(株) 中部支社 技術部 担当課長
吉岡 正弘 竹中高圧工業(株) 製造部 工場長
橋本 行雄 東海アセチレン(株) 浜松工場 取締役工場長

炭酸ガス技術G

◎菊池 幹夫 エア・ウォーター炭酸(株) 大阪支店 名古屋営業所長
笹 友徳 昭和電工ガスプロダクツ(株) 中部支店 主事
小田島秀樹 岩谷産業(株) 中部支社 環境保安部 保安担当部長
原田 敏兆 日本液炭(株) 中部支社 技術サービス課 課長
松葉 昇 大洋化学工業(株) 工場長
五十子 智 知多炭酸(株) 本社工場 品質管理課長
藤本 孝弘 東亜テクノガス(株) 取締役管理部長

水素ガス技術G

- ◎藤本 孝弘 東亜テクノガス(株) 取締役管理部長
- 小田島秀樹 岩谷産業(株) 中部支社 環境保安部 保安担当部長
- 三好 拡 エア・ウォーター(株) 北陸支店 業務グループ グループ長
- 笹 友徳 昭和電工ガスプロダクツ(株) 中部支店 主事
- 辻中 章 大陽日酸(株) 中部支社 技術部 技術一課長
- 吉田 和広 岩谷瓦斯(株) ガス事業部 中部事業所長
- 丸山 広倫 日本エア・リキード(株) 中部エンジニアリング部 中部グループ長
- 能町 康彦 北酸高圧瓦斯(株) 執行役員生産部長兼高岡工場長

充填ガス技術G

- ◎三津井 篤 中京産商(株) 専務取締役
- ◎服部 裕次 大日本アガ(株) 大府事業所 常務取締役
- 青山 真理 (株)ジーシー東海 取締役工場長
- 吉岡 正弘 竹中高圧工業(株) 製造部 工場長
- 新町 健児 共同高圧ガス工業(株) 執行役員工場長
- 浜谷 毅 名古屋ガスセンター(株) 工場長
- 廣田 勝吾 岩谷瓦斯(株) 岡崎工場長
- 土肥 達矢 イワタニ三重ガスセンター(株) 工場長
- 湊 洋治 春日井ガスセンター(株) 工場長
- 藤城 清吾 ガステックサービス(株) 西三河事業所長
- 新井 成和 岐阜エア・ウォーター(株) 工場長兼営業部長
- 内田 久雄 協栄高圧ガス(株) 取締役
- 高垣 満正 ケミカルジャパン(株) 代表取締役
- 安部 元行 小池酸素工業(株) 名古屋支店長
- 原田 敬生 (株)原田商店 代表取締役
- 宮坂 浩之 知多高圧ガス(株) 工場長代理
- 坂下 公朗 杉浦高圧(株) 取締役
- 川原 哲也 中部エア・ウォーター(株) 名古屋充填工場 工場長
- 出利葉 繁 東海ガスユナイテッド(株) 取締役社長
- 出村 憲二 豊田ガスセンター(株) 常務取締役 工場長
- 加藤 伸昭 名古屋酸素(株) 名古屋営業部次長
- 中村 久夫 名古屋日酸(株) 工場長

保安教育G

- ◎小田島秀樹 岩谷産業(株) 中部支社 環境保安部 保安担当部長
- 佐々木文志 大陽日酸(株) 中部支社 技術部長
- 笠井 勇人 中部エア・ウォーター(株) 技術グループ グループ長
- 新町 健児 共同高圧ガス工業(株) 執行役員工場長
- 藤本 孝弘 東亜テクノガス(株) 取締役 管理部長
- 吉田 馨 高圧ガス工業(株) 名古屋工場 工場長
- 笹 友徳 昭和電工ガスプロダクツ(株) 中部支店 主事
- 坂下 公朗 杉浦高圧(株) 取締役
- 吉岡 正弘 竹中高圧工業(株) 製造部 工場長
- 藤原 隆 中部液酸(株) 管理部長
- 服部 宗弘 名古屋酸素(株) 取締役製造部長 兼 小碓工場長
- 中村 久夫 名古屋日酸(株) 工場長
- 丸山 広倫 日本エア・リキード(株) 中部エンジニアリング部 中部グループ長

原田 敏兆 日本液炭(株) 中部支社 技術サービス課 課長

容器回収G

◎井上 洋一 豊田ガスセンター(株) 工場長付スタッフ
浅野 泰義 杉浦高压(株) 部長
川端 浩和 東亜テクノガス(株) 技術統括部 工務課長
藤田 健一 岩谷瓦斯(株) 中部事業所 営業部長
森 英昭 協栄高压ガス(株) 業務課 課長代理
高山 昭彦 高压ガス工業(株) ガス事業部 東海地区 部長
笹 友徳 昭和電工ガスプロダクツ(株) 中部支店 主事
鈴木 隆信 大日本アガ(株) 製造物流部 係長
宮田 達男 太陽日酸(株) 中部支社 ガス営業部 部長
矢田 孝次 太陽日酸ガス&ウエルディング(株) 名古屋支店長
吉岡 正弘 竹中高压工業(株) 製造部 工場長
浅井 純 知多高压ガス(株) 業務部 課長代理
小久保光男 中京産商(株) 溶材部 溶材課 課長
川原 哲也 中部エア・ウォーター(株) 名古屋充填工場 工場長
出利葉 繁 東海ガスユニテッド(株) 取締役社長
土井不可止 イビデンケミカル(株) 大府ガス営業部 課長
大貝 信夫 名古屋ガスセンター(株) 十四山工場
服部 宗弘 名古屋酸素(株) 取締役製造部長 兼 小碓工場長
中村 久夫 名古屋日酸(株) 工場長
久保 和博 日本エア・リキード(株) 東海支店長
青山 真理 (株)ジーシー東海 取締役工場長
原田 敏兆 日本液炭(株) 中部支社 技術サービス課 課長

RFタグWG

◎橋本 信一 岩谷産業(株) 中部支社長
久保 和博 日本エア・リキード(株) 東海支店長
宮田 達男 太陽日酸(株) 中部支社 ガス営業部 部長
川原 哲也 中部エア・ウォーター(株) 名古屋充填工場 工場長
菰渕 義秋 東亜テクノガス(株) 業務本部長
高山 昭彦 高压ガス工業(株) ガス営業部 東海地区 部長
鋤柄 喜彦 大日本アガ(株) 代表取締役
矢田 孝次 太陽日酸ガス&ウエルディング(株) 名古屋支店長
高嶋 浩士 昭和電工ガスプロダクツ(株) 中部支店 支店長
永原 竜哉 日本液炭(株) 中部支社 営業部 営業部長
藤川 雅也 岩谷産業(株) 名古屋支店長
成瀬 宜 竹中高压工業(株) 営業部 部長
飯田 哲郎 名古屋酸素(株) 取締役社長
新町 健児 共同高压ガス工業(株) 執行役員工場長
坂下 公朗 杉浦高压(株) 取締役
斎藤 輝久 名古屋ガスセンター(株) 本社 業務グループ長
(医療) 南部 淳 (株)ナンブ 代表取締役社長
(医療) 清水 健司 静岡酸素(株) 代表取締役社長
(医療) 大島 康之 (株)大島商会 代表取締役
(医療) 伊藤 洋司 中京医療(株) 取締役 営業部長
(医療) 江場 大二 (株)エバ 代表取締役社長

5. 活動報告（2019年2月～2019年7月）

日付	行事名称	場所	行事概要
2/14	容器回収G会議	地域本部会議室	・平成30年度本部活動報告 ・平成30年度本部東海地域本部活動報告 ・容器全国一斉特別回収運動報告 ・次期G長選出
2/20	充填ガス技術G会議	地域本部会議室	・平成30年本部技術・保安部会活動報告 ・平成30年度本部東海地域本部活動報告 ・次期G長（正・副）選出
2/27	炭酸ガス技術G会議	地域本部会議室	・平成30年度本部炭酸ガス技術WG活動報告 ・平成30年度本部東海地域本部活動報告 ・「18回炭酸ガス保安講習会」アンケート検討
3/4	アセチレン技術G会議	地域本部会議室	・平成30年度溶解アセチレンWG活動報告 ・平成30年度本部東海地域本部活動報告 ・平成31年年度東海地域本部主要行事報告
3/12	保安教育G会議	地域本部会議室	・平成30年度本部技術・保安部会活動報告 ・平成30年度本部東海地域本部活動報告 ・東海・北陸セミナーアンケート検討 ・平成31年度保安教育Gの活動検討 ・次期G長選出
4/23	合同幹事会	東海ビル会議室	・令和元年定時総会議案書の審議 ・令和元年定時総会運営に関する確認
5/14	東海地域本部定時総会	ホテルキャッスル プラザ	P77～80参照
5/28	保安教育G会議	地域本部会議室	・定時総会の報告 ・産業ガス保安セミナーの当日の運営検討 ・東海・北陸セミナーの講演テーマの決定
7/11	水素ガス技術G会議	地域本部会議室	・定時総会の報告 ・本部水素技術WG活動報告 ・JIMGA総会セミナーの報告 ・東海・北陸セミナーの開催報告
7/18	エアガス技術G会議	地域本部会議室	・定時総会の報告 ・本部技術・保安部会の活動報告 ・JIMGA総会セミナーの報告 ・東海・北陸セミナーの開催報告
7/25	令和元年度 産業ガス保安セミナー	ウインクあいち	講演テーマ ①高圧ガス保安に関する法令等改正の解説 ②高圧ガス販売事業所自己診断指針 ③リスクアセスメント（入門編）解説 SDSの改訂 受講者：64名

執筆：東海地域本部 事務局長 倉本 明彦



北陸地域本部

1. 定時総会

日時：2019年5月16日（木）16:00～16:55

会場：ANAクラウンプラザホテル金沢

議題

第1号議案 2018年度事業報告

第2号議案 2018年度収支決算報告

第3号議案 2019年度活動及び予算案の件

本部出席者

副会長 石井 敏康

常務執行役員 大沼 倫晃

常務執行役員 田邊 浩義

谷屋本部長挨拶

会員の皆様には、日頃よりJIMGAの活動にご理解とご協力を賜りこの場をお借りして、厚くお礼を申し上げます。本日は協会本部より、石井副会長、産業ガス部門からは大沼常務執行役員、医療ガス部門からは田邊常務執行役員にご臨席を賜りありがとうございます。

前期の北陸地方の景況感は、北陸新幹線の延伸工事や、人手不足に対応する設備投資の増加、東京オリンピック関連景気の恩恵もあり好調でしたが、国際社会では自国中心主義の悪弊が顕在化し、北陸地区でも今後の市況が不透明となっております。

また、本年10月に消費税の引き上げが予定されております。当協会は平成26年の増税時に「消費税転嫁対策措置法」に則った「転嫁・表示カルテル」を公正取引委員会に認められた団体であり、今回も税の適正な転嫁を推進いたします。

消費税特措法遵守のための体制として、JIMGA本部に対策本部を設置し、全国の各地域本部に幹

事の皆様を構成員とする地域調査会を設けております。北陸地域本部も、積極的に対応したいと思います。

先ほどは本部のご協力をいただき、金沢国税局消費税課の中橋様に講演をしていただきました。税の適正な転嫁に、皆様のご協力をお願いいたします。

産業ガス部門では昨年、溶材組合との連携により、「放置容器回収依頼対応時マニュアル」北陸版を制定、同じく、溶材組合と合同で説明会を実施しました。放置容器を撲滅するためには、溶材組合の皆様と連携し、北陸各県に監修いただいた「容器管理指針」や「リーフレット」をさらに活用し、放置容器の撲滅に取り組んでいきたいと思っています。また、一昨年に制定した「容器使用料の考え方」に基づいて、お客様に「容器の保安確保」



谷屋本部長挨拶



定時総会風景

と「早期返却」を促し、長期停滞容器の撲滅を目指します。

医療ガス部門では、「医療事故防止」や「法規制への対応」等の課題があります。医療従事者向けの「安全講習会」を開催し、医療施設でのボンベの取り違え防止や、医療ガス設備の「安全管理の拡充」と「資質の向上」を目指します。

以上の活動により、産業ガス部門、医療ガス部門共通の課題である、コンプライアンスの徹底と保安の確保を第一に、安全・安心を確立し、業界のさらなる地位の向上を目指していきます。

産業ガス部門、医療ガス部門ともに、2019年度の活動を、さらに充実させたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。最後になりましたが、会員各社の益々のご繁栄と、本日までご出席の皆様のご健勝を祈念申し上げて、挨拶とさせていただきます。



石井副会長挨拶



大沼常務執行役員産業ガス部門近況報告

2. 2019年度活動方針

(1) 保安の推進

高圧ガス消費者保安講習会の開催

(2) 会員研修会の実施

高圧ガス容器製造工場見学

(3) 放置容器の撲滅

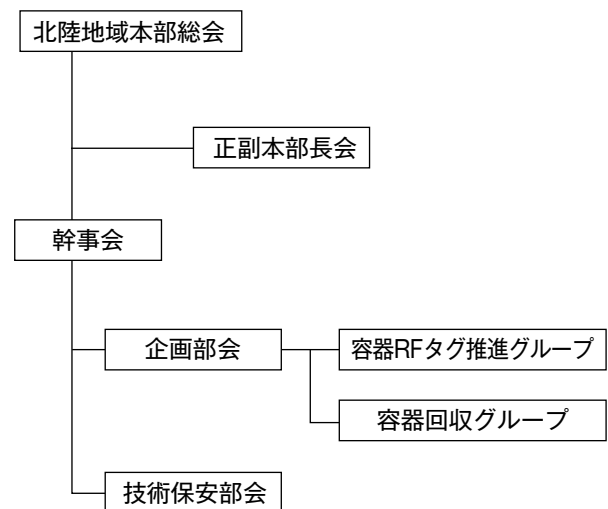
北陸各県監修「容器管理指針」「リーフレット」の活用

(4) 長期停滞容器の撲滅

「容器使用料の考え方」の活用

(5) 消費税の適正な転嫁

3. 組織図



田邊常務執行役員医療ガス部門近況報告

4. 役員・部会・WG名簿

役員



本部長

谷屋 五郎
宇野酸素(株)
代表取締役会長



副本部長

森本 直和
北酸高压瓦斯(株)
代表取締役社長



副本部長

桐田 信也
日星産業(株)
取締役富山支店長

幹事 松永 秀一 日本エア・リキード(株) 三重・北陸支店長
幹事 丹羽 信嗣 北越アセチレン(株) 代表取締役社長
幹事 田中 浩昭 日本液炭(株) 富山営業所長
幹事 岡田 智洋 太陽日酸(株) 北陸支店長
幹事 石川 昇 中部エア・ウォーター(株) 北陸支店長
幹事 南部 明彦 宇野酸素(株) 専務取締役
会計監事 岡田 智洋 太陽日酸(株) 北陸支店長
会計監事 酒井 智俊 サカキ産業(株) 代表取締役社長

企画部会

谷屋 五郎 宇野酸素(株) 代表取締役会長
森 卓也 岩谷産業(株) 北陸支店長
石川 昇 中部エア・ウォーター(株) 北陸支店長
松永 秀一 日本エア・リキード(株) 三重・北陸支店長
岡田 智洋 太陽日酸(株) 北陸支店長
亀尾 敏孝 岩谷瓦斯(株) ガス事業部 中部事業所 小松工場長
森本 直和 北酸高压瓦斯(株) 代表取締役社長
田中 浩昭 日本液炭(株) 富山営業所長
馬場 信幸 昭和電工ガスプロダクツ(株) 中部支店 富山営業所長
柳澤 敏幸 直江津アセチレン(株) 取締役工場長
松本 英明 新潟高压ガス(株) 取締役工場長
丹羽 宏彰 北越アセチレン(株) 部長
谷屋 五郎 三国液酸(株) 代表取締役社長
鈴木 肇 北陸エア・ケミカルズ(株) 取締役敦賀事務所長

技術・保安部会

谷屋 五郎 宇野酸素(株) 代表取締役会長
森 卓也 岩谷産業(株) 北陸支店長
石川 昇 中部エア・ウォーター(株) 北陸支店長
深谷 和則 東亜テクノガス(株) 北陸支店 北陸営業部
松永 秀一 日本エア・リキード(株) 三重・北陸支店長

岡田 智洋 大陽日酸(株) 北陸支店長
 渡辺 博之 北陸液酸工業(株) 取締役管理部長
 亀尾 敏孝 岩谷瓦斯(株) ガス事業部 中部事業所 小松工場長
 森本 直和 北酸高圧瓦斯(株) 代表取締役社長
 田中 浩昭 日本液炭(株) 富山営業所長
 馬場 信幸 昭和電工ガスプロダクツ(株) 中部支店 富山営業所長
 山口 淳 上毛天然瓦斯工業(株) 長岡支店長
 柳澤 敏幸 直江津アセチレン(株) 取締役工場長
 松本 英明 新潟高圧ガス(株) 取締役工場長
 丹羽 宏彰 北越アセチレン(株) 部長
 谷屋 五郎 三国液酸(株) 代表取締役社長
 鈴木 肇 北陸エア・ケミカルズ(株) 取締役敦賀事務所長

5. 活動報告 (2019年2月～2019年7月)

日付	行事名称	場所
4/12	北陸地域本部幹事会	ANAクラウンプラザホテル金沢
5/16	北陸地域本部定時総会	ANAクラウンプラザホテル金沢

6. 北陸地域本部トピックス

今秋開催する会員研修会11月15日(金)～16日(土)高圧ガス容器製造工場見学(エスケイシリンダー(株))の準備を進めています。また、石川県(石川地場産業振興センター)で開催する「高圧ガス消費者保安講習会」11月6日(水)も併せて準備をしています。

北陸地域本部会員の皆様のご協力、ご参加をいただき実りある活動にしたいと思っています。何卒ご協力をお願いします。

執筆者：北陸地域本部 事務局長 中村 孝



近畿地域本部

1. 定時総会

日時：2019年5月16日（木）16:15～17:30

会場：メルパルク大阪「ソレイユの間」

議 題

第1号議案 2018年度事業報告承認の件

第2号議案 2018年度経常費収支決算報告承認の件

第3号議案 2019年度新役員承認の件

第4号議案 2019年度事業計画(案)承認の件

第5号議案 2019年度経常費収支予算(案)承認の件

第6号議案 近畿地域本部規約の改定承認の件

報告事項

(1) 会員動向

産業ガス部門61社(平成31年3月31日現在)

(2) 表彰関係(平成30年度の受賞者)について

経済産業大臣表彰、中部近畿産業保安監督部近畿支部長表彰、知事表彰の紹介

(3) 今後の主な行事予定

JIMGA(本部)評議員会および定時総会、並びに関係他団体の総会日程等の報告

本部出席者

副会長 永田 研二

専務理事 加藤 尚嗣

常務執行役員 城 久尚

木津本部長挨拶(要旨)

一昨年の関西経済においては、生産や消費が好調に推移し、緩やかな改善が続きましたが、その拡大ペースには鈍化がみられます。一方で、大阪北部地震や相次いだ台風上陸などの自然災害に見舞われた一年となりました。

JIMGAでは、これまでと同様に保安を重視した

活動を行ってまいりました。昨年の高圧ガス事故の喪失・盗難は前年対比で減少していますが、災害に関しては増加しています。

業界関係者としては、ガスの安定供給・保安の確保を着実に進めて行く事が大事と考えていますので、改めまして皆様の多大なるご協力をお願い申し上げます。



木津本部長挨拶



総会の模様



総会の模様(本部役員)



総会の模様（近畿地域本部役員）



高木事務局長の乾杯ご発声

懇親会

総会終了後、17時30分より3階ボナールの間に、懇親会に移り、和気あいあいの内に、19時散会となった。

懇親会次第

- 開会の辞 近畿地域本部長
木津 博司 氏
- 来賓ご紹介 14名の来賓
- 来賓ご挨拶
経済産業省 中部近畿産業保安監督部
近畿支部 保安課長 山口 伸吾 殿
- 乾杯ご発声 高圧ガス保安協会 近畿支部
事務局長 高木 英彦 殿
- ご 歓 談
- 中 締 め 近畿地域本部医療ガス部門本部長
大井 常義 氏



山口保安課長ご挨拶

2. 2019年度活動方針

本来の基本理念である「自主保安の確立」「コンプライアンスの徹底」「停滞容器の早期回収」を基軸として、「保安」と「コンプライアンス」の活動を推進します。

特に、防災については、南海トラフ地震を念頭に「災害時対策運営要綱」の活用を推進するとともに、重大な事故に繋がる放置容器等の撲滅活動も推進します。

コンプライアンスについては、業界の地位向上を図る活動を通じて、より一層信頼される業界団体を目指します。

部会の主な活動計画は、以下のとおりです。

(1) 充填ガス部会

4支部(大阪・奈良支部、兵庫支部、京都・滋賀支部、和歌山支部)の活動を活性化し、本部関連部会・WGとの連携を強化し、これまで以上の幅広い活動をするとともに長期停滞容器回収に取り組めます。

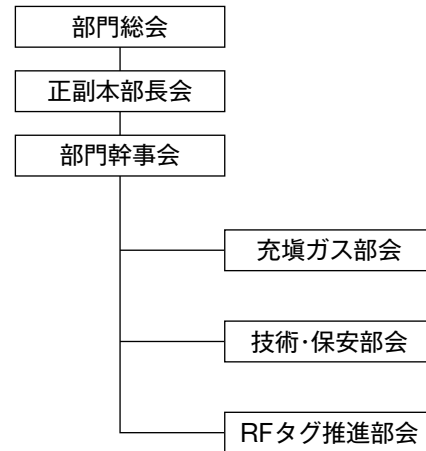
(2) 技術・保安部会

今までのエアガス・アセチレン技術グループ、水素・炭酸技術グループ別々の活動を今期から改定し、技術・保安部会として規制改革要望の提案、自主保安基準の作成を本部技術・保安部会、環境・安全部会と連携して取り組めます。また、保安セミナーの内容も地域会員各社の要望を取り入れたテーマを検討します。

(3) RFタグ推進部会

JIMGA本部における容器RFタグ運営委員会およびWGとの連携を密にしながら、バーコードシステムに代わる重要なアイテムとして、RFタグの推進を図ります。

3. 組織図



4. 役員・部会・WG名簿 役員



本部長
木津 博司
近畿エア・ウォーター(株)
代表取締役社長



副本部長
姫尾 和彦
日本エア・リキード(株)
関西統括本部 本部長



副本部長
八尋 正昭
日本エア・リキード(株)
技術統括部 事業部長



副本部長
大岡 久晃
株大岡酸素商会
取締役会長

- | | | | |
|------|-------|---------------------|-------------|
| 幹事 | 林 健 | 大陽日酸(株) | 関西支社長 |
| 幹事 | 佐藤 義行 | 岩谷産業(株) | 近畿総合支社 副支社長 |
| 幹事 | 山本 誠一 | 小池酸素工業(株) | 大阪支店 支店長 |
| 幹事 | 河西 伸和 | 大陽日酸ガス & ウェルディング(株) | 取締役 ガス営業本部長 |
| 幹事 | 佐藤 泰憲 | 日本液炭(株) | 関西支社長 |
| 会計監事 | 田中 政弥 | 協和ガス(株) | 取締役 第1事業部長 |
| 会見監事 | 陶国 昇 | 大阪ガスリキッド(株) | 常務取締役 |

充填ガス部会

- ◎大岡 久晃 (株)大岡酸素商会 取締役会長
- 林 稔 浪速酸素(株) 代表取締役社長
- 高浜 充治 高浜酸素(株) 代表取締役社長
- 森脇 勝久 森脇産業(株) 代表取締役社長
- 佐津 由倫 近畿エア・ウォーター(株) 和歌山支店 支店長
- 永田 裕信 大阪車輛工業(株) 取締役 営業部 部長
- 林 健 (株)大阪パッケージガスセンター 代表取締役
- 岡本 壮史 (株)関西ガスファースト 代表取締役
- 青木 重人 大丸エナウイン(株) 執行役員 医療・産業ガス事業本部長
- 名倉 茂雄 大和熔材(株) 代表取締役社長
- 宮崎 順平 (株)マスコール 取締役会長
- 伏山 英男 (株)伏山酸素商会 代表取締役社長
- 神田 保男 近畿酸素(株) 取締役会長
- 辰巳 友亮 タツミ産業(株) 常務取締役
- 橋詰 芳裕 (株)ニッコーコーポレーション 代表取締役
- 堀田 秀樹 ネクスト・ワン(株) 代表取締役副社長
- 宮崎 文祥 姫路ダイサン(株) 代表取締役
- 藤田 元久 藤田酸素工業(株) 代表取締役社長
- 中森 信輔 (株)泉産業 代表取締役社長
- 難波 太郎 京都帝酸(株) 代表取締役社長
- 高橋 寛 滋賀カーバイド(株) 代表取締役
- 竹内 光男 新宮酸素(株) 代表取締役社長

技術・保安部会

- ◎八尋 正昭 日本エア・リキード(株) 技術統括部 事業部長
- 村上 孝一 高圧ガス工業(株) 堺工場 工場長
- 田端 弘司 エア・ウォーター炭酸(株) 大阪支店 支店長
- 中森 信輔 (株)泉産業 代表取締役社長
- 小堀 孝司 イビデンケミカル(株) ガス事業部 高石事業所 工場長
- 小林 靖昌 岩谷産業(株) 環境保安部 保安担当 担当部長
- 中野 真一 エア・ウォーター(株) コンプライアンスセンター 保安推進部 係長
- 大岡 久晃 (株)大岡酸素商会 取締役会長
- 石井 長文 協和ガス(株) 製造部 統括製造課長
- 廣田 淳一 近畿エア・ウォーター(株) 取締役管理部長 兼 技術部長
- 山本 誠一 小池酸素工業(株) 大阪支店 支店長
- 椋橋 明次 大陽日酸ガス&ウエルディング(株) 常務執行役員 技術本部長
- 藤井 和重 大陽日酸(株) 関西支社 技術部長
- 池田 幹雄 日東高圧化学工業(株) 代表取締役
- 石井 政行 尼崎水素販売(株) 所長
- 岩田 保雄 岩谷瓦斯(株) ガス事業部生産部 生産・製品技術担当シニアマネージャー
- 岩見 憲二 近畿炭酸(株) 取締役 管理部長
- 三宅 秀典 昭和電工ガスプロダクツ(株) 西日本支店大阪営業所
- 前川 清志 日鉄ケミカル&マテリアル(株) 広畑製造所 化成工場 水素充填班 班長
- 近藤 航 日本液炭(株) 関西支社 技術サービス課長
- 内田 睦 大阪ガスリキッド(株) ガス企画業務部長

5. 活動報告（2019年2月～2019年7月）

近畿地域本部主催

日付	行事名称	場所	行事概要
2/6	高圧ガス保安セミナー	大阪科学 技術センター	<ul style="list-style-type: none"> ・安全統計資料 ヒヤリハット・事故事例から学ぶ保安（平成30年度版） ・産業・医療ガスの臭気判定について ・CE附属品の取扱い方法（液面計・真空用附属品編）
3/8	エアガス・アセチレン 技術G会議	コンファレンス プラザ 大阪御堂筋	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度 工場見学の件 ・平成30年度 セミナー報告の件 ・来期セミナー候補
3/14	2018年度 第2回 幹事会	宇津房	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年度見込み、2019年度予算の件 ・2019年度定時総会の件 ・役員改選、主要スケジュール、その他
4/19	2019年度 第1回 幹事会	大阪科学 技術センター	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度産業ガス部門定時総会議案書（案）承認の件
5/16	近畿地域本部 定時総会	メルパルク大阪	
7/3	充填ガス部会	大阪科学 技術センター	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度工場見学の件 ・近畿地域本部セミナーの件 ・本部報告 ・意見交換
7/4	技術・保安部会	大阪科学 技術センター	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度工場見学の件 ・近畿地域本部セミナーの件 ・本部報告 ・意見交換

執筆者：近畿地域本部 事務局長 徳富 栄一郎



中国地域本部

1. 定時総会

日時：2019年5月22日（水）16:00～16:35

会場：広島ガーデンパレス

議題：

第1号議案 平成30年度事業報告及び収支決算の承認を求める件

第2号議案 令和元年度事業計画（案）及び収支予算（案）の承認を求める件

報告事項：

- (1) 今年度の役員と評議員の紹介
- (2) 会員の動静について
- (3) 主要行事日程ならびに各県の高圧ガス保安大会日程を紹介

本部出席者：小池英夫副会長

加藤尚嗣専務理事

瀬戸昭則常務理事

齋尾本部長挨拶（要旨）

中国地域の経済は、製造業全体では生産や設備投資の面で持ち直しの動きに足踏み感がみられ、製造業・非製造業ともに人手不足が続き、先行きが不透明です。

今年、10月に消費税の引き上げが行われる予定です。JIMGAは、前回の増税時に「消費税転嫁対策措置法」に則った転嫁・表示カルテルを公正取引委員会に認められた団体です。当地域でも、税の適正な転嫁推進について積極的に対応していきたいと思っております。

さて、昨年7月に中国地域は西日本豪雨による大きな災害に見舞われました。大変困難な状況の中、ガスの安定供給に多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。災害時における高圧ガスの緊急配送手段と配送ルート確保の重要性を改めて再認識しています。

日本の産業界を支える高圧ガス業界におきまして、保安・安全の確保は最優先です。令和元年度も、保安講習会や保安セミナーの開催、高圧ガス保安大会等の積極的な参加により、中国地域すべての高圧ガス事業関係者の安全意識向上と自主保安体制の充実に努めてまいります。



齋尾本部長の挨拶

小池副会長挨拶（要旨）

昨年の11月以降、米中貿易摩擦や中国の景気減速を背景に、国内の電子部品や半導体関連等のメーカーにおいて受注が急減、設備投資が延期されるなど、先行き不透明な状況が続いています。

こうした状況下で、当業界においても昨年度の下半期は、各社でガス供給や機器等の販売に影響を受けました。また、炭酸ガスとヘリウムの供給が、依然として厳しい状況が続いています。

新年度のJIMGA本部の課題ですが、産業ガス部門と医療ガス部門の「部門間の垣根をなくした一体運営」、また、「本部と地域との一体運営」を進めた上で、重要な個別課題に取り組みます。

1つ目は、「災害対策の充実」です。都道府県との災害時供給協定に関しては、運用マニュアルの策定、見直しを進めます。鳥インフルエンザについては、これまでの処置事例を比較研究し、対

策について行政への働きかけを進めます。また、業界のサイバーセキュリティに関する議論も必要と考えています。

次に、「放置容器撲滅活動の強化」です。本部にて「放置容器撲滅WG」を発足しました。全国における年間放置容器回収本数を50本以下にすることを目標とし、KHK・中央容器管理委員会他、外部団体との連携を強化し、実効力のある措置の策定等を行います。

その他、「消費税の完全転嫁」、「電力料金上昇の抑制」、「法規制への対応推進」、「広報活動による業界の社会的認知度向上」等に取り組めます。



小池副会長の挨拶

なお、定時総会の前に広島西税務署から大元賢治統括官を講師に迎えて、セミナー「消費税、軽減税率制度について」を開催しました。(受講者50名)



消費税セミナーの様

また、定時総会の後、JIMGA懇親会を開催し、藤井基博前副本部長の乾杯で始まり、加藤尚嗣専務理事の中締めで終わりました。



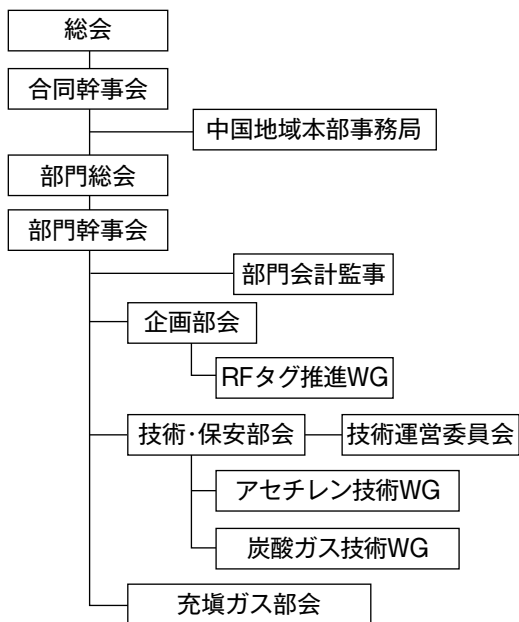
懇親会：藤井前副本部長の音頭で乾杯

2. 2019年度活動方針

産業ガスの製造、輸送、販売、消費等に関して、それらの改善・合理化の推進、技術の向上、および安全・保安の確保に努め、本部との連携を取りながら次の事業を遂行します。

- 1) 本部評議員会、事務局長会議等へ積極的に参加する。
- 2) 従来から取り組んできた講習会活動を継続・展開する。
- 3) 高圧ガス保安大会や、高圧ガス保安活動促進週間の協賛諸行事へ積極的に参加する。
- 4) 本部指示のもと、関連法規の周知徹底並びに法令上の諸問題について地域監督官庁と話し合いを進める。
- 5) 各部会の特有の諸問題に関してはそれぞれの部会で討議解決を図る。
- 6) 消費増税調査会は、窓口を中国地域本部事務局として継続する。

3. 組織図



4. 役員・部会・WG名簿

役員



本部長

齋尾 明
日本エア・リキード(株)
中四国統括本部長



副本部長

中川 裕義
高圧ガス工業(株)
中・四国地区長



副本部長

並河 勉
山陰酸素工業(株)
代表取締役社長



副本部長

武 浩一
大陽日酸(株)
執行役員 中四国支社長



副本部長

藤井 宗武
藤井商事(株)
代表取締役社長

幹事 岩上 知司 岩谷産業(株) 中国支社長
幹事 上村 浩 中・四国エア・ウォーター(株) 代表取締役社長
幹事 石葉 光伸 エア・ウォーター炭酸(株) 営業部 大阪支店 課長
幹事 山本 敬史 大和酸素(株) 代表取締役社長
幹事 國廣 憲 中国アセチレン(株) 代表取締役社長
会計監事 川崎 兼二 岩谷瓦斯(株) 取締役 ガス事業部 西日本事業所長
会計監事 小林 通匡 ニッキフッコー(株) 代表取締役社長

企画部会

◎古田 正彦 日本エア・リキード(株) 西日本エンジニアリング部 中四国グループ マネージャー
 古賀 和哉 岩谷瓦斯(株) ガス事業部 西日本事業所 広島工場長
 目崎 省三 岩谷産業(株) 環境保安部 保安担当部長(中国駐在)
 山本 正治 エア・リキード工業ガス(株) 山口工場長
 福井 雅則 高圧ガス工業(株) 広島工場長
 菅野 修司 山陰酸素工業(株) 安来ガスセンター長
 松井 勇兒 太陽日酸(株) 中四国支社 技術部長
 黒田 秀昭 中国アセチレン(株) 取締役製造部長
 宮澤 昭浩 藤井商事(株) 本社工場 製造課長

RFタグ推進WG

◎古賀 和哉 岩谷瓦斯(株) ガス事業部 西日本事業所 広島工場長
 福井 雅則 高圧ガス工業(株) 広島工場長
 菅野 修司 山陰酸素工業(株) 安来ガスセンター長
 黒田 秀昭 中国アセチレン(株) 取締役製造部長
 古田 正彦 日本エア・リキード(株) 西日本エンジニアリング部 中四国グループ マネージャー
 宮澤 昭浩 藤井商事(株) 本社工場 製造課長

技術・保安部会

◎松井 勇兒 太陽日酸(株) 中四国支社 技術部長
 ○福井 雅則 高圧ガス工業(株) 広島工場長
 古賀 和哉 岩谷瓦斯(株) ガス事業部 西日本事業所 広島工場長
 目崎 省三 岩谷産業(株) 環境保安部 保安担当部長(中国駐在)
 石葉 光伸 エア・ウォーター炭酸(株) 営業部 大阪支店 課長
 金子 康行 オカモト産業(株) 技術部長
 西村 宏一 高圧ガス工業(株) 岡山工場長
 田代 晃裕 山陰酸素工業(株) 技術本部 技術部長
 木次 徳在 山陽酸素(株) 代表取締役社長
 北 健太郎 昭和電工ガスプロダクツ(株) 中四国営業所
 牧野 邦彦 (株)ゼネラルガスセンター 本社工場長
 花田 英治 (株)ゼネラルガスセンター 三原工場長
 川下 明彦 太陽日酸ガス&ウエルディング(株) 山口支店長
 黒田 秀昭 中国アセチレン(株) 取締役製造部長
 中元 昌幸 中国酸素(株) 広島工場長
 川上 典之 中・四国エア・ウォーター(株) 広島工場長
 赤松 興一 中・四国エア・ウォーター(株) 下松ガスセンター長
 赤座 重喜 ツチダ産業(株) 高野支店長
 下畦 貴之 ニッキフッコー(株) 営業技術課長
 古田 正彦 日本エア・リキード(株) 西日本エンジニアリング部 中四国グループ マネージャー

小林 統 日本液炭(株) 中四国支社 技術サービス課長
 柴田 巖 広島日酸(株) 取締役工場長
 宮澤 昭浩 藤井商事(株) 本社工場 製造課長
 藤原 慎治 藤井商事(株) 水島工場 製造課長
 前岸 豊之 水アセ(株) 取締役工場長
 大野 剛 安浦アセチレン(株) 広島工場 課長
 森本 英明 リンクス(株) テクノガスセンター工場長代理

アセチレン技術WG

◎福井 雅則 高圧ガス工業(株) 広島工場長
 西村 宏一 高圧ガス工業(株) 岡山工場長
 川下 明彦 太陽日酸ガス&ウエルディング(株) 山口支店長
 黒田 秀昭 中国アセチレン(株) 取締役製造部長
 前岸 豊之 水アセ(株) 取締役工場長
 大野 剛 安浦アセチレン(株) 広島工場 課長

炭酸ガス技術WG

◎北 健太郎 昭和電工ガスプロダクツ(株) 中四国営業所
 目崎 省三 岩谷産業(株) 環境保安部 保安担当部長(中国駐在)
 石葉 光伸 エア・ウォーター炭酸(株) 営業部 大阪支店 課長
 小林 統 日本液炭(株) 中四国支社 技術サービス課長

充填ガス部会

◎川崎 能弘 中国酸素(株) 代表取締役社長
 平松 丈始 旭化成酸素(株) 代表取締役社長
 川崎 兼二 岩谷瓦斯(株) 取締役 ガス事業部 西日本事業所長
 白崎 秀之 エア・リキード工業ガス(株) 西日本オペレーションセンター長
 岡本 茂裕 オカモト産業(株) 代表取締役社長
 並河 勉 山陰酸素工業(株) 代表取締役社長
 木次 徳在 山陽酸素(株) 代表取締役社長
 白神 巧 (株)ゼネラルガスセンター 代表取締役社長
 山本 敬史 大和酸素(株) 代表取締役社長
 高山 眞司 高山産業(株) 代表取締役社長
 國廣 憲 中国アセチレン(株) 代表取締役社長
 谷口 宏治 中・四国エア・ウォーター(株) 取締役 岡山支店長
 五島 明憲 中・四国エア・ウォーター(株) 広島支店長
 大林 英夫 ツチダ産業(株) 取締役副社長
 小林 通匡 ニッキフッコー(株) 代表取締役社長
 山脇 淳平 広島高圧ガス(株) 代表取締役社長
 柴田 巖 広島日酸(株) 取締役工場長
 藤井 宗武 藤井商事(株) 代表取締役社長
 前岸 豊之 水アセ(株) 取締役工場長
 松本 眞 リンクス(株) 代表取締役社長

5. 活動報告 (2019年2月～2019年7月)

日付	行事名称	場所	行事概要
2/26	産業ガス保安セミナー (受講者40名)	RCC 文化センター	1) CE附属品の取扱い方法 (真空用附属品編&液面計編) 2) 安全統計資料 ヒヤリハット・事故事例から学ぶ保安 (平成30年度版) 3) 酸素ガス充てん所作業基準 (追補)
6/9	山口県総合防災訓練 (約2,000名)	いわくに消防防災センター	1) 土砂災害への対応・救出・避難訓練 2) 大地震災害への対応・救出・避難訓練 3) 避難所設営・災害復旧訓練



2/26 産業ガス保安セミナーの様様



2/26 斎尾本部長の挨拶



6/9 山口県総合防災訓練ガイドブック



6/9 救出訓練の様様

6. 中国地域本部トピックス

①今後の活動予定

日付	行事名称	場所	行事概要
9/4	中国地域 炭酸ガス保安講習会	周南市立德山駅前図書館	1) 最近の高圧ガス保安行政について (保安検査時の指摘事項など) 山口県総務部消防保安課 技師 佐藤裕文殿 2) 高圧ガス容器の保安について 全国高圧ガス溶材組合連合会 保安委員会 副委員長 大岡久晃殿 3) 高圧ガス保安法の要点、炭酸ガスの取り扱いについて & 動画上映 JIMGA中国 炭酸ガス技術WG委員 小林統
9/20	技術研修会	広島大崎上島	大崎クールジェン
9/28	岡山県総合防災訓練	津山市久米総合文化運動公園	大雨による河川決壊・土砂崩れや大地震等の災害に備えた訓練
10/6	広島県総合防災訓練	尾道糸崎港(三原市)	大地震や豪雨による河川決壊・土砂崩れ等の災害に備えた訓練
10/8	高圧ガス保安法令講習会	岡山国際交流センター	1) 最近の高圧ガス保安行政について 経済産業省中国四国産業保安監督部 保安課 係長 弥益慎吾殿 2) 高圧ガス事故事例について 岡山県消防保安課 主任 中村隆三殿 3) 特別講演 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 主任研究開発員 石川主税殿
11/11	産業ガス保安セミナー	広島オフィスセンター	1) ヘリウムガスおよび液化ヘリウムの安全な取り扱い事故事例と安全対策 2) 安全ニュースNo.13 及び労働災害統計 3) SDS改定 (JISZ7252, 7253改正) 4) 「圧縮ガス(酸素、窒素、アルゴン)充填用フレキシブルホースに関する取扱い自主指針」
11/13	【協賛】中国地域 高圧ガス保安大会	メルパルク広島	1) 高圧ガス保安中国四国産業保安監督部長表彰式 2) 記念講演 防災・危機管理ジャーナリスト 渡辺実殿
2020年1/10	【共催】中国地区高圧ガス関係団体合同新春互礼会	ANAクラウンプラザホテル広島	

②中国地域 炭酸ガス保安講習会

3年毎に全国一斉開催の炭酸ガス保安講習会で、受講者からの声(頻繁に最寄り開催希望)に応じ、中国地域本部炭酸ガス技術WGでは、3年前から「中国地域 炭酸ガス保安講習会」を一斉開催の合間に開催しています。

今年度は、上記活動予定のとおり山口会場(周南市)で開催します。

来年度は、岡山会場での開催を予定しています。

③高圧ガス容器管理指針

2014年に岡山県と山口県で制定発行された後、残りの各県にも毎年要請し続け、関係団体とも連携して2016年に広島県、2018年に島根県で各々監修を得て発行されました。

これら4県の高圧ガス容器管理指針は、定時総会や各種行事において配布し、会員ならびに消費者に安全な容器管理を啓発しています。

残り1県だった鳥取県もようやく、2019年8月に監修を得ることができました。

執筆者：中国地域本部 事務局長 高橋 良知



四国地域本部

1. 定時総会

日時：2019年5月16日（木）16:00～18:00

会場：リーガホテルゼスト高松

議 題

第1号議案 平成30年度事業報告及び収支決算
について承認を求める件

第2号議案 令和元年度事業計画（案）及び収支
予算（案）について承認を求める件

報告事項

会員動向について

本部出席者

本部副会長 澁谷 信雄
常務理事 瀬戸 昭則
常務執行役員 岩戸 康人

野村本部長挨拶（要旨）

昨年度の四国地域本部における活動は、高圧ガス保安啓発のために、会員向けには「企業研修会」を医療ガス部門と合同で開催し、一般消費者向けには「高圧ガス保安講習会」を開催しました。

消費先における高圧ガス災害事故状況は、毎年減少していますが、依然として高水準で推移しています。事故原因は多岐にわたりますが、いずれの事象においても誤操作・誤判断によるヒューマンファクターが上位を占めます。このため、消費先において取り扱うガスの特性や機器の使用方法を再確認いただき、JIMGAとしては、これらの事故を発生させないように啓発活動を続けなければなりません。

今年度も保安を確保し、高圧ガス事故を撲滅するために「高圧ガス保安講習会」、「企業研修会」、「JIMGAセミナー」などの開催に加え、会員会社新人の方を対象とした講習会として「高圧ガス製造技術勉強会」の開催を計画しています。

また、高圧ガス容器の長期停滞をなくし不明容器を撲滅するため、RFタグ導入の働きかけを強めます。協会本部と連携を取りながら「RFタグを活用しての容器管理」と「容器使用料契約への取り組み」について、これらのことを後押しするような行事を積極的に推進します。

JIMGA四国地域本部、四国高圧ガス容器管理委員会、四国高圧ガス協議会の三団体の事務局をJIMGA四国地域本部で行っています。高圧ガス保安に関する活動について、三団体の連携を強め、推進していきます。



野村本部長挨拶

澁谷副会長挨拶（要旨）

新年度のJIMGA本部の課題ですが、大方針として、産業ガス部門と医療ガス部門の「部門間の垣根をなくした一体運営」、また、「本部と地域との一体運営」を進めます。その上で、重要な個別課題に取り組みます。

個別課題の1つ目は、「災害対策の充実」です。都道府県との災害時供給協定に関しては、運用マニュアルの策定、見直しを進めます。鳥インフルエンザについては、これまでの処置事例を比較研究し、対策について行政への働きかけを進めます。また、業界のサイバーセキュリティに関する

議論も必要と考えています。

次に、「放置容器撲滅活動の強化」です。本部にて「放置容器撲滅WG」を発足しました。全国における年間放置容器回収本数を50本以下にすることを目標とし、KHK・中央容器管理委員会他、外部団体との連携を強化することで、これまでとは違った実効ある措置の策定などの活動を展開します。

その他の課題としては、「消費税の完全転嫁」、「電力料金上昇の抑制」、「法規制への対応推進」、「広報活動による業界の社会的認知度向上」等に取り組めます。



定時総会の模様

セミナー

議案審議前に、高松国税局課税部消費税課久竹優志国税実査官より、「消費税軽減税率制度について」説明会を開催しました。

懇親会

米田副本部長 乾杯のご発声で懇親会開始
八木副本部長 中締め挨拶にて終了

2. 2019年度活動方針

今年度、四国地域本部における課題の第一は高圧ガスによる事故の撲滅です。そのため会員および一般消費者に対し、業界団体と協力しながら高圧ガス保安に関する啓発を図ります。



澁谷副会長挨拶



米田副本部長懇親会挨拶



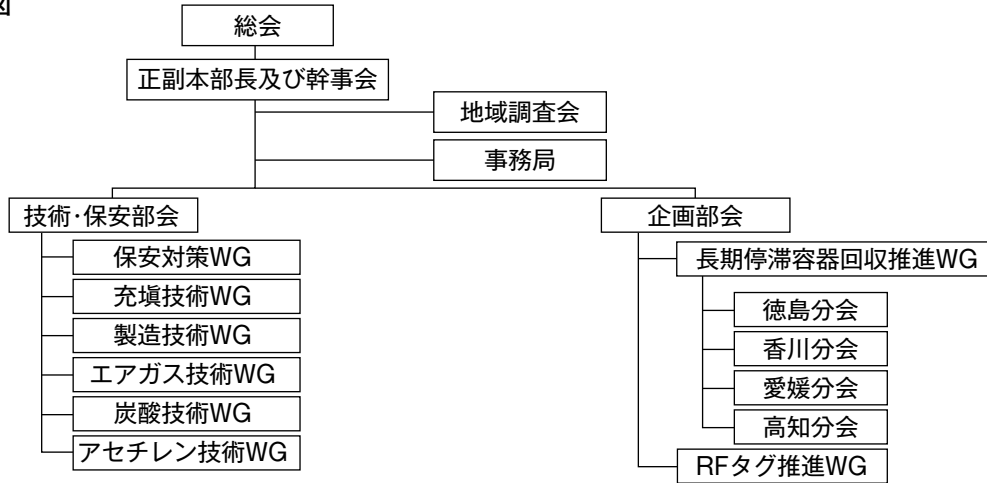
八木副本部長懇親会挨拶

具体的な活動として、消費者向け高圧ガス保安講習会の開催、会員向け高圧ガス勉強会ならびに企業研修会の実施等、高圧ガス保安啓発に努めます。

また、四国地域内で出揃った高圧ガス容器管理

指針の周知を図ることにより、RFタグによる容器管理を推進するとともに、容器使用料について啓発を図ります。そして当地域で高圧ガス事故を撲滅していくため、放置容器、不明容器をなくす活動を継続します。

3. 組織図



4. 役員・部会・WG名簿

役員



本部長
野村 茂
土佐酸素(株)
代表取締役社長



副本部長
大橋 正明
四国アセチレン工業(株)
代表取締役社長



副本部長
平岡 義啓
日本エア・リキード(株)
四国支店 支店長



副本部長
横谷 剛
四国岩谷産業(株)
取締役部長

- 幹事 太田 賀久 高松帝酸(株) 代表取締役社長
- 幹事 越智 滋 中・四国エア・ウォーター(株) 取締役 四国支店長
- 幹事 橋口 朋之 太陽日酸(株) 四国支店長
- 幹事 八木 智雄 四国大陽日酸(株) 代表取締役社長
- 会計監事 一色あをる 大和酸素工業(株) 代表取締役社長

企画部会

◎野村 茂 土佐酸素(株) 代表取締役社長

長期停滞容器回収推進WG

◎大橋 正明 四国アセチレン工業(株) 代表取締役社長
岡崎 靖大 四国大陽日酸(株) 徳島営業所 所長
下津 康弘 四国岩谷産業(株) 坂出工場 工場長
藤原 速人 松山酸素(株) 営業部長
小島 克典 土佐酸素(株) 高知工場 課長代理

RFタグ推進WG

◎横谷 剛 四国岩谷産業(株) 取締役部長
大橋 正明 四国アセチレン工業(株) 代表取締役社長
一色 貴志 大和酸素工業(株) 代表取締役副社長
篠原 和伸 四国大陽日酸(株) 常務取締役技術部長
濱口 健二 土佐酸素(株) 取締役技術部長
齋藤 公司 エヒメ酸素(株) 常務取締役
越智 滋 中・四国エア・ウォーター(株) 取締役 四国支店長
川崎 起樹 高圧ガス工業(株) 岡山工場 次長
加藤 省吾 高松帝酸(株) 製造技術グループ 課長代理

技術・保安部会

部会長 平岡 義啓 日本エア・リキード(株) 四国支店 支店長

保安対策WG

◎中田 竜一 四国岩谷産業(株) 担当技術部長
吉口 庸介 エア・ウォーター炭酸(株) 大阪支店
篠原 和伸 四国大陽日酸(株) 常務取締役技術部長
熊本 佳史 大陽日酸(株) 中四国支社 課長
加藤 省吾 高松帝酸(株) 製造技術グループ 課長代理
松本 郁磨 昭和電工ガスプロダクツ(株) 西日本支店 中・四国営業所
小林 統 日本液炭(株) 中四国支社 課長
古田 正彦 日本エア・リキード(株) 西日本エンジニアリング部 中四国グループ マネージャー
吉井 英世 小池酸素工業(株) 四国営業所 所長
川崎 起樹 高圧ガス工業(株) 岡山工場 次長

充填技術WG

◎濱口 健二 土佐酸素(株) 取締役技術部長
一色 貴志 大和酸素工業(株) 代表取締役副社長
住吉 直人 中・四国エア・ウォーター(株) 四国支店 工場長
樋笠 和樹 四国アセチレン工業(株) 製造部門長
佐伯 陽三 (株)東予ガスセンター センター長代理
片山 昌也 エヒメ酸素(株) 係長

製造技術WG

- ◎三宅 新一 四国液酸(株) 常務取締役
 澤原 雅行 松山オキシトン(株) 工場長
 大黒 幸洋 住化高純度ガス(有) 製造課長

エアガス技術WG

- ◎澤原 雅行 松山オキシトン(株) 工場長

炭酸技術WG

- ◎吉口 庸介 エア・ウォーター炭酸(株) 大阪支店 広島出張所 所長

アセチレン技術WG

- ◎樋笠 和樹 四国アセチレン工業(株) 製造部門長

5. 活動報告 (2019年2月～2019年7月)

日付	行事名称	場所	行事概要
2/8	平成30年度第4回 技術・保安部会	四国地域本部	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会講師勉強会について ・平成30年度講習会等の報告 ・来年度の講習会・企業研修会について ・JIMGA表彰について
2/21	平成30年度第2回 長期停滞容器回収WG会議	ホテル パールガーデン	<ul style="list-style-type: none"> ・香川県からの容器管理指針(案)の確認 ・四国四県での高圧ガス容器特別回収月間の結果報告 ・不明容器処理状況について
2/21	平成30年度 三団体会議	ホテル パールガーデン	四国高圧ガス協議会 役員 四国容器管理委員会 役員 JIMGA産業ガス部門 役員 三団体の役員出席 <ul style="list-style-type: none"> ・四国四県での高圧ガス容器特別回収月間の結果報告 ・不明容器処理状況について ・RFタグの普及状況について
3/14	平成30年度第4回 合同幹事会	ホテル パールガーデン	<ul style="list-style-type: none"> ・JIMGA表彰について ・来年度の行事日程について ・その他報告事項
4/25	平成31年度第1回 合同幹事会	高松国際ホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・定時総会について 産業ガス部門議案書の事前審議 ・その他報告事項
5/10	令和元年度第1回 技術・保安部会	四国地域本部	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度活動計画について 講習会・研修会の検討 ・部会WGメンバー確認並びに会議日程調整
6/6	令和元年度第1回 正副本部長会	四国地域本部	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度四国地域本部 定時総会議事録の確認 ・その他報告事項
7/5	令和元年度第2回 技術・保安部会	ホテル アネシス瀬戸大橋	<ul style="list-style-type: none"> ・保安講習会・企業研修会について ・JIMGA保安セミナーについて ・高圧ガス基礎講習会講演資料の確認

6. 四国地域本部トピックス

(1) 今後の活動予定

日付	行事名称 (時間)	場所	行事概要
8/29	高圧ガス基礎講習会 (10:30 ~ 12:00)	ホテルパール ガーデン(高松市)	会員会社の新入社員や若手社員に加え、高圧ガス知識の再確認を考えているベテラン社員を対象としたセミナー
8/29	JIMGA保安セミナー (13:00 ~ 16:30)	ホテルパール ガーデン(高松市)	<ul style="list-style-type: none">・安全統計資料、ヒヤリハット事件事例から学ぶ保安・CE設置事業所およびローリ運行事業所関連基準・CE附属品の取扱い(液面計、真空附属品)
11/7	第18回高圧ガス保安講習会 (13:00 ~ 16:00)	ホテルパール ガーデン(高松市)	<ul style="list-style-type: none">・高圧ガスの正しい知識と取扱い・高圧ガスの事件事例

(2) その他

愛媛県との特定家畜伝染病発生時における炭酸ガスの供給に関する協定の締結に向けて、調整を行っています。

執筆者：四国地域本部 事務局長 陶山 和紀



九州地域本部

1. 定時総会

日時：2019年5月24日（金）15:15～16:00

会場：オリエンタルホテル福岡

議題

第1号議案 平成30年度事業報告及び収支報告の件

第2号議案 令和元年度事業計画（案）及び予算（案）の件

報告事項 MGR制度適用拡大に関して

本部出席者

副会長 矢原 史朗

専務理事 加藤 尚嗣

常務理事 瀬戸 昭則

栗下本部長挨拶（要旨）

昨年度は産業及び医療の講習会を計4回開催し、679名の方に受講いただきました。一昨年は530名、約1.3倍の受講者数となりました。その内の約8割弱が毎年開催県を動かしての医療関連の講習会のご出席者で、その中でも医療従事者の方々のご出席が増え続けています。これは講習会の認知度の向上の表れであり、大きな意義を持つものと思っています。

今年2月のガス別販売量の統計が出ました。酸素の前年同月比は3ヶ月連続のマイナスで全国平均93.4%、九州沖縄では92.6%、前月比全国平均93%に対し九州沖縄は83.3%という厳しい数字でした。酸素の出荷量で全ての景気を押し量ることはできませんが、ただ、実感として感じるのやはり酸素の出荷量であると思っています。

景気が良いと、設備メンテ、老朽化対策は「今忙しいからその内に」と後回しされ、仕事量が減ると「予算がないから来期」という具合に、ガス

の周辺に関して目先の増産や緊急処置以外は手は掛けられないというのが続いていたと思います。今のこういう言わば踊り場的な環境の時に、ガス使用環境の見直し、メンテ提案の活動が、ひいては災害予防、事故ゼロ化に繋がります。時代は令和に移りますが、災害事故ゼロの大目標は変わりません。

九州地域本部では、今年度も講習会の開催と放置容器回収強化を中心に活動します。また、今年度の講習会出席者の目標は10%アップの750名です。尚一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

矢原副会長挨拶（要旨）

新年度のJIMGA本部の課題は、大方針として、産業ガス部門と医療ガス部門の「部門間の垣根をなくした一体運営」、「本部と地域との一体運営」を進め、その上で重要な個別課題、「災害対策の充実」と「放置容器撲滅活動の強化」に取り組むことを考えています。

災害時供給協定に関して、運用マニュアルの策定または見直しを、鳥インフルエンザ対策については行政への働きかけを進め、また、業界のサイバーセキュリティに関する議論も必要と考えています。

「放置容器撲滅WG」を本部に発足し、最終目標は、全国年間放置容器回収本数50本以下です。回収が促進される仕組みの構築、他団体との連携の強化、実効ある措置の策定などの活動を展開します。その他、「消費税の完全転嫁」、「電力料金上昇の抑制」、「法規制への対応推進」、「広報活動による業界の社会的認知度向上」に取り組みます。

懇親会

総会終了後16時15分から98名の参加者のもと懇親会を開催。来賓の紹介、挨拶の後和やかに懇親が続き、17時30分に終了した。

来賓：

九州産業保安監督部

部長 新井 憲一 殿

保安課長 小串 昌則 殿

保安課課長補佐 貞富 司 殿

福岡県商工部工業保安課

課長 上野 孝徳 殿

技術補佐兼高圧ガス電気係長 小齊平 和良 殿

高圧ガス電気係技術主査 古海 貴陽 殿

福岡県保健医療介護部薬務課

課長 上田 修 殿

生産指導係長 田尻 興保 殿

高圧ガス保安協会九州支部

事務局長 赤時 孝治 殿

(一社)福岡県高圧ガス保安協会

事務局長 森高 徹 殿



栗下前本部長挨拶



総会風景

懇親会次第

来賓挨拶 九州産業保安監督部長 新井憲一殿

乾杯挨拶 医療ガス部門 福田副本部長

中締め挨拶 産業ガス部門 道志副本部長

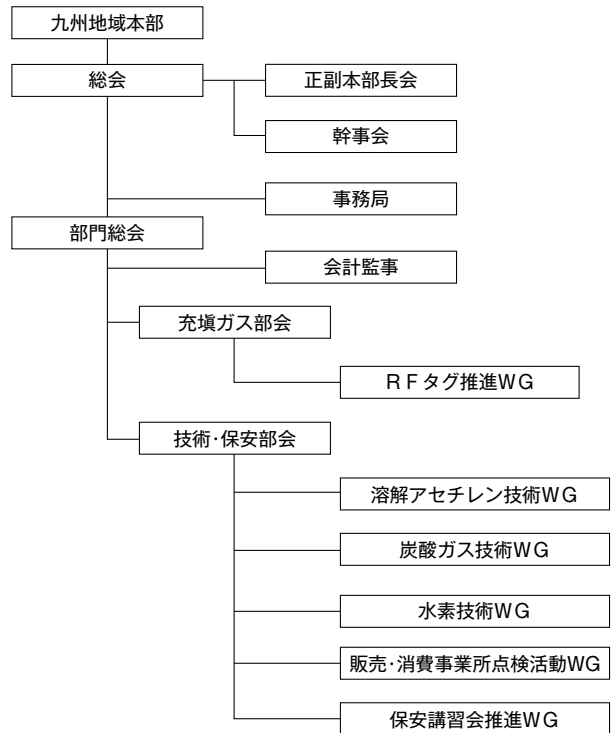


九州産業保安監督部新井部長の来賓のご挨拶

2. 2019年度活動方針

- (1) JIMGA本部、関係団体、行政関係部署との
保安連携推進
- (2) 本部活動状況、行政動向等 会員向け情報
発信の迅速化と充実
- (3) 災害時対策・対応の強化
- (4) 消費税の完全転嫁 JIMGA方針の周知徹底
- (5) 放置容器・不明容器の撲滅活動と容器管理
委員会の体制強化

3. 組織図



4. 役員・部会・WG名簿 役員



本部長

相田 智之
大陽日酸(株)
九州支社長



副本部長

道志 年章
九州エア・ウォーター(株)
代表取締役社長



副本部長

弓削 善紀
日本エア・リキード(株)
九州統括本部 営業推進部
部長

幹事	宮嶋 寛幸	福豊帝酸(株)	代表取締役社長
幹事	床本 浩二	岩谷産業(株)	上席執行役員 九州支社 支社長
幹事	福田 寛一	福岡酸素(株)	代表取締役社長
幹事	柳谷 敏明	西日本高圧瓦斯(株)	代表取締役社長
幹事	磯田 光功	高圧ガス工業(株)	執行役員九州地区長
幹事	江藤 伸一	江藤酸素(株)	代表取締役会長
幹事	吉田 浩之	日本液炭(株)	執行役員 九州支社長
幹事	大坂 耕示	福岡酸素(株)	伊万里支社 支社長
幹事	山崎 俊隆	(株)武田商事	代表取締役社長
幹事	今川 敬志	内村酸素(株)	代表取締役社長
幹事	江藤 佳史	江藤酸素(株)	代表取締役社長

幹事 岩切 充弘 宮崎酸素(株) 代表取締役社長
幹事 内村 武志 サツマ酸素工業(株) 代表取締役社長
幹事 與儀 盛輝 (株)オカノ 代表取締役社長
会計監事 福田愛二郎 (株)キフネ 代表取締役社長
会計監事 川崎 兼二 岩谷瓦斯(株) 取締役 ガス事業部 西日本事業所長

充填ガス部会

◎宮嶋 寛幸 福豊帝酸(株) 代表取締役社長
○杉谷 英範 (株)朝日酸素商会 代表取締役社長
大坂 耕示 福岡酸素(株) 伊万里支社 支社長
光武 輝臣 (株)武田商事 ガス事業部 次長
石橋 猛 内村酸素(株) 有明事業所 製造課 課長
川邊 信司 江藤酸素(株) ブロック長代理工場長 製造部長
岩切 英教 宮崎酸素(株) 専務取締役
米重 義男 サツマ酸素工業(株) 取締役部長
金城 優典 (株)オカノ 取締役

RFタグ推進WG

◎宮嶋 寛幸 福豊帝酸(株) 代表取締役社長
杉谷 英範 (株)朝日酸素商会 代表取締役社長
小林 裕 岩谷産業(株) 九州支社 産業ガス部長
東 成政 九州エア・ウォーター(株) 取締役製造技術部長
荒木 邦雄 高圧ガス工業(株) 小倉工場 工場長
塚田 幹太 大陽日酸(株) 九州支社 技術部長
鈴木 浩平 西日本高圧瓦斯(株) 取締役生産部長
神谷 利男 日本液炭(株) 九州支社 技術サービス課長
深堀 慎一 福岡酸素(株) 業務部 係長
大坂 耕示 福岡酸素(株) 伊万里支社 支社長
高尾正太郎 (株)武田商事 総務部長
伊集院宏之 内村酸素(株) ガス業務部 課長
川邊 信司 江藤酸素(株) ブロック長代理工場長 製造部長
岩切 英教 宮崎酸素(株) 専務取締役
米重 義男 サツマ酸素工業(株) 取締役部長
金城 優典 (株)オカノ 取締役

技術・保安部会

◎道志 年章 九州エア・ウォーター(株) 代表取締役社長
長家 茂 福岡酸素(株) 取締役技術統轄部長
塚田 幹太 大陽日酸(株) 九州支社 技術部長
山口 和美 日本エア・リキード(株) 技術統括部 西日本エンジニアリング部長
荒木 邦雄 高圧ガス工業(株) 小倉工場 工場長
森 洋之介 岩谷産業(株) 九州支社 環境保安部シニアマネージャー
鈴木 浩平 西日本高圧瓦斯(株) 取締役生産部長
神谷 利男 日本液炭(株) 九州支社 技術サービス課長
大村 利美 福豊帝酸(株) 代表取締役副社長 営業本部長

大坂 耕示 福岡酸素(株) 伊万里支社 支社長
 佐々木健一 (株)武田商事 ガス事業部技術保安課 課長
 朝熊 真一 内村酸素(株) 嘉島事業所 製造課 課長
 川邊 信司 江藤酸素(株) ブロック長代理工場長 製造部長
 繁昌 友和 宮崎酸素(株) 製造部 製造課長
 米重 義男 サツマ酸素工業(株) 取締役部長
 諸喜田 隆 (株)オカノ 常務取締役

溶解アセチレン技術WG

◎荒木 邦雄 高圧ガス工業(株) 小倉工場 工場長
 森 洋之介 岩谷産業(株) 九州支社 環境保安部シニアマネージャー
 田坂 友成 岩谷瓦斯(株) ガス事業部 西日本事業部 北九州工場長
 川邊 信司 江藤酸素(株) ブロック長代理工場長 製造部長
 翁長 健 (株)おきさん 常務取締役
 塚田 幹太 大陽日酸(株) 九州支社 技術部長
 小柳 直 西日本高圧瓦斯(株) ガス関連事業部部長

炭酸ガス技術WG

◎神谷 利男 日本液炭(株) 九州支社 技術サービス課長
 森 洋之介 岩谷産業(株) 九州支社 環境保安部シニアマネージャー
 濱田 聖二 エア・ウォーター炭酸(株) 営業部 福岡支店 主任
 翁長 健 (株)おきさん 常務取締役
 村田 眞信 昭和電工ガスプロダクツ(株) 九州支店 主事
 田中 伸一 福岡酸素(株) 保安管理部 課長

水素技術WG

◎古賀 和哉 岩谷瓦斯(株) ガス事業部 西日本事業所 佐賀工場長
 千々和 徹 伊藤忠工業ガス(株) 水素業務課長
 森 洋之介 岩谷産業(株) 九州支社 環境保安部シニアマネージャー
 安部 勝好 昭和電工(株) 福岡支店長
 舟橋 和生 新日鉄住金化学(株) ガス部 マネージャー
 塚田 幹太 大陽日酸(株) 九州支社 技術部長
 山口 和美 日本エア・リキード(株) 技術統括部 西日本エンジニアリング部長
 立川 博康 福岡酸素(株) ガスエンジニアリング部 部長

5. 活動報告（2019年2月～7月）

日付	行事名称	場所	行事概要
3/7	第二回充填ガス・技術保安部会合同会議	TKPガーデンシティ博多	本部活動報告並びに地域本部活動報告
3/15	第二回産業ガス部門・医療ガス部門合同幹事会	TKPガーデンシティ博多	令和元年度定時総会議案書（案）審議他
5/24	特別セミナー 「食品添加物である産業ガスの軽減税率、補助金制度について」	オリエンタルホテル福岡	講師：福岡国税局 課税第二部 消費税課 軽減税率制度係 国税実査官 永渕哲也 様 受講者：103名 内容：消費税軽減税率制度の基本的な部分から軽減税率対策補助金制度に関することまで、配布資料やQ&Aをもとにした説明
5/24	産業・医療ガス部門 統一定時総会	オリエンタルホテル福岡	令和元年度定時総会
7/19	第一回充填ガス・技術保安部会合同会議	TKPガーデンシティ博多	地域本部より本部本年度方針・計画を説明、また地域本部の活動報告・計画と事故事例等報告並びに意見交換を実施

6. 九州地域本部トピックス

今後の活動予定

日付	行事名称	場所
10/30	第一回合同幹事会 今井会長・本部役員合同懇談会	TKPガーデンシティ博多
11/22	第50回九州高圧ガス大会	ANAクラウンプラザホテル福岡
1/7	高圧ガス保安三団体賀詞交歓会	オリエンタルホテル福岡
2/14	第二回充填ガス・技術保安部会合同会議	TKPガーデンシティ博多
2/26	産業ガス保安セミナー	福岡県中小企業振興センター
3/13	第二回合同幹事会	TKPガーデンシティ博多

執筆者：九州地域本部 事務局長 高石 亮太郎



統計データ一覧

2014年～2018年 地区別酸素（一般）販売実績推移表……………	115
2014年～2018年 地区別窒素（一般）販売実績推移表……………	116
2014年～2018年 地区別アルゴン（一般）販売実績推移表……………	117
業種別酸素（一般）販売実績推移表（5年間：2014年度～2018年度） ……	118
業種別窒素（一般）販売実績推移表（5年間：2014年度～2018年度） ……	119
業種別アルゴン（一般）販売実績推移表（5年間：2014年度～2018年度） ……	120
2018年4月～2019年3月 地区別酸素生産・販売実績表 ……	121
2018年4月～2019年3月 酸素生産量・一般販売実績推移グラフ ……	121
2018年4月～2019年3月 地区別窒素生産・販売実績表 ……	122
2018年4月～2019年3月 窒素生産量・一般販売実績推移グラフ ……	122
2018年4月～2019年3月 地区別アルゴン生産・販売実績表 ……	123
2018年4月～2019年3月 アルゴン生産量・一般販売実績推移グラフ ……	123
2014年度～2018年度 溶解アセチレン生産・販売実績表……………	124
2014年度～2018年度 液化炭酸ガス工場出荷・用途別販売実績推移表……………	124
2014年～2018年 主要半導体材料ガス等国内販売実績推移表……………	125
2014年～2018年 標準ガス国内販売実績推移表……………	126
2014年～2018年 圧縮水素出荷実績推移表……………	126

2014年～2018年 地区別酸素（一般）販売実績推移表

単位：千m³

地区別	西暦	液化酸素	前年比	パイピング	前年比	ボンベ詰	前年比	合計	対前年比
北海道	2014	14,276	98%	6,679	90%	4,362	99%	25,317	96%
	2015	13,353	94%	5,836	87%	4,378	100%	23,567	93%
	2016	12,866	96%	5,824	100%	4,275	98%	22,965	97%
	2017	12,685	99%	5,908	101%	4,177	98%	22,770	99%
	2018	12,736	100%	5,806	98%	4,151	99%	22,693	100%
東北	2014	47,009	102%	81,471	94%	1,922	94%	130,402	97%
	2015	44,431	95%	77,886	96%	1,771	92%	124,088	95%
	2016	48,051	108%	80,820	104%	1,800	102%	130,671	105%
	2017	48,971	102%	75,540	93%	1,791	100%	126,302	97%
	2018	48,094	98%	83,584	111%	1,635	91%	133,313	106%
関東	2014	219,448	97%	287,227	102%	9,407	101%	516,082	99%
	2015	206,920	94%	245,602	86%	8,634	92%	461,156	89%
	2016	189,395	92%	212,611	87%	8,305	96%	410,311	89%
	2017	193,489	102%	214,343	101%	8,400	101%	416,232	101%
	2018	186,323	96%	229,544	107%	7,967	95%	423,834	102%
東海	2014	142,018	105%	181,708	100%	3,234	97%	326,960	102%
	2015	141,765	100%	187,226	103%	2,768	86%	331,759	101%
	2016	141,225	100%	184,436	99%	2,552	92%	328,213	99%
	2017	147,528	104%	199,734	108%	2,468	97%	349,730	107%
	2018	142,166	96%	199,438	100%	2,347	95%	343,951	98%
近畿	2014	197,082	100%	135,618	100%	4,300	88%	337,000	100%
	2015	178,791	91%	123,269	91%	3,822	89%	305,882	91%
	2016	172,174	96%	124,722	101%	2,790	73%	299,686	98%
	2017	180,275	105%	130,775	105%	2,530	91%	313,580	105%
	2018	173,400	96%	109,214	84%	2,484	98%	285,098	91%
中国	2014	67,249	106%	169,715	123%	2,856	93%	239,820	117%
	2015	61,032	91%	136,490	80%	2,839	99%	200,361	84%
	2016	59,829	98%	136,646	100%	2,606	92%	199,081	99%
	2017	57,176	96%	141,554	104%	2,504	96%	201,234	101%
	2018	60,088	105%	157,303	111%	2,413	96%	219,804	109%
四国	2014	32,263	109%	-	-	2,080	102%	34,343	109%
	2015	30,054	93%	-	-	1,962	94%	32,016	93%
	2016	33,153	110%	-	-	1,982	101%	35,135	110%
	2017	27,870	84%	-	-	2,117	107%	29,987	85%
	2018	23,712	85%	-	-	2,064	97%	25,776	86%
九州	2014	76,169	93%	94,806	110%	1,818	108%	172,793	101%
	2015	76,344	100%	87,209	92%	1,942	107%	165,495	96%
	2016	76,458	100%	90,621	104%	1,805	93%	168,884	102%
	2017	73,658	96%	92,150	102%	1,851	103%	167,659	99%
	2018	65,342	89%	94,822	103%	1,878	101%	162,042	97%
合計	2014	795,514	100%	957,224	104%	29,979	97%	1,782,717	102%
	2015	752,690	95%	863,518	90%	28,116	94%	1,644,324	92%
	2016	733,151	97%	835,680	97%	26,115	93%	1,594,946	97%
	2017	741,652	101%	860,004	103%	25,838	99%	1,627,494	102%
	2018	711,861	96%	879,711	102%	24,939	97%	1,616,511	99%

2014年～2018年 地区別窒素（一般）販売実績推移表

単位：千㎡

地区別	西暦	液化窒素	前年比	パイピング	前年比	ポンベ詰	前年比	合計	対前年比
北海道	2014	41,735	116%	21,422	91%	1,134	94%	64,291	106%
	2015	36,855	88%	16,241	76%	1,057	93%	54,153	84%
	2016	37,018	100%	16,051	99%	1,116	106%	54,185	100%
	2017	36,977	100%	16,378	102%	1,132	101%	54,487	101%
	2018	38,372	104%	15,961	97%	1,113	98%	55,446	102%
東北	2014	167,179	103%	33,284	95%	1,205	97%	201,668	101%
	2015	165,570	99%	33,716	101%	1,175	98%	200,461	99%
	2016	186,455	113%	33,992	101%	1,183	101%	221,630	111%
	2017	177,271	95%	33,204	98%	1,132	96%	211,607	95%
	2018	171,648	97%	35,302	106%	1,053	93%	208,003	98%
関東	2014	810,198	103%	876,043	98%	5,035	90%	1,691,276	100%
	2015	799,540	99%	825,424	94%	4,707	93%	1,629,671	96%
	2016	782,407	98%	775,284	94%	4,714	100%	1,562,405	96%
	2017	791,637	101%	806,378	104%	4,810	102%	1,602,825	103%
	2018	783,221	99%	813,905	101%	4,905	102%	1,602,031	100%
東海	2014	448,465	99%	341,681	100%	1,900	102%	792,046	100%
	2015	440,402	98%	297,111	87%	1,841	97%	739,354	93%
	2016	442,807	101%	274,200	92%	1,922	104%	718,929	97%
	2017	448,619	101%	298,593	109%	2,034	106%	749,246	104%
	2018	446,996	100%	312,348	105%	2,167	107%	761,511	102%
近畿	2014	358,765	102%	328,856	95%	2,504	92%	690,125	99%
	2015	360,143	100%	310,214	94%	2,320	93%	672,677	97%
	2016	369,905	103%	317,635	102%	1,769	76%	689,309	102%
	2017	377,744	102%	321,709	101%	1,569	89%	701,022	102%
	2018	386,154	102%	319,542	99%	1,666	106%	707,362	101%
中国	2014	119,079	101%	494,941	99%	979	110%	614,999	99%
	2015	105,433	89%	473,024	96%	889	91%	579,346	94%
	2016	100,870	96%	491,190	104%	1,071	120%	593,131	102%
	2017	104,654	104%	501,125	102%	967	90%	606,746	102%
	2018	107,193	102%	522,123	104%	1,056	109%	630,372	104%
四国	2014	41,687	100%	67,609	111%	565	103%	109,861	107%
	2015	34,544	83%	67,520	100%	565	100%	102,629	93%
	2016	36,673	106%	76,302	113%	548	97%	113,523	111%
	2017	36,698	100%	69,441	91%	569	104%	106,708	94%
	2018	38,582	105%	65,453	94%	620	109%	104,655	98%
九州	2014	161,555	109%	131,126	112%	773	106%	293,454	111%
	2015	148,670	92%	125,328	96%	734	95%	274,732	94%
	2016	157,426	106%	122,896	98%	751	102%	281,073	102%
	2017	158,738	101%	126,083	103%	703	94%	285,524	102%
	2018	156,963	99%	135,280	107%	680	97%	292,923	103%
合計	2014	2,148,663	103%	2,294,962	99%	14,095	95%	4,457,720	101%
	2015	2,091,157	97%	2,148,578	94%	13,298	94%	4,253,033	95%
	2016	2,113,561	101%	2,107,550	98%	13,074	98%	4,234,185	100%
	2017	2,132,338	101%	2,172,911	103%	12,916	99%	4,318,165	102%
	2018	2,129,129	100%	2,219,914	102%	13,260	103%	4,362,303	101%

2014年～2018年 地区別アルゴン（一般）販売実績推移表

単位：千m³

地区別	西暦	液化アルゴン	前年比	パイピング	前年比	ボンベ詰	前年比	合計	対前年比
北海道	2014	2,669	106%	-	-	533	108%	3,202	106%
	2015	2,629	99%	-	-	530	99%	3,159	99%
	2016	2,580	98%	-	-	531	100%	3,111	98%
	2017	2,626	102%	-	-	683	129%	3,309	106%
	2018	2,573	98%	-	-	712	104%	3,285	99%
東北	2014	18,294	101%	-	-	788	110%	19,082	101%
	2015	18,404	101%	-	-	730	93%	19,134	100%
	2016	19,275	105%	-	-	691	95%	19,966	104%
	2017	20,548	107%	-	-	770	111%	21,318	107%
	2018	24,199	118%	-	-	721	94%	24,920	117%
関東	2014	49,524	104%	-	-	2,465	104%	51,989	104%
	2015	46,238	93%	-	-	2,354	95%	48,592	93%
	2016	47,601	103%	-	-	2,176	92%	49,777	102%
	2017	48,974	103%	-	-	2,230	102%	51,204	103%
	2018	48,745	100%	-	-	2,399	108%	51,144	100%
東海	2014	44,711	103%	-	-	1,391	107%	46,102	103%
	2015	42,982	96%	-	-	1,260	91%	44,242	96%
	2016	44,003	102%	-	-	1,164	92%	45,167	102%
	2017	49,320	112%	-	-	1,157	99%	50,477	112%
	2018	52,056	106%	-	-	1,134	98%	53,190	105%
近畿	2014	35,510	102%	-	-	1,492	109%	37,002	102%
	2015	31,021	87%	-	-	1,424	95%	32,445	88%
	2016	30,205	97%	-	-	1,227	86%	31,432	97%
	2017	30,255	100%	-	-	1,106	90%	31,361	100%
	2018	31,121	103%	-	-	1,045	94%	32,166	103%
中国	2014	12,343	107%	-	-	859	127%	13,202	108%
	2015	11,446	93%	-	-	698	81%	12,144	92%
	2016	11,521	101%	-	-	696	100%	12,217	101%
	2017	11,922	103%	-	-	750	108%	12,672	104%
	2018	12,336	103%	-	-	723	96%	13,059	103%
四国	2014	5,256	124%	-	-	515	107%	5,771	122%
	2015	4,981	95%	-	-	483	94%	5,464	95%
	2016	5,124	103%	-	-	450	93%	5,574	102%
	2017	5,190	101%	-	-	477	106%	5,667	102%
	2018	5,118	99%	-	-	514	108%	5,632	99%
九州	2014	19,852	116%	-	-	775	117%	20,627	116%
	2015	22,422	113%	-	-	698	90%	23,120	112%
	2016	22,361	100%	-	-	720	103%	23,081	100%
	2017	24,382	109%	-	-	703	98%	25,085	109%
	2018	26,349	108%	-	-	674	96%	27,023	108%
合計	2014	188,159	105%	-	-	8,818	109%	196,977	105%
	2015	180,123	96%	-	-	8,177	93%	188,300	96%
	2016	182,670	101%	-	-	7,655	94%	190,325	101%
	2017	193,217	106%	-	-	7,876	103%	201,093	106%
	2018	202,497	105%	-	-	7,922	101%	210,419	105%

業種別酸素（一般）販売実績推移表 (5年間：2014年度～2018年度)

単位：千㎡

業種別	年度	液化酸素	構成比	パイピング	構成比	ポンベ詰	構成比	合計	構成比
鉄鋼業 (非鉄金属製造業を含む)	2014	165,690	21%	382,942	41%	1,243	5%	549,875	31%
	2015	172,984	23%	343,434	40%	1,231	5%	517,649	32%
	2016	176,448	23%	348,860	40%	1,089	5%	526,397	32%
	2017	179,053	24%	392,209	45%	994	5%	572,256	35%
	2018	179,257	24%	401,774	46%	1,003	5%	582,034	36%
輸送用機械器具製造業	2014	50,815	6%	-	-	459	2%	51,274	3%
	2015	46,746	6%	-	-	560	2%	47,306	3%
	2016	50,089	7%	-	-	492	2%	50,581	3%
	2017	45,966	6%	-	-	477	2%	46,443	3%
	2018	42,870	6%	-	-	482	2%	43,352	3%
機械器具製造業 (輸送用機械器具製造業を除く)	2014	70,525	9%	15	0%	563	2%	71,103	4%
	2015	72,212	9%	17	0%	569	2%	72,798	4%
	2016	73,251	10%	17	0%	513	2%	73,781	4%
	2017	73,897	10%	2	0%	503	2%	74,402	5%
	2018	74,667	10%	0	0%	639	3%	75,306	5%
金属製品製造業	2014	48,618	6%	14,655	2%	772	3%	64,045	4%
	2015	43,454	6%	36,069	4%	853	4%	80,376	5%
	2016	42,693	6%	29,296	3%	836	4%	72,825	4%
	2017	44,018	6%	18,452	2%	809	4%	63,279	4%
	2018	44,167	6%	14,338	2%	802	4%	59,307	4%
化学工業	2014	51,394	7%	505,644	53%	317	1%	557,355	32%
	2015	57,624	8%	418,808	49%	445	2%	476,877	29%
	2016	54,980	7%	424,580	49%	469	2%	480,029	29%
	2017	60,020	8%	408,583	46%	330	2%	468,933	29%
	2018	59,720	8%	422,732	48%	273	1%	482,725	30%
販売業者向け	2014	137,644	17%	-	-	14,128	58%	151,772	9%
	2015	129,141	17%	-	-	11,899	49%	141,040	9%
	2016	149,011	20%	-	-	10,489	46%	159,500	10%
	2017	144,734	19%	-	-	10,504	48%	155,238	9%
	2018	137,590	19%	-	-	10,139	46%	147,729	9%
その他	2014	266,122	34%	39,153	4%	6,790	28%	312,065	18%
	2015	241,491	32%	51,557	6%	8,616	36%	301,664	18%
	2016	210,210	28%	61,345	7%	8,767	39%	280,322	17%
	2017	199,382	27%	50,764	6%	8,636	40%	258,782	16%
	2018	195,618	27%	40,290	5%	8,474	39%	244,382	15%
合計	2014	790,808	101%	942,409	100%	24,272	95%	1,757,489	100%
	2015	763,652	97%	849,885	90%	24,173	100%	1,637,710	93%
	2016	756,682	99%	864,098	102%	22,655	94%	1,643,435	100%
	2017	747,070	99%	870,010	101%	22,253	98%	1,639,333	100%
	2018	733,889	98%	879,134	101%	21,812	98%	1,634,835	100%

* 合計欄の構成比は対前年比

業種別窒素（一般）販売実績推移表 (5年間：2014年度～2018年度)

単位：千m³

業 種 別	年度	液化窒素	構成比	パイピング	構成比	ボンベ詰	構成比	合 計	構成比
鉄 鋼 業 (非鉄金属製造業を含む)	2014	135,390	6%	162,667	7%	427	3%	298,484	7%
	2015	131,623	6%	170,607	8%	336	3%	302,566	7%
	2016	135,726	6%	182,294	8%	332	3%	318,352	7%
	2017	136,641	6%	193,476	9%	332	3%	330,449	8%
	2018	137,352	6%	201,002	9%	353	3%	338,707	8%
輸送用機械器具製造業	2014	151,549	7%	11,781	1%	459	4%	163,789	4%
	2015	150,708	7%	12,736	1%	382	3%	163,826	4%
	2016	148,945	7%	11,658	1%	367	3%	160,970	4%
	2017	137,847	6%	13,530	1%	380	3%	151,757	3%
	2018	134,677	6%	13,888	1%	379	3%	148,944	3%
電気機械器具製造業	2014	592,287	28%	432,497	20%	1,225	10%	1,026,009	24%
	2015	556,499	26%	470,711	22%	1,121	10%	1,028,331	24%
	2016	558,451	26%	497,264	23%	1,084	10%	1,056,799	25%
	2017	556,099	26%	543,909	24%	1,094	9%	1,101,102	25%
	2018	549,962	25%	548,972	24%	1,244	11%	1,100,178	25%
機械器具製造業 (輸送用、電気機械器具製造業を除く)	2014	133,901	6%	858	0%	821	7%	135,580	3%
	2015	132,905	6%	720	0%	664	6%	134,289	3%
	2016	138,668	6%	-	-	605	5%	139,273	3%
	2017	152,008	7%	-	-	561	5%	152,569	3%
	2018	160,325	7%	-	-	589	5%	160,914	4%
化学工業	2014	414,938	20%	1,377,417	62%	1,013	8%	1,793,368	41%
	2015	394,777	19%	1,304,317	61%	984	8%	1,700,078	40%
	2016	382,226	18%	1,277,304	59%	1,095	10%	1,660,625	39%
	2017	388,874	18%	1,310,626	59%	994	8%	1,700,494	39%
	2018	417,841	19%	1,327,856	58%	1,095	9%	1,746,792	39%
食品製造業	2014	139,305	7%	-	-	327	3%	139,632	3%
	2015	172,946	8%	-	-	325	3%	173,271	4%
	2016	169,976	8%	-	-	314	3%	170,290	4%
	2017	164,197	8%	-	-	953	8%	165,150	4%
	2018	157,104	7%	-	-	353	3%	157,457	4%
販売業者向け	2014	185,254	9%	102,876	5%	5,910	48%	294,040	7%
	2015	190,372	9%	110,714	5%	5,583	48%	306,669	7%
	2016	193,690	9%	116,275	5%	5,056	46%	315,021	7%
	2017	194,692	9%	114,939	5%	5,174	44%	314,805	7%
	2018	204,356	9%	120,822	5%	5,351	46%	330,529	7%
そ の 他	2014	347,856	17%	129,051	6%	2,170	18%	479,077	11%
	2015	389,943	18%	66,440	3%	2,208	19%	458,591	11%
	2016	417,212	19%	63,827	3%	2,189	20%	483,228	11%
	2017	423,474	20%	61,282	3%	2,267	19%	487,023	11%
	2018	438,354	20%	58,583	3%	2,238	19%	499,175	11%
合 計	2014	2,100,480	102%	2,217,147	97%	12,352	96%	4,329,979	99%
	2015	2,119,773	101%	2,136,245	96%	11,603	94%	4,267,621	99%
	2016	2,144,894	101%	2,148,622	101%	11,042	95%	4,304,558	101%
	2017	2,153,832	100%	2,237,762	104%	11,755	106%	4,403,349	102%
	2018	2,199,971	102%	2,271,123	101%	11,602	99%	4,482,696	102%

* 合計欄の構成比は対前年比

業種別アルゴン（一般）販売実績推移表 (5年間：2014年度～2018年度)

単位：千m³

業 種 別	年度	液化アルゴン	構成比	パイピング	構成比	ボンベ詰	構成比	合 計	構成比
鉄 鋼 業 (非鉄金属製造業を含む)	2014	57,156	31%	-	-	1,095	15%	58,251	31%
	2015	56,731	31%	-	-	941	13%	57,672	30%
	2016	55,042	30%	-	-	922	13%	55,964	30%
	2017	56,062	29%	-	-	1,036	14%	57,098	28%
	2018	57,447	28%	-	-	1,016	13%	58,463	28%
輸送用機械器具製造業	2014	21,756	12%	-	-	483	7%	22,239	12%
	2015	19,595	11%	-	-	361	5%	19,956	11%
	2016	19,712	11%	-	-	361	5%	20,073	11%
	2017	20,433	10%	-	-	336	5%	20,769	10%
	2018	19,849	10%	-	-	337	4%	20,186	10%
電気機械器具製造業	2014	28,072	15%	-	-	451	6%	28,523	15%
	2015	27,006	15%	-	-	435	6%	27,441	14%
	2016	29,626	16%	-	-	398	6%	30,024	16%
	2017	38,806	20%	-	-	407	6%	39,213	19%
	2018	45,049	22%	-	-	408	5%	45,457	21%
機械器具製造業 (輸送用、電気機械器具製造業を除く)	2014	12,150	7%	-	-	516	7%	12,666	7%
	2015	11,017	6%	-	-	466	6%	11,483	6%
	2016	10,995	6%	-	-	505	7%	11,500	6%
	2017	11,538	6%	-	-	440	6%	11,978	6%
	2018	11,471	6%	-	-	447	6%	11,918	6%
金属製品製造業	2014	12,336	7%	-	-	540	7%	12,876	7%
	2015	12,671	7%	-	-	442	6%	13,113	7%
	2016	12,119	7%	-	-	405	6%	12,524	7%
	2017	13,108	7%	-	-	380	5%	13,488	7%
	2018	12,501	6%	-	-	477	6%	12,978	6%
化学工業	2014	4,822	3%	-	-	206	3%	5,028	3%
	2015	4,617	3%	-	-	223	3%	4,840	3%
	2016	4,610	3%	-	-	208	3%	4,818	3%
	2017	4,977	3%	-	-	251	3%	5,228	3%
	2018	5,076	2%	-	-	258	3%	5,334	3%
販売業者向け	2014	29,248	16%	-	-	3,388	47%	32,636	17%
	2015	27,139	15%	-	-	3,287	44%	30,426	16%
	2016	27,608	15%	-	-	2,892	41%	30,500	16%
	2017	27,913	14%	-	-	3,066	42%	30,979	15%
	2018	28,185	14%	-	-	3,166	41%	31,351	15%
そ の 他	2014	17,163	9%	-	-	528	7%	17,691	9%
	2015	23,103	13%	-	-	1,246	17%	24,349	13%
	2016	21,212	12%	-	-	1,374	19%	22,586	12%
	2017	21,867	11%	-	-	1,469	20%	23,336	12%
	2018	24,216	12%	-	-	1,562	20%	25,778	12%
合 計	2014	182,703	103%	-	-	7,207	107%	189,910	103%
	2015	181,879	100%	-	-	7,401	103%	189,280	100%
	2016	180,924	99%	-	-	7,065	95%	187,989	99%
	2017	194,704	108%	-	-	7,385	105%	202,089	108%
	2018	203,794	105%	-	-	7,671	104%	211,465	105%

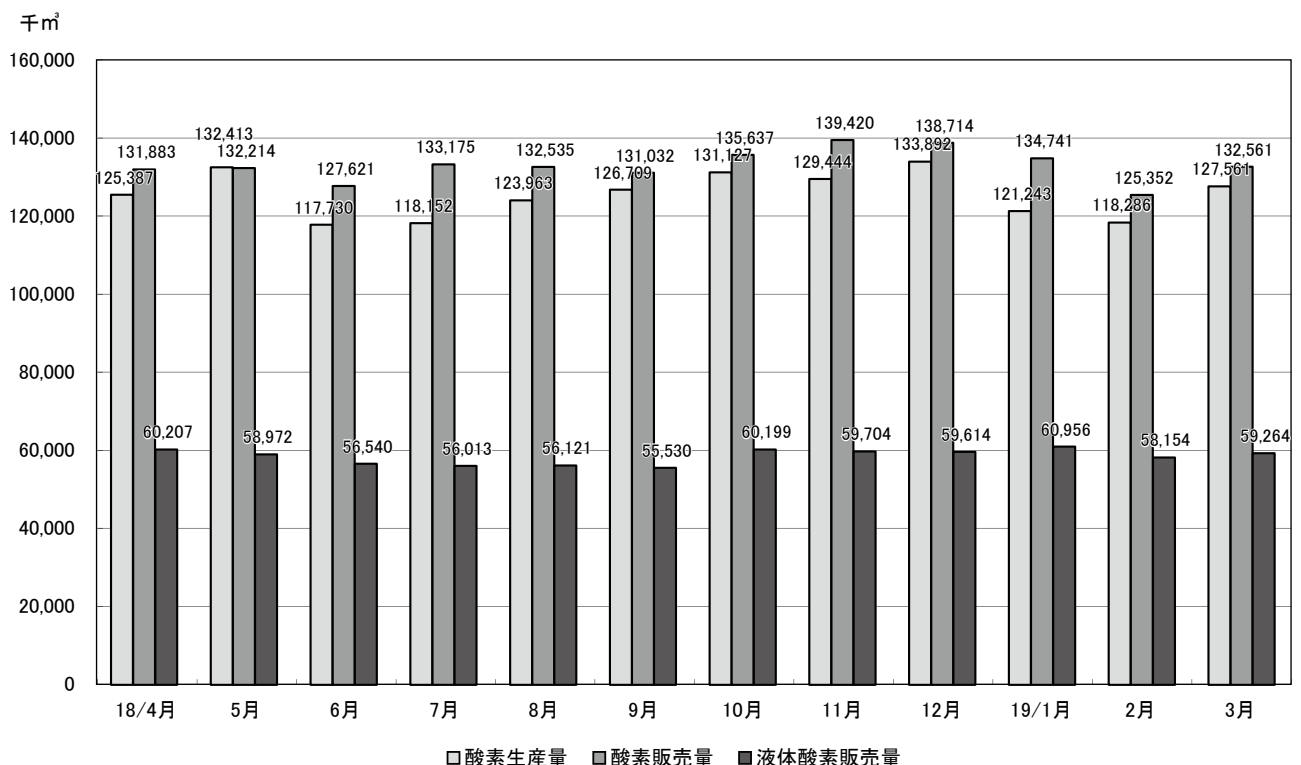
* 合計欄の構成比は対前年比

2018年4月～2019年3月 地区別酸素生産・販売実績表

単位：千m³

地区別		18/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	19/1月	2月	3月	合計
北海道	生産	1,198	1,189	1,164	1,184	1,129	1,080	1,156	1,184	1,106	1,178	1,208	1,210	13,986
	販売	1,937	1,942	1,908	1,911	1,901	1,816	1,855	1,871	1,874	1,903	1,881	1,919	22,718
東北	生産	4,593	5,472	5,311	5,024	4,490	3,382	4,638	5,484	5,277	5,326	4,552	4,907	58,456
	販売	11,265	11,693	10,811	11,490	11,384	8,711	10,473	11,444	11,348	11,627	10,553	10,936	131,735
関東	生産	39,602	40,747	32,332	34,043	39,335	39,011	40,201	39,396	39,877	37,439	33,407	37,834	453,224
	販売	37,474	30,556	29,814	35,678	35,391	36,443	37,079	36,435	36,992	34,109	32,849	35,117	417,937
東海	生産	24,979	26,651	27,647	27,891	25,557	28,607	28,120	29,658	29,679	28,289	26,019	27,642	330,739
	販売	26,298	29,234	28,954	29,522	26,919	28,057	28,396	30,332	29,287	28,089	26,763	27,404	339,255
近畿	生産	21,917	21,999	17,088	13,845	19,712	19,321	21,531	20,611	22,309	17,495	21,473	23,830	241,131
	販売	24,032	24,002	21,035	19,728	22,503	22,190	24,135	24,400	24,296	26,377	23,300	25,315	281,313
中国	生産	20,532	21,245	19,012	21,042	18,338	19,836	19,484	19,126	20,929	17,143	18,531	18,678	233,896
	販売	17,738	18,754	18,632	18,843	18,112	17,574	17,251	18,340	17,996	16,471	16,084	17,211	213,006
四国	生産	1,157	1,626	1,508	1,422	1,332	1,111	976	871	1,117	1,454	1,343	1,506	15,423
	販売	2,104	2,195	2,058	1,933	2,051	1,932	2,261	2,340	2,262	2,046	2,154	2,254	25,590
九州	生産	11,409	13,484	13,668	13,701	14,070	14,361	15,021	13,114	13,598	12,919	11,753	11,954	159,052
	販売	11,035	13,838	14,409	14,070	14,274	14,309	14,187	14,258	14,659	14,119	11,768	12,405	163,331
合計	生産	125,387	132,413	117,730	118,152	123,963	126,709	131,127	129,444	133,892	121,243	118,286	127,561	1,505,907
	販売	131,883	132,214	127,621	133,175	132,535	131,032	135,637	139,420	138,714	134,741	125,352	132,561	1,594,885

2018年4月～2019年3月 酸素生産量・一般販売実績推移グラフ

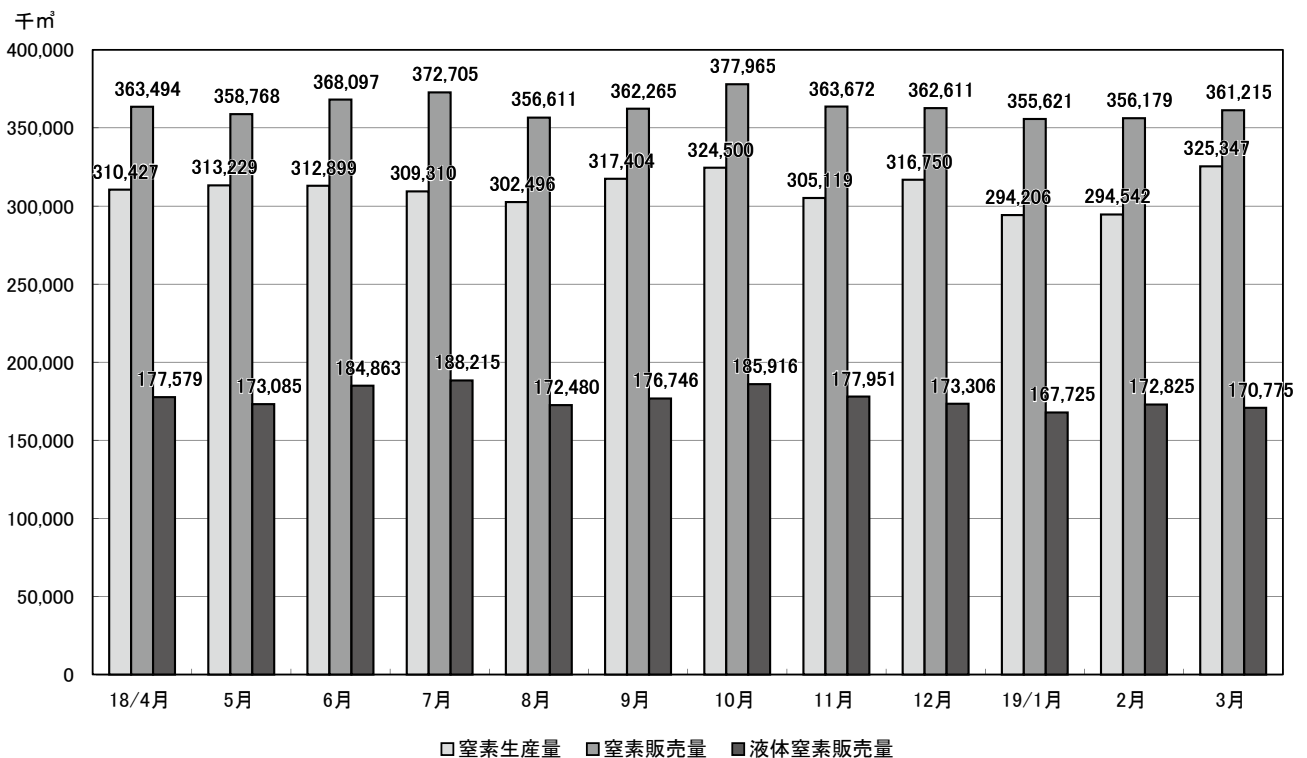


2018年4月～2019年3月 地区別窒素生産・販売実績表

単位：千m³

地区別		18/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	19/1月	2月	3月	合計
北海道	生産	2,593	2,652	3,180	3,041	2,897	3,375	3,474	2,857	2,765	2,871	2,859	2,935	35,499
	販売	4,204	4,233	5,089	4,716	4,800	5,287	5,341	4,664	4,469	4,272	4,236	4,263	55,574
東北	生産	11,152	11,490	12,444	12,343	11,307	11,546	11,888	11,222	12,111	9,386	10,655	12,126	137,670
	販売	17,510	16,989	18,314	18,316	17,739	16,908	17,533	17,296	17,194	16,659	16,661	17,235	208,354
関東	生産	137,568	142,968	136,476	137,449	134,901	134,742	143,734	138,490	139,218	132,544	126,944	140,059	1,645,093
	販売	135,599	135,088	131,081	138,582	130,032	129,094	138,942	133,779	132,253	128,504	128,399	129,549	1,590,902
東海	生産	43,024	38,884	43,605	43,094	39,291	44,847	43,678	43,086	43,572	41,259	42,238	44,110	510,688
	販売	64,032	61,270	64,318	63,604	60,210	63,997	66,919	65,795	64,718	60,280	63,901	66,514	765,558
近畿	生産	44,053	42,726	44,836	40,771	40,780	43,285	46,613	39,541	42,282	36,809	41,966	47,193	510,855
	販売	56,619	55,059	64,271	61,924	59,151	58,344	59,261	58,235	57,409	61,286	61,342	56,466	709,367
中国	生産	39,103	39,695	38,622	39,147	40,165	45,546	40,389	38,785	43,658	39,780	38,452	43,463	486,805
	販売	51,777	51,833	51,325	51,420	52,775	55,949	56,552	50,869	52,457	51,423	49,953	53,851	630,184
四国	生産	7,165	8,228	7,754	7,956	7,730	7,702	7,696	7,542	8,778	8,559	8,011	9,156	96,277
	販売	8,823	8,744	9,096	8,842	8,181	8,626	8,780	9,027	9,943	9,227	9,185	9,691	108,165
九州	生産	25,769	26,586	25,982	25,509	25,425	26,361	27,028	23,596	24,366	22,998	23,417	26,305	303,342
	販売	24,930	25,552	24,603	25,301	23,723	24,060	24,637	24,007	24,168	23,970	22,502	23,646	291,099
合計	生産	310,427	313,229	312,899	309,310	302,496	317,404	324,500	305,119	316,750	294,206	294,542	325,347	3,726,229
	販売	363,494	358,768	368,097	372,705	356,611	362,265	377,965	363,672	362,611	355,621	356,179	361,215	4,359,203

2018年4月～2019年3月 窒素生産量・一般販売実績推移グラフ



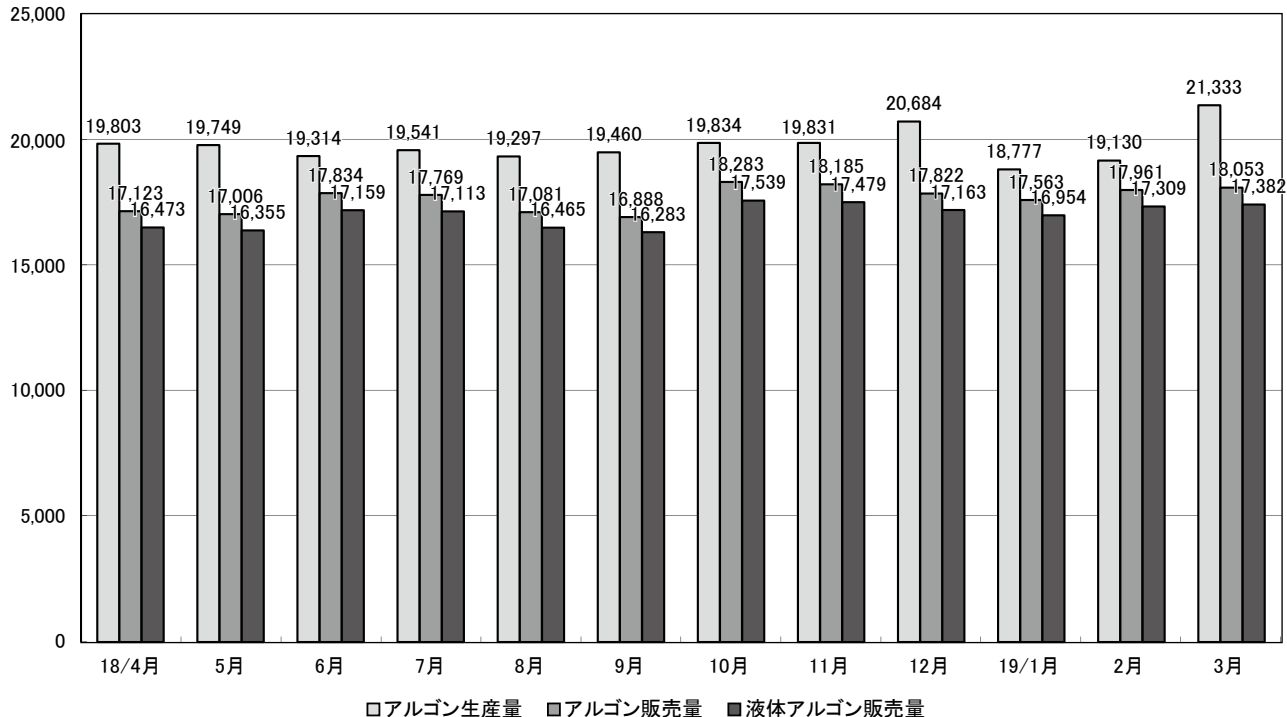
2018年4月～2019年3月 地区別アルゴン生産・販売実績表

単位：千m³

地区別		18/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	19/1月	2月	3月	合計
北海道	生産	293	289	288	293	294	296	297	292	290	291	296	299	3,518
	販売	281	275	255	272	265	270	283	275	275	274	278	282	3,285
東北	生産	297	332	335	329	317	268	301	330	337	328	306	338	3,818
	販売	1,932	1,974	1,943	1,961	2,039	1,863	2,190	2,274	2,260	1,972	1,959	2,009	24,376
関東	生産	5,119	4,860	4,824	4,700	5,075	5,026	5,182	5,329	5,321	5,206	5,063	5,483	61,188
	販売	4,323	4,346	4,304	4,490	4,014	4,044	4,298	4,342	4,079	3,863	4,302	4,067	50,472
東海	生産	4,497	4,281	3,970	4,809	4,243	4,475	4,729	5,018	4,648	4,113	3,880	4,840	53,503
	販売	4,300	4,266	4,250	4,429	4,216	4,381	4,890	4,674	4,701	4,715	4,657	4,895	54,374
近畿	生産	3,909	3,941	3,675	3,822	3,820	3,827	3,727	3,900	3,979	3,145	3,838	3,972	45,555
	販売	2,552	2,498	3,028	2,785	2,846	2,643	2,757	2,778	2,672	2,653	2,697	2,668	32,577
中国	生産	3,983	4,346	4,472	3,851	3,898	4,033	4,135	3,612	4,649	3,987	3,956	4,429	49,351
	販売	1,079	988	1,127	1,075	1,006	1,067	1,138	1,141	1,140	1,076	1,078	1,160	13,075
四国	生産	150	189	191	195	194	132	59	56	97	203	182	203	1,851
	販売	490	477	492	485	463	440	447	446	446	466	477	495	5,624
九州	生産	1,555	1,511	1,559	1,542	1,456	1,403	1,404	1,294	1,363	1,504	1,609	1,769	17,969
	販売	2,166	2,182	2,435	2,272	2,232	2,180	2,280	2,255	2,249	2,544	2,513	2,477	27,785
合計	生産	19,803	19,749	19,314	19,541	19,297	19,460	19,834	19,831	20,684	18,777	19,130	21,333	236,753
	販売	17,123	17,006	17,834	17,769	17,081	16,888	18,283	18,185	17,822	17,563	17,961	18,053	211,568

2018年4月～2019年3月 アルゴン生産量・一般販売実績推移グラフ

千m³



2014年度～2018年度 溶解アセチレン生産・販売実績表

単位：t

地区別		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度	
		数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
北海道	生産	661	96.8%	556	84.1%	535	96.2%	512	95.7%	497	97.1%
	販売	592	94.0%	499	84.3%	520	104.2%	468	90.0%	505	107.9%
東北	生産	691	93.8%	629	91.0%	594	94.4%	562	94.6%	557	99.1%
	販売	349	93.8%	337	96.6%	319	94.7%	305	95.6%	291	95.4%
関東	生産	3,306	97.4%	3,047	92.2%	2,951	96.8%	2,937	99.5%	2,931	99.8%
	販売	3,575	95.0%	3,343	93.5%	3,165	94.7%	3,010	95.1%	2,974	98.8%
北陸	生産	570	96.3%	544	95.4%	522	96.0%	500	95.8%	503	100.6%
	販売	361	97.8%	343	95.0%	326	95.0%	320	98.2%	317	99.1%
東海	生産	1,425	98.9%	1,360	95.4%	1,299	95.5%	1,318	101.5%	1,357	103.0%
	販売	1,417	95.4%	1,344	94.8%	1,268	94.3%	1,308	103.2%	1,276	97.6%
近畿	生産	1,761	97.0%	1,663	94.4%	1,564	94.0%	1,542	98.6%	1,628	105.6%
	販売	2,036	95.1%	1,919	94.3%	1,808	94.2%	1,697	93.9%	1,654	97.5%
中国	生産	1,357	97.3%	1,307	96.3%	1,266	96.9%	1,265	99.9%	965	76.3%
	販売	1,674	95.2%	1,371	81.9%	1,199	87.5%	1,164	97.1%	1,092	93.8%
四国	生産	118	99.2%	107	90.7%	113	105.6%	113	100.0%	98	86.7%
	販売	160	96.4%	150	93.8%	156	104.0%	157	100.6%	140	89.2%
九州	生産	1,044	98.7%	971	93.0%	977	100.6%	961	98.4%	1,065	110.8%
	販売	1,163	98.6%	1,133	97.4%	1,103	97.4%	1,077	97.6%	1,095	101.7%
合計	生産	10,883	97.3%	10,184	93.6%	9,821	96.4%	9,710	98.9%	9,601	98.9%
	販売	11,327	95.5%	10,439	92.2%	9,864	94.5%	9,506	96.4%	9,344	98.3%

2014年度～2018年度 液化炭酸ガス工場出荷・用途別販売実績推移表

単位：t

年度	工場出荷量	前年比	用途別販売実績割合					
			溶接用	飲料用	冷却用	製鋼用	化学用	その他
2014年度	673,049	100%	50%	16%	12%	6%	8%	8%
2015年度	737,871	110%	49%	17%	11%	6%	8%	9%
2016年度	747,109	101%	47%	17%	11%	6%	8%	11%
2017年度	747,106	100%	47%	17%	10%	6%	9%	11%
2018年度	763,404	102%	46%	18%	10%	6%	9%	11%

2014年～2018年 主要半導体材料ガス等国内販売実績推移表

単位：kg

番号	ガス名称	化学記号	2014年		2015年		2016年		2017年		2018年	
			需要量	前年比	需要量	前年比	需要量	前年比	需要量	前年比	需要量	前年比
1	アルシン	AsH ₃	9,800	91%	11,800	120%	11,200	95%	10,200	91%	9,600	94%
2	ジボラン	B ₂ H ₆	390	57%	360	92%	450	125%	360	80%	490	136%
3	三塩化ホウ素	BCl ₃	126,700	123%	145,800	115%	146,300	100%	171,000	117%	160,000	94%
4	四フッ化炭素	CF ₄	565,200	113%	535,300	95%	631,800	118%	658,600	104%	656,500	100%
5	三フッ化メタン	CHF ₃	84,900	102%	97,200	114%	93,500	96%	94,100	101%	96,900	103%
6	六フッ化エタン	C ₂ F ₆	131,800	75%	169,500	129%	178,400	105%	205,900	115%	179,100	87%
7	八フッ化シクロブタン	C ₄ F ₈	65,000	116%	51,500	79%	83,700	163%	121,600	145%	185,000	152%
8	塩素	Cl ₂	307,100	112%	352,000	115%	356,200	101%	389,300	109%	357,500	92%
9	ゲルマン	GeH ₄	240	100%	240	100%	240	100%	240	100%	240	100%
10	臭化水素	HBr	125,400	137%	157,300	125%	164,400	105%	165,800	101%	151,200	91%
11	アンモニア	NH ₃	3,442,600	118%	3,697,000	107%	3,522,700	95%	3,145,400	89%	2,901,200	92%
12	三フッ化窒素	NF ₃	1,717,600	101%	1,817,400	106%	1,634,000	90%	1,309,100	80%	1,665,200	127%
13	一酸化二窒素	N ₂ O	992,500	104%	1,129,200	114%	1,219,500	108%	1,176,200	96%	1,029,800	88%
14	ホスフィン	PH ₃	8,300	104%	6,700	81%	6,900	103%	7,400	107%	7,500	101%
15	モノシラン	SiH ₄	424,700	114%	398,200	94%	316,400	79%	305,600	97%	348,000	114%
16	ジクロロシラン	SiH ₂ Cl ₂	172,800	67%	239,300	138%	187,600	78%	166,700	89%	200,200	120%
17	四フッ化ケイ素	SiF ₄	5,400	100%	5,400	100%	6,500	120%	7,000	108%	7,000	100%
18	TEOS	(C ₂ H ₅ O) ₄ Si	421,900	111%	441,800	105%	490,500	111%	614,800	125%	751,800	122%
19	六フッ化硫黄	SF ₆	211,000	88%	208,000	99%	210,000	101%	215,000	102%	215,000	100%
20	六フッ化タンゲステン	WF ₆	105,000	111%	115,000	110%	121,000	105%	185,000	153%	230,000	124%
21	有機金属		2,090	93%	2,510	120%	2,100	84%	2,200	105%	1,900	86%

2014年～2018年 標準ガス国内販売実績推移表

単位：本

品 目	2014年		2015年		2016年		2017年		2018年	
	本数	伸び率	本数	伸び率	本数	伸び率	本数	伸び率	本数	伸び率
一酸化炭素 (CO) 標準ガス	12,600	97%	12,400	98%	12,600	102%	12,970	103%	12,817	99%
二酸化炭素 (CO ₂) 標準ガス	8,300	102%	7,900	95%	8,600	109%	8,434	98%	8,173	97%
二酸化硫黄 (SO ₂) 標準ガス	6,800	100%	6,900	101%	6,400	93%	6,669	104%	6,416	96%
一酸化窒素 (NO) 標準ガス	18,100	103%	19,000	105%	16,600	87%	17,828	107%	17,898	100%
酸素 (O ₂) 標準ガス	14,700	100%	14,400	98%	15,100	105%	16,482	109%	14,427	88%
炭化水素 (HC) 標準ガス	11,300	102%	11,400	101%	13,800	121%	12,282	89%	12,047	98%
その他 標準ガス	45,500	105%	45,900	101%	42,200	92%	50,620	120%	51,152	101%
標準ガス合計	117,300	102%	117,900	101%	115,300	98%	125,285	109%	122,930	98%
ゼロガス	6,200	102%	6,400	103%	6,100	95%	6,062	99%	6,182	102%
標準ガス、ゼロガス合計	123,500	102%	124,300	101%	121,400	98%	131,347	108%	129,112	98%

2014年～2018年 圧縮水素出荷実績推移表

単位：千Sm³

分 野	2014年		2015年		2016年		2017年		2018年	
	数 量	前年比	数 量	前年比	数 量	前年比	数 量	前年比	数 量	前年比
弱 電	25,586	86%	24,271	95%	25,056	103%	26,252	105%	28,378	108%
化 学	14,361	105%	14,406	100%	14,283	99%	13,481	94%	16,676	124%
金 属	23,775	107%	19,401	82%	18,328	94%	18,760	102%	19,348	103%
硝 子	6,776	85%	8,201	121%	11,826	144%	12,284	104%	13,446	109%
その他	14,073	79%	13,357	95%	13,548	101%	15,170	112%	16,279	107%
合 計	84,571	93%	79,636	94%	83,041	104%	85,947	103%	94,127	110%

編集後記

今年も残すところあと3か月。光陰矢の如しとは申しますが、年々1年のスピードが早く感じられます。この分では2020年の東京オリンピック・パラリンピックもあつという間にやってくることと思えます。両大会の来訪予定者は1000万人とのことで、これは東京23区の総人口に匹敵します。交通網をいかにスムーズに機能させるか、企業活動との両立をいかに実現させるかは大きな課題です。

7月下旬に行われた「東京2020大会交通対策のテスト」の際に、ボンベの納入が遅れたなどの影響を受けたJIMGA会員もおられました。大会期間中を無事に乗り切るためには、配送効率化や人の移動に関して、これまでにない柔軟な対応が求められます。このテストで洗い出された課題は、当業界が直面している問題とも多くの共通点がありますので、JIMGAでは、関東地域本部が「2020TDM*推進プロジェクト」に参加し、情報収集に努めています。

2019年の国際情勢は極めて混沌としており、我が国の経済活動にも少なからず影響が出ております。また電力コスト、人件費、物流コストの上昇を始め、コストアップの要因は挙げればきりがありま

せん。来月には消費税の引き上げが行われますが、JIMGAは公正取引委員会に転嫁・表示カルテルが認められた団体であり、各地域本部に調査会を組織しています。会員の皆様には、消費税は完全転嫁し、不当な値下げ要求などには断固として拒絶するようお願いいたします。

どのような状況にあっても、産業・医療ガスが社会的に重要な位置づけにあることは変わらないのですが、我々の事業を将来にわたって継続するためには、その本来の価値を世間に認めていただかなければなりません。会員の皆様には自信と誇りを持った事業活動を強く期待するとともに、JIMGAは、そのマーケットづくりの一助となり得る協会活動を行ってまいりたいと考えます。

今後とも皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。 (NK)

※TDM (Transportation Demand Management = 交通需要マネジメント) …自動車の効率的利用等による道路交通の混雑緩和や、公共交通も含めた交通需要調整のための取り組み。



不明容器
停滞容器
放置容器

高压ガス容器 特別回収月間

2019.10/1 - 10/31

- 容器管理は事故防止のため確実に!
- 6ヶ月過ぎても返却されない容器は所在を確認!
- 使用済み容器は直ちに回収!
- 容器の授受は年月日、記号・番号を正確に!

推進団体
高圧ガス保安協会・中央容器管理委員会/一般社団法人 日本産業・医療ガス協会/
一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会/日本シー工業会/
日本フルオロカーボン協会・日本肥料アンモニア協会



JIMGA

医療ガス容器 点検 キャンペーン

2019年
10/1(火)~11/30(土)まで

Check!!
Check!!

容器の一斉点検

- 容器の保管状況の確認
(転倒防止装置、充空及び異種容器の区別等)
- 調整器やバルブの不具合等、事故誘因容器の確認
- 長期停滞容器の発見または把握

職員研修のサポート

- 医療ガス安全管理委員会が行う院内講習会をサポートし、
容器の安全な取扱方法の啓発を推進

※この啓発活動は設備による事故の発生及び防止への副効果
を防止するため、医療ガス納入事業者は設備の上、納入開始を明瞭にするなど
して定期的に点検の依頼及び確認を行うこと。
※本キャンペーンは特別検査の対象外であり、検査は別途実施される検査の
安全基準に準じて行われる。検査は必ず安全基準のための器具及び
適切な検査方法での実施を要する。

監修 日本医療ガス学会
推進団体 一般社団法人 日本産業・医療ガス協会



会誌「産業ガスレポート」 Vol.41 (2019年秋号)

発行所：一般社団法人 日本産業・医療ガス協会
編集発行人：加藤 尚嗣

〒105-0012 東京都港区芝大門 2-8-13 サクセス芝大門ビル 4 階
TEL : 03-5425-2255 FAX : 03-5425-2256
URL : <http://www.jimga.or.jp>

2019年9月発行